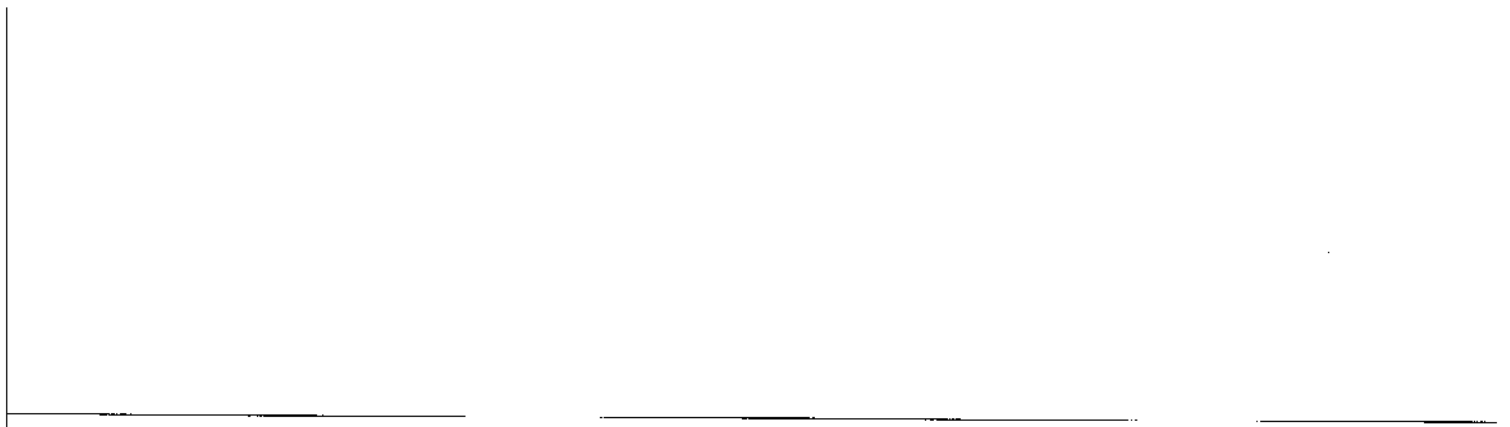


令和4年度

事業報告書(案)

社会福祉法人

世田谷区社会福祉協議会



—目 次—

令和4年度事業・決算報告（総括） 1

主要事業報告

社会福祉事業区分

I 地域福祉推進事業拠点区分

1 法人運営事業サービス区分

(1) 組織運営事業 5

(2) 企画研究・広報事業 7

2 地域福祉事業サービス区分

(1) 地区社協活動支援事業 8

(2) 地域社協活動事業 11

(3) 地域支えあい活動支援事業 12

(4) 福祉活動団体助成事業 15

(5) 地域福祉人材育成事業 16

(6) 日常生活支援事業 18

(7) 子育て支援事業 20

(8) 障害者支援事業 23

(9) 歳末たすけあい運動事業 24

II 生活自立支援事業拠点区分

1 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 生活困窮者自立支援事業 26

(2) 生活福祉資金貸付事務事業 31

2 貸付金等事業サービス区分

(1) 貸付金等事業 32

III 権利擁護事業拠点区分

1 成年後見推進事業サービス区分

(1) あんしん事業 33

(2) 成年後見制度利用支援事業 34

(3) 法人による成年後見事業 38

収益事業区分

I 自動販売機設置事業拠点区分

1 自動販売機設置事業サービス区分

(1) 自動販売機設置事業 41

別表 42

資料 108

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

令和4年度事業・決算報告（総括）

1 コロナ禍と地域福祉活動

令和4年度になっても、新型コロナウイルス感染症は、感染拡大の波が繰り返され、終息の見込みが立たない状況でしたが、国からは、5類への引き下げ、マスク着用の考え方の見直し等、それまでのコロナ対策を転換する方針が示されました。また、原油価格や電気料金を含む物価の高騰が続きました。

長引くコロナ禍で、外出や会食等の自粛が続き、社会的な孤独・孤立が問題になるとともに、経済活動の制限や物価高騰が影響し、生活困窮も大きな社会問題となりました。

このような中、地域の活動が徐々に再開されてきており、世田谷区社会福祉協会（以下、本会という）では、感染症予防に十分留意し、一部の事業は規模縮小やリモート開催等の工夫をしながら、住民の地域生活を支える事業を実施してまいりました。

また、本会では、生活福祉資金特例貸付（東京都社会福祉協議会（以下、東社協という）からの受託事業）や住居確保給付金（世田谷区からの受託事業）の受付を行うとともに、厳しい生活状況をお聞きし、必要に応じて生活保護の窓口の紹介や応急貸付金、食の支援等への繋ぎ、継続した相談支援等を行ってまいりました。

令和5年度になって、新型コロナウイルス感染症は、5月8日から感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、法的な制限が緩和されました。また、食料品等の更なる値上げが、住民生活に深刻な影響を及ぼしています。

本会は、引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、状況に応じて感染症予防に留意しながら、各事業を実施するとともに、生活に困窮する方や生活課題を抱えた方への支援に取り組んでまいります。

2 主要事業について

（1）地域福祉推進事業

地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）では、住民が集まって行う活動は徐々に再開されてきましたが、ICT^{※1}を活用した支えあいや見守り活動の支援、スマホ講座、地域でのフードドライブ等、コロナ禍における生活支援に取り組みました。

買い物支援等について、高齢者等買い物に不便のある方が多く居住する複数の公営団地に移動販売車を誘致するとともに、サロンや集いの場の立ち上げ支援等を行いました。また、急坂が多い等による移動困難なエリアにおいてNPO団体等と協働し、地域住民やボランティア等とともにコミュニティバスの運行に関する検討を重ね、準備に取り組んできました。

子ども食堂支援事業も、拠点に集まって食事をすることが困難な状況でしたが、団体によるお弁当や食材の配布等の活動を支援するために、食材の提供機会の拡大や助成金の増額等を通じて支援を強化しました。

令和3年度から開始した「高齢者の新たな居場所づくり事業『なごみの広場ちとふな』」では、シニア世代が楽しく気軽に参加・交流できる集いの場として、参加者アンケートを踏まえ、暮らしに役立つ講座等、多彩なプログラムを企画・実施しました。

ふれあいサーピスやファミリー・サポート・センター事業のように外出や訪問を伴う事

業は、徐々に利用・活動が戻りつつあります。両事業とも、重症化リスクの高い会員が多数利用・活動していることから、会員の合意を得ながら、感染予防を重視した取り組みを実施しました。

福祉喫茶は、席数を減らす等、感染防止対策を行いながら営業しました。従事者には、一般就労に向け、安定した職業生活のための研修を行うとともに、店長や援助者に対しては、支援に必要な知識や技能についての研修を行いました。

社協会員会費や歳末たすけあい・地域支えあい募金は、昨年度に比べて活動が徐々に再開されたこと等により増加しました。社協会員会費は、特別会員や法人会員には、払込取扱票をお送りして協力をお願いしました。また、歳末たすけあい・地域支えあい募金は、経済的な支援を必要とする世帯を中心にお見舞金をお配りしました。

※1 Information and Communication Technology (情報通信技術) の略

(2) 生活自立支援事業

コロナ禍で生活に困窮する方を対象とした、生活福祉資金特例貸付や住居確保給付金の要件緩和については、令和4年度も申請期限の延長が繰り返され、生活福祉資金特例貸付は令和4年9月末日、住居確保給付金の特例再支給は令和5年3月末日で終了しました。

本会は、生活福祉資金特例貸付では、申請を郵送で受け付ける等の工夫や各地域社協事務所でも受付を行う等、組織を挙げて取り組み、生活福祉資金特例貸付と住居確保給付金とも都内の社会福祉協議会で最多の申請受付数となりました。

なお、生活福祉資金特例貸付の償還事務は、令和5年1月から本格的に始まり、東社協の特例貸付事務センターが行っておりますが、本会においても、償還及び償還免除に関する相談を行っております。

コロナ禍が長引く中で、窓口や電話で生活困窮に関する深刻な相談も増えました。相談内容により、区的生活保護等の相談窓口につなぐとともに、本部・ぷらっとホーム世田谷、各地域社協事務所が連携して、食の支援や生理用品の配布にも取り組みました。

令和4年4月、「世田谷区ひきこもり相談窓口『リンク』」(以下、『リンク』という)の運営受託及び開設に伴い、ぷらっとホーム世田谷及び分室は三軒茶屋駅の近くに移転しました。『リンク』では、職員体制を強化して、メルクマールせたがやとともに、世田谷区や関係機関と協働し、ひきこもりの方とその家族への支援を行ってまいりました。

(3) 権利擁護事業

成年後見センターにおいても、コロナ禍による影響を受けて、区民成年後見人養成研修や成年後見セミナー、老い支度講座等は、中止や縮小せざるを得ない場合もありましたが、感染対策を十分に行い実施しました。

成年後見センターでは、平成30年度を始期とする「成年後見センター新5カ年計画」に基づいて、法人後見、区民後見監督、あんしん事業等に取り組んできましたが、計画の最終年度である令和4年度に総括を行うとともに、その結果を反映した令和5年度からの次期運営計画を策定しました。今後は、この計画に基づいて、事業を進めてまいります。

令和3年4月から成年後見センターは世田谷区における成年後見制度の中核機関に位置づけられ、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の専門職や地域の支援機関等と連携し、

地域連携ネットワークの推進を図るとともに、成年後見制度を必要とする方が円滑に制度につながるよう取り組んでまいりました。

3 世田谷区社会福祉協議会経営改革（以下、社協改革という）について

本会では、平成30年度から組織を挙げて社協改革（①財政の健全化、②事業・組織の見直し、③人材育成を3本の柱とする）に取り組んでまいりました。

計画期間の最終年度となる令和4年度に、各取組の総括を行いましたので、その結果を踏まえ、令和5年度以降の組織運営に適切に活かしてまいります。

（1）財政の健全化

令和元年度に会計システム、令和2年度に勤怠管理システムを導入し、事業の執行状況の見える化を図るとともに、事務の効率化に努めてまいりました。

平成30年度に策定した「財政健全化計画」は、令和4年度に総括を行うとともに、令和5年度以降の中期財政見通しを立てました。平成30年度の計画策定以来、黒字決算となり、積立金も増加しています。令和5年度以降も引き続き、健全な財政運営に努めてまいります。

（2）事業・組織の見直し

令和3年度に、連携推進課を設置し、社協内連携の推進による効果的・効率的な事業運営を図るとともに、中期事業計画で重点事業として取り上げた食の支援の拡充、ICT^{※1}化の推進に取り組みました。

食の支援について、令和4年度には、連携推進課に担当職員を配置して、生活困窮者や子ども食堂等への食の支援の拡充に取り組んできました。区内の食の支援の情報をまとめたウェブサイト「せたべる」を通じて、事業者等からの食品寄付の受け入れを増やすとともに、ぶらっとホーム世田谷や地域社協事務所など本会内部の連携を図り、食の支援の体制づくりを進めました。また、区内の社会福祉法人と連携して、食の支援を必要とする方に地域で食料をお渡しする相談支援型フードパントリーを実施しました。

ICT^{※1}化の推進は、事務事業の効率化だけでなく、コロナ禍において人と人をつなぐ重要な手法となり、積極的な活用に取り組みました。

また、社協改革の一環として平成30年度に行った、ファミリー・サポート・センター事業及びあんしん事業の地域展開について、令和4年度に総括を行い、その結果を踏まえ、令和5年度以降の組織運営に活かしてまいります。

（3）人材育成

平成30年度に人材育成計画を策定し、行動指針（十訓）を定めるとともに、職員の相談支援や地域づくりの専門性を向上させるために、コミュニティソーシャルワーク研修等の専門研修を進めてきました。また、組織運営の力を向上させるため、職層研修や財務・会計・文書等の研修にも重点をおいて実施してきました。

令和4年度には、これまでの研修について職員アンケート等による検証を行いましたので、住民サービスの向上に直結する質の高い職員の育成に向け、令和5年度以降の人材育成に活かしてまいります。

4 決算状況

令和4年度の決算は、資金収支計算書（資金の増減を表します。）に基づく当期資金収支差額合計は20,569千円、事業活動計算書（収益から、かかった費用の金額を差し引き、差額がいくら出たかを表します。）に基づく当期活動増減差額は74,952千円となりました。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、一部事業の中止・縮小はあったものの、「2021年度社会福祉法人の経営状況について（公表：独立行政法人福祉医療機構『WAM』）」に示された各法人の経営状況と比較すると、法人の収益性を表す指標であるサービス活動増減差額や、経常増減差額は財政健全化計画策定以降安定しており、全国社会福祉法人平均値を大きく上回ってきています。また、短期安定性を示す当期末支払資金残高対事業活動支出比率及び、長期持続性を示す純資産比率、固定比率についても全国平均レベルに回復してきています。

2016年度以降、赤字法人の割合が拡大傾向にある中で、本会は財政健全化計画策定と、新型コロナウイルス感染症拡大による社会状況の変化の時期が重なったこともあり、法人としての使命がより明確になり、平成30年度以降、黒字決算を続けています。

引き続き、生活に不安を抱える方や、複雑化・複合化した課題をかかえる方への支援を進めていく必要があります。そのためにも、昨年度行った財政健全化計画の総括及び令和5年度以降の中期財政見通しを確認しながら、財政収支のバランスを図り、法人を安定的に運営してまいります。

■主要事業報告

社会福祉事業区分

I 地域福祉推進事業拠点区分

1 法人運営事業サービス区分

(1) 組織運営事業

理事会・評議員会は、新型コロナウイルス感染症対策を岡り、予定していた会議を集合方式で開催した。

令和3年度に行われた社会福祉法人指導監査で所轄庁の世田谷区より、議事録の作成や理事就任の同意に関する手続きに一部不備があるとの指摘を受けたため、関係書類を是正し、第1回理事会（決議の省略で臨時開催）で議決後、改善報告書を世田谷区に提出した。

職員研修の基本的な実施方針を示した人材育成計画の計画年度が今年度で終了するため、職員アンケートを実施し、アンケート結果を踏まえた検証作業を行った。次年度以降は検証結果を反映した当該計画に則って職員の人材育成に努めていく。

社協会員会費は、引き続き払込取扱票による納入のお願いや、地域福祉推進員をはじめ関係団体等の協力により、徐々に回復してきている。

① 理事会、評議員会等

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
理事会開催回数	3回	4回	3回
評議員会開催回数	3回	3回	3回
評議員選任・解任委員会開催回数	必要に応じて	1回	必要に応じて
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
理事会開催回数	4回	4回	3回
評議員会開催回数	3回	3回	3回
評議員選任・解任委員会開催回数	0回	1回	0回

※詳細は、別表1参照

①-1 監査

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
監事監査(会計士監査含む)	6回	6回	6回
財政援助団体監査(区・監査委員)	0回	1回	0回
社会福祉法人指導監査(区・保健福祉政策部)	0回	1回	0回

② 職員研修

「人材育成計画」に基づき、年間計画を策定して、①基本研修、②職層研修、③専門研修を実施した。社内研修とともに、世田谷区や東京都社会福祉協議会（以下、東社協という）等が実施する研修を活用した。

また、人材育成計画の計画年度が今年度で終了するため、職員アンケートを実施し、アンケート結果を踏まえた検証作業を行い、次年度以降も本計画に基づき職員の人材育成に努めていく。

○基本研修

社協職員として仕事を進めるうえで必要とする事項（法制度、定款及び規程、事案決定、財務・経理、文書等）の知識習得を図った。また、年度後半には、各所属の内部点検（契約、会計、事案決定等）を実施した後、事務の適正化に向けて振り返りの研修を実施した。

○職層研修

職層研修は参加を必須とするものが多い。外部機関（世田谷区、東社協）の研修も概ね予定通り実施され、職員の参加率も高かった。

○専門研修

外部機関が実施する研修では、コロナ禍により、一部の研修はオンライン開催への変更があった。社内で専門研修として実施しているコミュニティソーシャルワーク研修（以下、CSW 研修という）は、オンラインも活用したハイブリッド方式により「社協内連携」をテーマに事例検討と発表を行い、学識経験者からの指導を受けた。

③ 災害時等緊急対応に向けた体制整備

大規模災害時に職員が自動参集できるよう体制を整備するとともに、事業継続計画（BCP）を更新するため関係機関等から情報収集を行った。

④ 苦情解決委員会

本年度、本会に申請された苦情案件について苦情解決委員会で審議した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
苦情件数	8件	2件	3件

⑤ 本会の会員会費募集活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年度に引き続いて戸別訪問を原則中止とした。会員会費を確保するため、強化月間は設けずに年間を通して募集を行った。また、特別会員や法人会員には振込取扱票をお送りする等納入方法を工夫した。

（一般会員：一口300円以上5,000円未満、特別会員：一口5,000円以上、法人会員：一口5,000円以上）

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
会員数	14,000名	39,000名	42,000名
会費額	28,000,000円	17,600,000円	41,015,000円
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
会員数	23,389名	14,745名	6,597名
会費額	27,908,812円	23,209,782円	17,648,750円

※詳細は、別表2参照

⑥ ICT化の推進に向けた取り組み

ICTの活用促進や情報セキュリティ等をテーマに増井技術士による研修を3回実施した。業務の効率化に向けた様々なwebツールの理解を深めるとともに相談支援や広報に活用されるSNS等の運用効果やリスクについて職員の意識醸成を図った。

(2) 企画研究・広報事業

コロナ禍における生活困窮や孤独・孤立といった生活課題に対し、重点事業である食支援事業を効果的に拡充するため、他団体の取り組みを参考に、体制整備に取り組んだ。

本会ホームページの課題を整理し、閲覧者が利用しやすい構成、デザインにリニューアルした。

① 企画研究

食支援事業を効果的に推進していくため、フードバンク湘南、フードバンクたまむら、玉村町社会福祉協議会(群馬県佐波郡)への視察を行った。生活に困窮する方へ支援を繋げるための連携のあり方や食品管理システム導入の効果や課題等について意見交換を行い、事業の推進体制整備の参考とした。

② 広報活動

本会ホームページの構成やデザインを改良し、トップページの情報整理や事業検索の見直しなど、より情報が探しやすいよう全面リニューアルを行った。またPC・スマホ・タブレットなど多様な機器に対応できる機能を搭載し、閲覧者の視認性を向上させた。本会の人材確保に向けて、職員採用ページを新たに設置した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
世田谷区社協ニュースの発行	1回	1回	1回
ホームページアクセス数	553,040件	963,474件	1,066,386件
Facebook 投稿数	352件	343件	471件
エフエム世田谷放送件数	9件	8件	17件
地域社協だよりの発行(各地域)	2回	2回	2回

2 地域福祉事業サービス区分

(1) 地区社協活動支援事業

コロナ禍における地区社会福祉協議会（29 地区）の活動に関する支援や調整に努め、各地区の取り組みを支援した。

各地区で取り組んでいる地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）では、社協内外の連携を強化し、住民の生活課題の把握と課題解決に取り組んだとともに、地域づくりに向けた支援に積極的に取り組んだ。

また、地域活動の担い手である地区サポーターの確保に努め、デジタル活用支援などコロナ禍における住民相互の絆づくりなど、時機を捉えた活動へのマッチングを進めた。

① 地区社会福祉協議会の運営支援

住民相互の見守りや支えあいが続けられないよう、徐々に再開した地区社協事業の円滑な実施に向けた支援の強化に努めた。

また、コロナ禍により住民相互の顔合わせの機会が減少する中、つながるための新たなツールであるスマホなど ICT の活用を地区サポーター等とともに推進した。

※詳細は、別表 3 参照

② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】

○各地区で取り組んでいる、交流や居場所づくり等の活動については、コロナ禍を踏まえて参加者数や内容を工夫して実施した。

○コロナ禍により顕在化した生活困窮の問題に対して、地域・地区でのフードドライブの取組みの強化に努めた。

○コロナ禍により集合型の事業が困難となる中、住民相互のつながりが途切れないよう、多くの地区で高齢者向けのスマホ講座を実施した。

○全常勤職員を対象とした CSW 研修を実施し、個別支援と地域づくりを一体的に行うコミュニティソーシャルワークに関する職員の専門性向上に努めた。

<CSW 研修>全常勤職員を対象とした。

■第 1 回 10 月 7 日 本部 3 階研修室及びオンライン開催 参加者 56 名

■第 2 回 1 月 24 日 本部 3 階研修室及びオンライン開催 参加者 55 名

※各回とも講師は菱沼幹男氏（日本社会事業大学准教授）に依頼した。

<CSW 課内研修>地域社協課職員を対象とした。

■第 1 回 8 月 24 日 本部 3 階研修室 参加者 12 名

9 月 2 日 本部 3 階研修室 参加者 10 名

9 月 8 日 本部 3 階研修室 参加者 11 名

■第 2 回 3 月 9 日 本部 3 階研修室 参加者 23 名

※詳細は、別表 4 参照

③ 災害福祉サポーターの活動支援（災害対策事業）

大規模災害時における避難行動要支援者の安否確認や避難支援、ニーズ把握等を担う災害福祉サポーターの登録者の拡大に努めた。

実績	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
災害福祉サポーター登録人数	289 名	259 名	213 名

※ふれあいサービス利用会員と災害福祉サポーターによる事前マッチングと顔合わせを行い、メールによる安否確認訓練（2回）と研修会を実施した。

④ 社会福祉法人等のネットワーク推進事業

- 令和3年度に引き続き、「世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会」において、コロナ禍で拡大する生活困窮への支援策として、「食支援」「就労支援」の拡充に向けた検討を行った。
- 社会福祉法人主体の相談支援型フードパントリーの設置に向け、令和5年度の実施に関心を持つ4法人と、連携推進係・ぷらっとホーム世田谷・地区事務局で検討チームを発足し、試行実施を行い、配付時にお困りごと等近況の聞き取りを行うと共に、支援が必要な方を特例貸付の償還免除や介護保険申請等の相談に繋いだ。

<相談支援型フードパントリー>

- ・実施時期:令和5年1月から3月
- ・実施法人:大三島育徳会(喜多見地区・3回)/雲柱社(上北沢地区・3回)/東京さくら福祉会(経堂地区・2回)/奉優会(等々力地区・2回)
- ・配付対象:189世帯(法人本部が所在する地区の生活福祉資金特例貸付再貸付を利用した70歳以上の方)
- ・配付内容:米、レトルト食品等
- ・配付実績:27世帯(内、配達6世帯) 延べ配付回数:55回

※ 東京都地域公益活動推進協議会(事務局:東京都社会福祉協議会)が主催する令和4年度地域公益活動実践発表会にて、一連の取り組みの報告を行い、会長賞を受賞した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
参加法人数	36法人	36法人	36法人
企画委員会	1回	1回	-
全体協議会	1回	1回	1回
5地域別連絡会	5回	10回	-
相談支援型フードパントリー設置検討会	5回	-	-
法人フードドライブ説明会	3回	-	-

⑤ 生活サポート NPO 等協議会

- 世田谷区内の生活支援等に取り組む NPO 団体等による協議会の事務局を担い、参加団体のネットワークの強化を図るとともに、生活支援に関するニーズや課題の把握、支援実践の共有等に努めた。
- 他都市における活気ある地域づくり等、時機を捉えたテーマによる勉強会を開催し、世田谷における実践拡充に向けた学びを共有した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
全体会	1回	1回	1回
幹事会・役員会他	6回	6回	21回
勉強会(木曜勉強会)	3回	4回	5回

⑥ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな」） 【区受託】

シニア世代が楽しみながら気軽に参加・交流できる新たな居場所として、千歳温水プール4階健康運動室において、スマホ講座やお薬相談会、囲碁、ハンドマッサージ等多様な講座を企画・実施した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	48回	48回	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
講座回数	48回	48回	-

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
総参加者数	659名	568名	-
地区サポーター人数	延べ55名	延べ48名	-

※詳細は、別表5参照

(2) 地域社協活動事業

地域活動を推進するため、関係団体と情報の共有や意見交換を行うとともに、各団体の活動が円滑に行われるよう支援を行った。

① 地域社協福祉推進協議会の運営支援

地区社会福祉協議会活動等に関する情報の共有と意見交換を行い、地域・地区における福祉活動の増進に取り組んだ。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	15回	15回	15回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	14回	15回	15回

※コロナ禍を踏まえ、会長会の開催に切り替えたものもあった。

② 地域・地区における交流・啓発

ア サロンリーダー交流会等の開催

地域における住民相互のゆるやかな見守りや集いの場の拡充のため、サロンリーダー交流会等を開催した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
サロンリーダー等交流会	18回	3回	15回
拠点連絡会・交流会	8回	5回	6回

※詳細は、別表6参照

イ 高齢者クラブ活動の支援

高齢者クラブの活動に対する支援を行った。なお、各高齢者クラブ協議会主催の高齢者福祉大会においては、事務局機能を担いながら円滑な開催にむけた支援を行った。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高齢者福祉大会	2回	0回	2回

③ 災害見舞金事業

世田谷区と連携し、世田谷区在住者の罹災時の援助を目的として見舞金を支給した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件数	14件	31件	31件
金額	115,000円	310,000円	245,000円

(3) 地域支えあい活動支援事業

ふれあい・いきいきサロン（子育てサロンを含む）・支えあいミニデイ、子ども食堂等住民主体の支えあい活動の運営支援に取り組んだ。また、世田谷区と連携して、各家庭や企業等から提供された食材を子ども食堂等に配付した。

① 地域支えあい活動グループの支援

○ふれあい・いきいきサロンや支えあいミニデイの立上げや運営を支援し、高齢者や障害者、子育て中の方々が、地域で気軽に集える支えあいの場づくりに取り組んだ。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
団体数 合計	741 団体	728 団体	771 団体
ふれあい・いきいきサロン数 (うち、子育てサロン数)	671 団体 (93 団体)	660 団体 (92 団体)	690 団体 (100 団体)
支えあいミニデイ数	70 団体	68 団体	81 団体
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
団体数 合計	686 団体	685 団体	704 団体
ふれあい・いきいきサロン数 (うち、子育てサロン数)	624 団体 (82 団体)	622 団体 (86 団体)	637 団体 (88 団体)
支えあいミニデイ数	62 団体	63 団体	67 団体

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延参加者数	128,484 名	85,849 名	61,040 名
延ボランティア数	30,452 名	22,517 名	15,667 名

② 子ども食堂運営支援

子ども食堂に対し、食材費や保険料の助成を行うとともに、世田谷区や事業者、住民等から寄付された食材の提供を行った。また、子ども食堂団体連絡会を開催し、衛生管理や感染予防に関する研修と情報交換を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
運営助成金交付団体数	40 団体	35 団体	33 団体
東京都子ども食堂推進補助金交付団体数	40 団体	35 団体	-
支えあい活動保険利用団体数	45 団体	40 団体	39 団体
せたがやフードドライブ利用団体数	40 団体	38 団体	33 団体
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
運営助成金交付団体数	38 団体	35 団体	26 団体
東京都子ども食堂推進補助金交付団体数	34 団体	30 団体	-
支えあい活動保険利用団体数	46 団体	41 団体	39 団体
せたがやフードドライブ利用団体数	39 団体	36 団体	33 団体

<子ども食堂団体連絡会>令和4年5月23日 ※オンライン開催

【テーマ】

○「子ども食堂において衛生管理上、気を付ける点」

「HACCPに沿った衛生管理について」

【講師】世田谷保健所職員

【参加団体数】35 団体（38 名）※スクールカウンセラー2名も参加した。

<子ども食堂研修会>

今年度より、子どもの虐待の未然防止・早期発見に係る研修会を開催した。

【テーマ】 子どもと出会うには

【講師】寺出 壽美子氏（NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会）

【開催状況】

地域	開催日	会場	参加団体数
世田谷	10月28日	上町まちづくりセンター活動フロア	11 団体
北沢	9月29日	北沢まちづくりセンター活動フロア	2 団体
玉川	10月14日	等々力まちづくりセンター活動フロア	6 団体
砧	10月11日	世田谷区社会福祉協議会本部3階研修室	2 団体
烏山	10月25日	上北沢まちづくりセンター活動フロア	7 団体

③ 地域で支える食の支援事業【拡充】

食支援担当職員を新たに配置し、必要な食品を安定的に確保するとともに、効率・効果的な物流体制づくりに取り組んだ。また、ぶらっとホーム世田谷や地域社協事務所との連携を強化し、玉川高島屋や二子玉川ライズ等の企業や住民など多様な主体との協働を通じて、生活困窮世帯や子ども食堂等への支援を拡充した。

ウェブサイト「せたべる」を充実させ、食の支援事業の見える化に取り組んだ。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
食品受取（企業・個人）	-	-	-
団体への配付	-	-	-
家庭への配付	-	-	-
新規企業等の開拓	-	-	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
食品受取（企業・個人）	33,780 kg	-	-
団体への配付	延べ1,311 団体	-	-
家庭への配付	延べ1,042 件	-	-
新規企業等の開拓	38 件	-	-

➤ 食品受取の数値は、「⑤せたがやフードドライブ事業」「地区社協・地域社協事務所」での受け取り分を含む。

➤ 家庭への配付の数値は、ぶらっとホーム世田谷・地域社協事務所での配付分を含む。

④ 地域支えあい活動拠点管理

地域支えあい活動グループをはじめ地域活動団体の利用に資するため、地域支えあい活動拠点(22ヶ所)の管理を適正に行った。

⑤ せたがやフードドライブ事業

世田谷区と連携し、世田谷区から提供された食材(米、缶詰類、乾麺、調味料等)を子ども食堂等に配付した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配付実績(総量)	6,000 kg	-	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配付実績(総量)	10,685 kg	6483.0kg	2748.5 kg

⑥ 認知症等による行方不明者への支援(せたがや一人歩き SOS ネットワーク事業)

認知症状のある高齢者等が行方不明になったとき、登録した協力者にメールを送信し、早期発見や事故防止につなげる取り組みを地域住民や区との協働により進めた。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
協力者数	700名	680名	650名
利用登録者数	100名	90名	75名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
協力者数 (新規登録人数)	576名 (9名)	611名 (5名)	606名 (20名)
利用登録者数	89名	94名	86名

※令和4年度に利用者・協力者とも登録者数が減少しているが、転居・施設入所等によるものである。

⑦ 地域福祉推進大会

コロナ禍での地域福祉活動の成果や課題を踏まえ、地域福祉推進員の今後の活動の参考となる情報の共有を目的に、感染防止対策を徹底し、3年ぶりに開催した。

- 令和4年11月27日(日) 会場：成城学園 澤柳記念講堂
- 内容：①講演 近藤博子氏(一般社団法人ともしび at だんだん代表理事)
- ②トークセッション 近藤博子氏
川上富雄氏(駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻教授)
- ③まとめ 川上富雄氏

- 参加者：169名

〈コロナ禍開催に伴う主な変更点〉

- ① 感染拡大時の実施方法の変更・中止等の連絡を正確に行うため、事前申込制とし、参加対象を地域福祉推進員、子ども食堂関係者に限定した。
- ② 来場を控えた方でも視聴できるよう撮影を行い、YouTube 配信及びDVD 貸出を実施した。
- ③ ロビーでの催しを例年よりも大幅に縮小し、コロナ禍で物販機会・売上の減少が課題となっていた、福祉喫茶・福祉作業所の生産品販売コーナーのみとした。

(4) 福祉活動団体助成事業

赤い羽根共同募金を活用し、地域福祉活動団体への助成を行った。また、世田谷区民生委員・児童委員協議会の活動を支援した。

① 地域福祉活動団体助成事業

地域福祉活動団体への各種助成金の交付を通じて、地域福祉活動の拡充や本会とのネットワークの強化に取り組んだ。

ア 社会福祉活動団体助成金の交付

全区的な福祉活動に取り組む団体に事業活動経費の一部を助成し、住民の福祉増進に寄与した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
助成団体数	13 団体	11 団体	13 団体
助成金額	4,948,000 円	3,400,000 円	3,570,000 円
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
助成団体数	12 団体	10 団体	8 団体
助成金額	4,646,000 円	3,210,000 円	2,810,000 円

イ 赤い羽根共同募金地域配分金（B 配分）の配分推せん

世田谷区内で集められた赤い羽根共同募金(主催:社会福祉法人東京都共同募金会)を財源として、同募金会に対して、区内の社会福祉法人や地域福祉活動を行う小規模団体・NPO 法人への助成（募金の一部の配分）の推薦を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
助成団体数	62 団体	79 団体	77 団体
助成金額	5,730,000 円	20,863,000 円	20,863,000 円
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
助成団体数（決定）	67 団体	61 団体	77 団体
助成金額	10,600,000 円	5,730,000 円	20,863,000 円

② 民生委員・児童委員との連携

民生委員・児童委員と連携して、生活福祉資金の貸付や歳末たすけあい・地域支えあい活動募金に取り組むとともに、民生委員・児童委員協議会の研修等の活動を支援した。

(5) 地域福祉人材育成事業

地域住民等に対し地区サポーターへの登録を広く呼びかけ、地域福祉活動の新たな人材確保に取り組んだ。

また、地域・地区を基盤に人材の確保と育成を目指した講座を開催するとともに、学校での体験型の福祉学習の開催や福祉用具の貸し出しを行い、福祉への理解醸成に努めた。

① 地区サポーター

地域活動に興味のある方を地区サポーターとして登録し、地域支えあい活動や町会・自治会活動、福祉イベント、生活支援サービス等へのマッチングを行い、住民の地域活動への参加を促進した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	1,550名	1,500名	1,500名
マッチング件数	300件	-	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	1,597名	1,393名	1,223名
マッチング件数	629件	362件	263件

※詳細は、別表7参照

② 地区活動入門講座

地区活動への興味の醸成と参加促進に向けた講座を開催した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	5回	5回	5回
参加人数	延200名	延200名	延200名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	16回	7回	2回
参加人数	延212名	延70名	延23名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一回当たりの参加者数を減らした。

③ 特技ボランティア

地域支えあい活動等の支援の一環として、特技や趣味を持つ住民を特技ボランティアとして登録し、活動の拡充や住民の地域活動への参加を促進した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	220名	220名	220名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	195名	172名	158名

④ 福祉学習

地域福祉推進員や地区サポーター等とともに、区内小・中学校での授業や地区イベント等の機会を捉え、体験型の福祉学習や障害福祉団体との連携による講話等を通じて、地域福祉に関する理解・啓発に取り組んだ。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
福祉学習実施回数	50回	75回	75回
福祉学習参加者数	5,000名	6,500名	6,500名
福祉用具貸出件数	15件	15件	20件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
福祉学習実施回数	53回	45回	44回
福祉学習参加者数	5,795名	4,019名	4,341名
福祉用具貸出件数	7件	7件	5件

⑤ ボランティア保険事務【東社協受託】

ボランティア活動や福祉イベント・事業等の拡充に向け、ボランティア保険やボランティア行事保険の加入手続を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
ボランティア保険	10,000名	13,500名	20,100名
ボランティア活動行事保険	1,000件	600件	1,400件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
ボランティア保険	8,851名	8,044名	11,951名
ボランティア活動行事保険	1,227件	905件	612件

(参考) ボランティア活動行事保険の内訳

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
行事保険	909件	755件	590件
当日参加対応型行事保険	318件	150件	22件

(6) 日常生活支援事業

コロナ禍により、ふれあいサービス（自主事業）と支えあいサービス（区受託事業）は、利用会員、協力会員の安全に十分配慮し、協力会員はマスク着用を基本としたサービス提供を継続した。

高齢者の不安解消事業は、楽しみながらわかりやすく「終活」を学んでいただけるよう講師選定等を工夫した講演会を実施した。

① ふれあいサービス

高齢や障害、産前産後等で日常生活に支援が必要な世帯に対し、近隣の住民による家事や外出支援等の生活支援サービスを行った。サービス利用のコーディネータは、地区事務局担当者が行っている。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員数	600名	—	—
（うち新規利用登録数）	(175名)	—	—
協力会員数	600名	650名	650名
（うち新規協力登録数）	(180名)	(180名)	(120名)
派遣回数	—	—	—
派遣時間数	18,000時間	18,000時間	21,000時間
フォローアップ研修回数	2回	2回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員数	513名	529名	681名
（うち新規利用登録数）	(174名)	(165名)	(177名)
協力会員数	529名	576名	540名
（うち新規協力登録数）	(92名)	(104名)	(84名)
派遣回数	10,461回	11,541回	10,798回
派遣時間数	14,787.5時間	16,242.5時間	15,394.0時間
フォローアップ研修回数	2回	0回	0回

※利用会員数の計画数値化は、令和4年度より実施

(参考)

利用回数および利用時間

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延利用回数	10,461回	11,541回	10,798回
家事支援	9,082回	9,998回	9,531回
生活支援	270回	197回	204回
外出支援	980回	1,188回	963回
その他（大掃除等継続ケース）	129回	158回	100回
延利用時間	14,787.5時間	16,242.5時間	15,394.0時間
家事支援	12,604.0時間	13,924.0時間	13,380.5時間
生活支援	423.0時間	313.5時間	285.5時間
外出支援	1,509.0時間	1,670.5時間	1,471.5時間
その他（大掃除等継続ケース）	251.5時間	334.5時間	256.5時間

② 支えあいサービス（介護予防・日常生活支援総合事業生活支援サービス）【区受託】

介護保険制度の要支援者等に対し、介護予防や自立支援に資する家事援助サービスを健康状態や生活状況に留意して提供した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用者数	80名	60名	40名
協力者数	350名	320名	270名
派遣回数	2,832回	2,927回	2,881回
派遣時間数	—	—	—
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用者数	72名	63名	58名
協力者数	370名	323名	282名
派遣回数	2,622回	2,877回	2,374回
派遣時間数	1,311.0時間	1,438.5時間	1,187.0時間

(参考)

実績		令和4年度	令和3年度	令和2年度
研修	実施回数	7回	6回	6回
	参加者数	191名	135名	209名
協力者登録	登録数	370名	323名	282名
	うち新規登録数	56名	54名	51名
利用者登録	訪問数	8名	15名	17名
	登録数	72名	63名	58名
	うち新規申込数	8名	16名	17名
サービス実施	実施者数	延552名	延613名	延499名
	実施件数	延2,622件	延2,877件	延2,374件

③ 高齢者の不安解消事業

高齢者の終活や死後事務に関する手続きやサービスについて、情報提供の機会として終活講座を企画した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
終活相談会実施回数	2回	2回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
終活相談会実施回数	2回	0回*	1回

* コロナ禍を踏まえ、対面となる相談会形式を取りやめ、講座を実施した。

(7) 子育て支援事業

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、感染防止に留意して利用や活動を継続した。

新たな取組みとして、より多くの区民が援助活動に参加できるよう、子育て支援者養成研修にオンライン受講コースを導入した結果、新規援助会員登録者が大幅に増加した。

また、「子育て支援専門員」を新規配置し、援助会員面接の他、0歳児預かり訪問や「0歳児見守りサポートシート」の運用、電話でのサポートなどを開始し、安全性の向上を推進した。

① 世田谷区ファミリー・サポート・センター事業【区受託】

子育ての手助けが必要な方（利用会員）と手助けができる方（援助会員）が、身近な地域で短時間の預かりや送迎等、子育ての相互援助ができるよう、会員登録や相談受付、サービスの利用調整を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員数	12,000名	10,900名	10,300名
（うち新規登録利用会員数）	(1,200名)	(1,090名)	(1,000名)
援助会員数	1,200名	1,120名	1,150名
（うち新規登録援助会員数）	(180名)	(140名)	(150名)
利用(援助活動)回数	36,000回	45,000回	45,000回
利用(援助活動)時間数	40,000時間	-	-
紹介件数	1,200件	1,000件	2,000件
アウトリーチ回数	120回	-	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員数	5,462名	4,101名 ^{*1}	9,505名
（うち新規登録利用会員数）	1,396名	(1,014名)	(759名)
援助会員数	1,043名	886名	1,078名
（うち新規登録援助会員数）	164名	(104名)	(101名)
利用(援助活動)回数	22,993回	17,756回	11,297回
利用(援助活動)時間数	33,052時間	24,538.5時間	15,538時間
紹介件数	1,365件	1,062件	647件
アウトリーチ回数	443回	224回 ^{*2}	-

^{*1}利用会員は、令和3年度末に次年度への登録継続希望の確認が取れない会員の登録を一旦廃止し整理した結果、前年度数から大幅に減少した

^{*2}アウトリーチ回数は、令和3年6月以降の実績

② 子育て支援者の育成

子育ての援助に必要な知識等を身につけ、安全で質の高い活動ができるように研修（受講時間は25時間）を実施した。

ア 子育て支援者養成研修【区受託】

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	5回	5回(延35日)	5回(延35日)
参加者数	180名	360名	340名

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	6回	3回(延22日)	4回(延28日)
参加者数	231名	109名	102名

※令和4年度の第3回と第6回はオンライン開催

イ 援助会員フォローアップ研修 (a) 及びフォローアップ専門研修 (b) 【区受託】

a 「子どもの人権と多様性」をテーマに、当事者からの体験談を交えながら援助者に必要な知識と対応について学んだ。

b 5年に一度の受講が必須となった「救急救命講習及び事故防止」の研修を実施した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
a 実施回数	1回	1回	6回
a 参加者数	40名	40名	50名
b 実施回数	6回	6回	5回
b 参加者数	240名	240名	200名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
a 実施回数	1回	1回	1回
a 参加者数	16名	24名	23名
b 実施回数	6回	6回	5回
b 参加者数	60名	69名	126名

③ 会員交流会 【区受託】

利用会員交流会は、アンケート結果による要望に基づき、土曜日に開催したが、参加者数が低迷した。援助会員交流会は会員同士の懇談と意見交換を実施した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員交流会実施回数	2回	2回	3回
参加者数	100名	100名	150名
援助会員交流会実施回数	2回	2回	(利用会員交流会 と合同開催)
参加者数	100名	100名	
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員交流会実施回数	2回	2回	3回
参加者数	7名	19名	46名
援助会員交流会実施回数	2回	2回	(利用会員交流会 と合同開催)
参加者数	27名	25名	

※令和2年度まで利用会員・援助会員合同の交流会として開催したが、会員の希望や意見を鑑み、利用会員、援助会員それぞれの交流会として実施

④ 「事前打ち合わせ」体験事業【区受託】

ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがない会員に対し、「事前打ち合わせ」の模擬体験を通じて、サービス利用への不安を軽減し、本事業の利用促進を図った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	5回	5回	-
参加者数（利用会員）	25組	22組	-
参加者数（援助会員）	35名	30名	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	4回	5回	1回
参加者数（利用会員）	10組	18組	6組
参加者数（援助会員）	24名	29名	6名

※5回の計画のうち1回は、参加者全員が事前キャンセルしたため中止

⑤ 住民向け講座等

ア 援助会員発掘事業【区受託】

子育てに関心のある人に対し、子どもと一緒に楽しめる手遊び体験を通じて、子育て支援者養成研修を案内し、受講へとつなげた。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	100名	100名	100名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	30名	18名	40名

イ 子育て支援講座

区内の子育て支援団体スタッフや援助会員に対し、子育てのつらさや負担感に寄り添う心構えについて講義を行うとともに、関係者間の連携構築を図った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	80名	80名	80名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	1回	1回	1回
参加者数	10名	7名	13名

※令和2年度・令和3年度はオンライン開催、令和4年度はオンライン+会場のハイブリッド開催

(8) 障害者支援事業

福祉喫茶(3店舗)の運営を通して、障害者に働く場の提供と就労支援を行い、「世田谷区障害者就労支援センター」と連携した実習評価を行った。

① 福祉喫茶の運営

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
就労支援数	8名	8名	10名
来客者数	19,560名	16,500名	27,000名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
就労支援数 (うち一般就労移行者数)	3名 (0名)	6名 (1名)	8名 (1名)
来客者数	22,618名	20,086名	11,647名

※座席間隔確保のため、座席数を減じて営業、食事中以外はマスク着用を依頼した。

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
援助者数(店長含む)	30名	25名	22名
来客者数 内訳			
喫茶YOU・遊 (松沢まちづくりセンター内)	3,796名	3,180名	2,419名
喫茶桜ん房 (砧図書館内)	4,876名	3,454名	2,574名
喫茶どんぐり (世田谷文学館内)	13,946名	13,452名	6,654名
来客数合計	22,618名	20,086名	11,647名

② 研修(店長・援助者・従事者)

従事者を対象に、一般就労に向け、安定した職業生活のための研修を行うとともに、新規採用した店長向けには、店舗運営や従事者支援についての研修を行った。また、外部講師を招き、店長や援助者に対し、障害者の理解や企業による雇用事例等、支援に必要な知識や技能についての研修を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
従事者研修回数	3回	3回	3回
店長・援助者研修回数	6回	6回	6回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
従事者研修回数	2回	3回	8回
店長・援助者研修回数	6回	7回	5回

(9) 歳末たすけあい運動事業

共同募金の一環として、町会総連合会、民生委員・児童委員協議会、赤十字奉仕団等関係団体の協力により募金活動を行った。募金は、支援を必要とする世帯へのお見舞金及び同世帯の小・中・高校入学お祝い金の他、地域福祉活動費として社協の各種事業に活用した。

① 歳末たすけあい・地域支えあい募金

ア 募金総額および使途内訳

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
募金額	25,000,000円	15,000,000円	42,000,000円
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
募金額	29,818,246円	24,877,595円	13,364,308円

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
見舞金件数	236件	272件	248件
金額 a	1,526,000円	1,726,000円	1,539,000円
(うち支援を必要とする世帯)	(230件) (1,436,000円)	(266件) (1,636,000円)	(241件) (1,434,000円)
(うち支援を必要とする世帯 小中学校入学祝)	(6件) (90,000円)	(6件) (90,000円)	(7件) (105,000円)
(うち在宅要介護高齢者介護者) ※1	(0件) (0円)	(0件) (0円)	(0件) (0円)
(うち在宅重度障害者(児)介護者)※1	(0件) (0円)	(0件) (0円)	(0件) (0円)
地域福祉活動費※2b	27,619,386円	22,253,534円	11,174,233円
事務費 c	672,860円	898,061円	651,075円
金額合計 (a+b+c)	29,818,246円	24,877,595円	13,364,308円

※1 令和2・3・4年度は、コロナ禍により募金額が少なかったため、配布対象としなかった

※2 東京都共同募金会へ納付し、翌年度、地域福祉活動費として社協事業に配分・充当する

イ 地域福祉活動費内訳

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
地域福祉活動事業	22,053,534円	10,974,233円	11,651,881円
日常生活自立支援事業	-	-	1,492,521円
生活困窮者等自立生活支援事業	200,000円	200,000円	200,000円
権利擁護支援事業	-	-	430,875円
令和3年度への繰越金	-	-	19,616,335円
地域福祉活動費合計	22,253,534円	11,174,233円	33,391,612円

ウ 歳末たすけあい職員街頭募金活動

各地域の主要駅周辺にて職員による街頭募金に取り組んだ。

【開催状況】

地域	活動日	時間	場所	募金額
世田谷	12月1日	12:00～14:00	三軒茶屋駅周辺	33,674円
北沢		12:00～14:00	下北沢駅前	46,380円
玉川		12:00～14:00	二子玉川駅前	26,854円
砧		12:00～14:00	成城学園駅前	42,665円
烏山	12月2日	12:00～14:00	烏山区民センター前広場 千歳烏山駅前	47,887円
募金額合計				197,460円

② 世田谷区共同募金配分推せん委員会事務局運営

世田谷区共同募金配分推せん委員会を3回(6月・9月^{※1}・12月)開催し、世田谷区内の施設・地域福祉活動団体、ふれあい・いきいきサロン活動等への配分推せん及び歳末たすけあい・地域支えあい募金による見舞金等を決定した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配分推薦委員会開催回数	2回	2回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配分推薦委員会開催回数	3回	2回	2回

※1 歳末たすけあい・地域支えあい募金の見舞金等の取扱いについて検討するため、9月に臨時委員会を開催した。

II 生活自立支援事業拠点区分

1 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 生活困窮者自立支援事業

新型コロナウイルス感染症による影響が依然として残る中、離職や休業等のみならず、各種貸付の返済が開始することなどにより経済的困窮の課題を抱える住民からの相談が、今年度も引き続き多く寄せられた。その中には、困窮状態が長期化し、課題の深刻さも増しているケースが多くなっている。

相談支援場面では、感染症防止対策を講じながら対面での面談を中心に行い、相談者ひとり一人の話に丁寧に耳を傾け、関係機関と連携しながら適切に支援を進めるように努めた。

また、4月には「世田谷区ひきこもり相談窓口『リンク』」の開設に伴い、ぶらっとホーム世田谷及び分室を三軒茶屋駅近くに移転し、メルクマールせたがやとともに他機関と連携・協働し、ひきこもりの方とその家族への支援を行った。

① 自立・相談支援【区受託】

新型コロナウイルス感染症の影響等により、様々な生活課題を抱える方に対し、関係機関と連携しながら、生活の再建・安定に向けて面談や電話相談等を通じて各種事業や制度を活用して支援を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	1,000件	1,000件	800件
プラン作成件数(新規、更新含む)	800件	800件	900件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	1,366件	1,114件	1,276件
プラン作成件数(新規、更新含む)	605件	603件	427件

② 家計相談【区受託】

家計収支の均衡が取れず、経済的な課題を抱える相談者が増加する中、自立支援プラン作成時に家計表作成を促し収支の見える化を図るとともに、自ら収支バランスを整え、家計管理ができるよう支援を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
家計相談件数	200件	200件	200件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
家計相談件数	518件	421件	260件

③ 生活保護受給者支援【区受託】

生活保護受給者の家計の収支バランスを保つための相談支援、給付基準内の賃料で住まいを確保するための転宅支援を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
転宅支援件数	50件	50件	20件
家計改善支援件数	20件	20件	20件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
転宅支援件数	20件	13件	14件
家計改善支援件数	5件	2件	1件

④ 住居確保給付金【区受託】

令和4年4月以降、コロナ禍の落ち着きを受け、申請数が減少傾向に転じた。再々延長申請受付は令和3年11月30日に、特例再支給申請受付は令和5年3月31日に申請受付が終了した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規申請者件数	960件	1,280件	6,300件
延長申請者件数	720件	1,200件	4,900件
再延長申請者件数	540件	800件	2,900件
再々延長申請受付件数	-	850件	-
特例再支給申請受付件数	-	1,500件	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規申請者件数	407件	1,171件	7,065件
延長申請者件数	395件	1,259件	4,812件
再延長申請者件数	419件	1,206件	3,625件
再々延長申請受付件数	-	1,085件	2,383件
特例再支給申請受付件数	713件	2,529件	131件

※特例の内容：自己の責によらない休業等により離職と同程度に収入が減少し、住まい（賃貸）を喪失するか、喪失のおそれのある状況の続く方々も対象とする。家賃助成は最長9ヶ月

※再支給申請者は特例再支給のみ計上

⑤ 就労準備支援事業【区受託】

コロナ禍により参加人数の調整等を行いながら、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者及び生活保護受給者に対し、生活環境の改善や基本的なコミュニケーション力の向上を図る居場所の提供、職場見学・体験等の支援を行った。

生活自立：居場所（カフェ豪徳寺、漫画喫茶ガリレオ）等

社会自立：ジョブトレーニング（生活保護受給者対象）、コラージュ講座等

就労自立：職場体験等

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
講座等実施回数	120回	146回	144回
延参加人数	600名	1,820名	1,820名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
講座等実施回数	224回	169回	59回
延参加人数	838名	527名	130名

⑥ 日常生活支援アドバイザー派遣事業【区受託】

コロナ禍により、個別の支援が困難な状況になったが、社会参加の機会がない、ひきこもり状態にある生活困窮者及び生活保護受給者に対し、日常生活支援アドバイザーを派遣（1単位3時間）し、日常生活の維持に必要な知識と技術の習得に向け、指導・助言を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
派遣対象者数	30名	30名	30名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
派遣対象者数	6名	8名	7名

⑦ ひきこもりに関する理解促進を目的としたセミナー等の開催【区受託】

ひきこもり状態にある方への理解を深めるために、支援者向けに鳥取県精神保健福祉センター所長原田豊先生の講演を開催した。

また、当事者や家族、支援者の相互理解を深めるために、お互いの気持ちをテーマごとに語り合う「かたら～な」という会を開催した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
セミナー等の開催回数	2回	1回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
セミナー等の開催回数(延参加人数)	2回(91名)	1回(113名)	2回(123名)

⑧ 生活困窮者移動支援事業

役所への相談や就労面談に行くための交通費にも事欠く方に対し、交通費(1回500円(区外の場合1,000円まで))を貸し付けた。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用者数	30名	30名	30名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用者数	6名	7名	13名

⑨ フードバンク事業

生活に困窮して直近の食事の確保に困る方に対し、緊急対応として食料の支援を行うとともに、相談窓口等の情報提供を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
支援件数	240件	200件	150件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
支援件数	85件	180件	192件

⑩ フードパントリー事業【拡充】【自主(一部区受託)】

NPO法人(セカンド・ハーベスト・ジャパン)や区内の社会福祉法人の協力を得て、生活に困窮して食料支援を必要とする世帯に対して、三軒茶屋と成城の2か所で、月1回ずつフードパントリー(食料の提供)を実施した。

その際に、区民からの寄付等を活用し、生理用品等の生活用品の配布も行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
支援件数	630件	360件	240件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
支援件数	283件	311件	208件

⑪ 子どもの学習・生活支援事業【区受託】

生活に困窮する世帯の子どもに対し、学習支援等を行う「せたがやゼミナール」（通称「せたゼミ」）は、新型コロナの感染拡大の時期には、対象者を受験生（中学3年生、高校3年生）に限定し、時間を短縮する等の配慮を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催場所	6カ所	5カ所	5カ所
延登録者数	75名	75名	75名
子ども支援ネットワーク会議の開催	2回	2回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催場所	5カ所	5ヶ所	5カ所
延登録者数	77名	77名	99名
子ども支援ネットワーク会議の開催	2回	1回	0回

⑫ 受験生チャレンジ支援貸付【区受託】

高校や大学等を受験する世帯(所得制限あり)に対して、学習塾等の受講料や受験料の貸付を行なう事業の周知及び申請受付を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
学習塾等受講料申請者（中3）件数	240件	240件	240件
学習塾等受講料申請者（高3）件数	120件	120件	12件
受験料申請者（中3）件数	240件	240件	240件
受験料申請者（高3）件数	160件	160件	160件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
学習塾等受講料申請者（中3）件数	172件	102件	124件
学習塾等受講料申請者（高3）件数	93件	71件	64件
受験料申請者（中3）件数	159件	99件	118件
受験料申請者（高3）件数	119件	93件	88件

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付件数合計	538件	362件	394件
貸付金額合計	61,806,500円	42,206,300円	45,545,600円

⑬ 進学応援給付金

区内児童養護施設や養育家庭から大学等に進学する児童の社会的自立を支援するため、学費の一部を給付した。(1人年間12万円)

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
対象者数	6名	6名	9名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
対象者数	10名	7名	5名

⑭ ひきこもり支援【区受託】〔拡充〕

世田谷区ひきこもり相談窓口『リンク』開設し、窓口を運営するとともに、ひきこもりの方やその家族に対し、メルクマールせたがやと共に区や関係機関と連携・協働し、相談及び支援を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談受付業務	300名	-	-
プラン策定件数	100件	-	-
重層的支援会議	60回	-	-
(仮称)8050支援部会	2回	-	-
ひきこもり・就労支援部会	2回	-	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談受付業務	213名	-	-
プラン策定件数	13件	-	-
重層的支援会議	64回	-	-
(仮称)8050支援部会	2回	-	-
ひきこもり・就労支援部会	4回	-	-

(2) 生活福祉資金貸付事務事業【東社協受託】

東社協（貸付実施機関）から相談・受付事務等を受託している生活福祉資金の貸付において、コロナ禍で収入が減少し生活に困窮する方の支援策として、令和2年3月から令和4年9月まで緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付が実施された。令和5年1月から東社協による償還が開始された。世田谷区社協は東社協と連携しながら、償還猶予の相談及び意見書作成を開始した。

① 生活福祉資金貸付事務事業

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
福祉資金・教育支援資金	80件	80件	100件
緊急小口資金	40件	40件	20件
総合支援資金	10件	10件	5件
不動産担保型生活資金	2件	2件	2件
要保護世帯不動産担保型生活資金	2件	2件	2件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
福祉資金・教育支援資金	58件	59件	64件
緊急小口資金	2件	0件	0件
総合支援資金	0件	0件	1件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件
要保護世帯不動産担保型生活資金	0件	0件	0件

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
緊急小口資金（特例貸付）	1,033件	4,122件	12,325件
総合支援資金（特例貸付・初回）	933件	4,025件	8,053件
総合支援資金（特例貸付・延長）	0件	1,950件	4,909件
総合支援資金（特例貸付・再貸付）	0件	5,230件	3,906件
償還猶予意見書作成	68件	0件	0件

2 貸付金等事業サービス区分

(1) 貸付金等事業

区の協力を得て、応急貸付金の貸付事業を通じた緊急性の高い生活費の一部（食費や水道光熱費）等の貸付支援を行った。

① 応急貸付金事業

低所得世帯が緊急的に生活費に窮した場合に小口の資金を貸付け、世帯の自立を支援した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付件数	16件	30件	31件
貸付金額	447,000円	519,750円	786,500円
償還金額	256,200円	449,550円	421,540円

② 緊急援護金事業

世田谷区と連携し、世田谷区在住者の困窮時の援助を目的として、緊急一時金（小口援護資金）を貸付け、生活の立て直しに向けた支援を行った。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸付件数	205件	203件	161件
貸付金額	601,330円	563,350円	447,490円

III 権利擁護事業拠点区分

1 成年後見推進事業サービス区分

(1) あんしん事業

認知症、知的障害、精神障害や身体障害により、生活に不安がある方やサービスの利用手続きが難しい方に対し、生活支援員が福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりを行った。また、申立て手続き等が必要な方には成年後見制度への移行を支援した。

訪問にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、専門員（職員）と生活支援員（臨時職員）が連携して支援を行った。

① あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）【東社協受託・自主】

地域住民やケアマネジャー等への普及啓発に努めた結果、新規契約件数が増加した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規契約件数	40件	40件	30件
年度末契約件数	138件	130件	150件
後見移行件数	17件	17件	15件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規契約件数	69件	63件	44件
年度末契約件数	173件	158件	128件
後見移行件数	18件	10件	14件

(参考)

ア 相談件数

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
電話・窓口相談件数	120件	114件	126件
新規・既契約者への訪問件数	1,898件	1,810件	1,782件

イ 契約件数等

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規契約件数	69件	63件	44件
解約件数 (うち後見制度への移行件数)	54件 (18件)	33件 (10件)	35件 (14件)
3/31現在の契約件数	173件	158件	128件
生活支援員登録人数(3/31現在)	119名	118名	113名

② あんしん法律相談

高齢者・障害者に法的な助言が得られる機会を提供するため、弁護士による無料の専門相談を実施した。(第2木曜日の午後) コロナ禍を踏まえ電話による相談も実施した。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	28件 (94件)	43件 (113件)	30件 (108件)

※ () は、「福祉サービス利用援助事業」と「成年後見制度利用支援事業」を合わせた「あんしん法律相談」合計数

(2) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度に関する相談、利用の支援、成年後見人等候補者に関する情報提供や弁護士による専門相談を実施した。また、区民成年後見人養成研修を実施して人材を育成するとともに、区民成年後見人等の活動を支援した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前年度に引き続き一部事業は中止や縮小せざるをえなかったが、後見制度に関する相談会等は再開できたことから、後見制度に関する相談件数や申立等支援件数は増加となった。

① 成年後見制度の専門相談・支援【区受託】

判断能力が低下した高齢者・障害者の生命・財産を守り、地域で安心して生活できるよう、相談員による相談と弁護士による無料の専門相談（あんしん法律相談：第1・3水曜日の午後）を実施し、成年後見制度の利用促進を図った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	1,600件	1,550件	1,725件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	1,981件	1,678件	1,489件

※相談件数は、相談員による相談件数

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度実績	令和2年度実績
あんしん法律相談 (成年後見制度利用支援事業)	66件 (94件)	70件 (113件)	78件 (108件)

※()は、「福祉サービス利用援助事業」と「成年後見制度利用支援事業」を合わせた「あんしん法律相談」合計数

② 親族後見人等への支援【区受託】

本人及び親族による申立や、親族後見人による家庭裁判所への定期報告等への支援、相談・助言を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
申立等支援件数	90件	80件	10件
親族後見人継続支援件数	10件	10件	20件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
申立等支援件数	103件	78件	74件
親族後見人継続支援件数	5件	3件	2件

※申立等支援件数は申立て書類作成支援と申立て手続き支援の合計数

③ 弁護士による専門相談【区受託】

高齢者、障害者、またその家族及び支援者等が法的な助言を得られる機会を提供する。

○弁護士による無料相談 1人30分(予約制)

○第1・3水曜日午後実施

④ 区民成年後見人養成研修の実施【区受託】

区民成年後見人等となる人材を育成するため、養成研修を実施した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
修了者数	11名	11名	20名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
修了者数	8名	8名	8名

※コロナ禍により、令和3年度に引き続き令和4年度も研修参加者数を減らした。

⑤ 区民成年後見支援員の活動支援【区受託】

成年後見制度の利用支援・普及啓発のため、区民成年後見支援員（区民成年後見人養成研修を修了して支援員として登録された方）に活動の場の提供等の支援を行った。区民成年後見支援員は、活動実績を積んだ後に成年後見人等を受任しており、専門性のある地域人材となっている。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
区民成年後見支援員登録人数	165名	166名	185名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
区民成年後見支援員登録人数	159名	157名	165名

(参考)

ア 区民成年後見支援員の活動 その他詳細

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
連絡会等の開催 ^{※1}	3回	3回	3回
専門職後見人のサポート活動件数 ^{※2}	0件	2件	3件
申立手続き説明会説明員参加延人数	85名	35名	29名
アドバイザー活動 ^{※3}	2名	1名	5名
普及啓発支援員活動 ^{※4}	7名	7名	2名

※1 連絡会と継続研修は録画配信

※2 本人への面会、見守り等

※3 ベテラン区民成年後見人による初任の区民成年後見人への指導助言

※4 外部機関を含めた講座・学習会等における成年後見制度や区民成年後見人活動に関する説明・講義

イ 成年後見制度相談会の実施

成年後見制度利用促進および区民成年後見支援員の活動分野の拡大策の一環として、5地域で成年後見制度相談会を実施した。区民成年後見支援員が相談員となり、成年後見制度の説明や相談に応じた。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	22回	13回	18回
相談件数	36件	24件	29件

⑥ 運営委員会【区受託】

成年後見制度を必要とする区民に対する利用支援のあり方や、成年後見センターの運営方針等を検討した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
運営委員会開催回数	3回	3回	3回

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
運営委員会開催回数	3回	3回	3回

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
小委員会開催回数	廃止	廃止	廃止 ^{*1}

*1 令和2年度より運営委員会小委員会を廃止して事例検討委員会小委員会を設置し、区民成年後見人の選任を行った。

⑦ 事例検討委員会【区受託】

成年後見制度に関する事例について、後見業務の内容を検討し、成年後見人等として受任中の弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士による専門的なアドバイスを受けるとともに、後見人等候補者の選任を行った。

なお、運営委員会小委員会は廃止し、令和2年度より事例検討委員会小委員会を設置して区民成年後見人等の選任を行っている。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	24回	24回	24回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	24回	24回	22回

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
事例検討委員会小委員会開催回数	10回	11回	8回

⑧ 権利擁護事例検討会【区受託】

成年後見制度やあんしん事業に関する事例を検討し、あんしんすこやかセンター、地域障害者相談支援センターぼーと等との連携を図った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	2回	2回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	2回	2回	2回

⑨ 成年後見制度地域連携ネットワーク会議の開催【区受託】

世田谷区における成年後見制度の中核機関として、行政や相談支援機関、専門職、民生・児童委員等が参加し、成年後見制度の利用促進や課題を協議する地域連携ネットワーク会議を開催した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	2回	2回	2回
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	2回	2回	0回

⑩ 親族後見人のための成年後見セミナー【区受託】

親族後見人対象のセミナーを開催し、親族後見人の支援を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	1回	1回	1回
募集人数	20名	20名	20名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	1回	1回	1回
参加人数	12名	11名	17名

⑪ 区民成年後見人等の活動支援【区受託】

区民成年後見人の後見活動や死後事務への対応、家庭裁判所への報告書の提出等について、相談・支援を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規受任件数	15件	15件	25件
年度未受任件数	75件	72件	95件
死後事務対応件数	10件	10件	15件
区民成年後見人等受任者数	58名	55名	-
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規受任件数	13件	16件	8件
年度未受任件数	54件	60件	65件
死後事務対応件数	13件	16件	9件
区民成年後見人等受任者数	50名	56名	-

※現在、区民成年後見人等に対して、本会が全て後見等監督人となっていることから、表の数値は「後見等監督人の受任件数」の表と一致する。

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
終了件数	19件	21件	12件

⑫ 活動報告書の作成【区受託】

成年後見制度の利用促進にかかる事例等を紹介し、区民や支援者に周知することで、成年後見制度の普及啓発を行った。

⑬ 支援者のための研修【区受託】

高齢者や障害者を支援する業務に従事する職員が成年後見制度を理解し、制度を必要とする方を適切につなげられるよう、令和3年度より支援者向けの研修を実施している。

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	1回	1回	-
受講者数	11名	62名	-

※他、当日欠席のあんしんすこやかセンター(希望者)及び本会全職員に当日録画した研修動画を配信

(3) 法人による成年後見事業

「成年後見センター新5カ年計画」(中間評価及び計画数値の見直し)に基づき、法人の自主事業に取り組んだ。

法人後見や後見監督の受任については、前年度と同程度の新規受任件数であったが、終了件数が多いことから年度末受任件数は前年度と比べ減となった。また、引き続き法人後見で安定したケースを区民成年後見人に引き継ぐリレーを実施した。

任意後見は、判断能力の低下により後見制度の発効手続きを進めたケースが増えた。

成年後見制度の利用促進に向けて実施している若い支度講座や成年後見セミナーは、コロナ禍により規模を縮小しての開催となった。

① 法人による区民後見監督

家庭裁判所による区民成年後見人等の選任に伴い、本会が後見等監督人の選任の審判を受け、区民成年後見人等の活動を監督した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規受任件数	15件	15件	25件
年度末受任件数	75件	72件	95件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規受任件数	13件	16件	8件
年度末受任件数	54件	60件	65件

※現在、区民成年後見人等に対して、本会が全て後見等監督人となっていることから、表の数値は「①区民成年後見人等の活動支援【区受託】」の表と一致する。

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
終了件数	19件	21件	12件

② 法人による成年後見

ア 法人後見

特に福祉的配慮が必要で他に適切な成年後見人等がない人に対して、本会が法人として後見人等の審判を受け、身上保護、財産管理等を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規受任件数	25件	25件	30件
年度末受任件数	109件	105件	110件
死後事務対応件数	20件	15件	15件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規受任件数	17件	18件	27件
年度末受任件数	97件	103件	99件
死後事務対応件数	14件	6件	12件

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
終了件数(区民後見人へのリレー)	23件 (3件)	14件	18件
3/31現在の受任件数 (ほか確定待ち)	97件 (0件)	103件 (0件)	99件 (0件)

イ 任意後見

自分の将来のために、本会に成年後見人を依頼したいと希望する高齢者と公正証書により任意後見契約を結び、定期訪問または電話による日常生活の見守りを行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規契約件数	3件	3件	7件
年度末契約件数	15件	12件	27件
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規契約件数	2件	1件	3件
年度末契約件数	8件	9件	11件

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
契約終了件数 (うち後見発効件数)	3件 (3件)	3件 (2件)	1件 (1件)

③ 成年後見セミナー

成年後見制度について、申立てやその後の後見業務に活用してもらうことを目的とした講座を開催した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	4回	4回	4回
募集人数	160名	160名	160名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	4回	1回	3回
参加人数	43名	11名	32名

④ 若い支度講座

制度の普及啓発を図るため、成年後見センター事例検討委員会の弁護士、司法書士、社会福祉士等を講師として、成年後見制度、遺言、相続等に関する講座を実施した。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	5回	5回	5回
募集人数	150名	150名	150名
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催回数	5回	2回	1回
参加人数	62名	24名	19名

⑤ 区民成年後見人への後見報酬・区民成年後見支援員への活動助成

権利擁護推進基金積立金を活用し、被後見人の経済的な理由により後見報酬が得られない区民成年後見人に報酬助成を行うとともに、区民成年後見支援員の勉強会等の活動に対して助成を行った。

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
後見報酬助成件数	15件	12件	10件
自主活動助成件数	5件	5件	5件

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
後見報酬助成件数	4件	3件	7件
自主活動助成件数	3件	3件	4件

⑥ 「私のノート（世田谷区社会福祉協議会版エンディングノート）」の発行

自分の将来の生活について考え、周囲に自分の思いを伝え、安心して暮らすための備えとして、「私のノート」を各種講座で紹介し販売を行った。（累計販売実績：2,794冊）

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
販売部数	300部	300部	300部
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
販売部数	207部	194部	97部

収益事業区分

I 自動販売機設置事業拠点区分

1 自動販売機設置事業サービス区分

(1) 自動販売機設置事業

自動販売機の設置増に向けて、地域社協だよりや SNS、チラシ等を活用して PR 活動を行った。

① 地域貢献型自動販売機設置

計画	令和4年度	令和3年度	令和2年度
自動販売機設置台数	40台	34台	40台
実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
自動販売機設置台数	39台	38台	34台

(参考)

実績	令和4年度	令和3年度	令和2年度
販売手数料収入額	8,502,000円	8,708,776円	11,782,497円

※公共施設の移転・改築等により設置台数が減少傾向にあるため、個人宅や企業、民間施設等に設置できるよう広報活動に取り組み、新たに1か所1台を設置した。

別表

別表一覧

- 別表1 「1-(1)-① 理事会、評議員会等」関係
 別表2 「1-(1)-⑤ 世田谷区社会福祉協議会会員会費募集」関係
 別表3 「2-(1)-① 地区社会福祉協議会の運営支援」関係
 別表4 「2-(1)-② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】」関係
 別表5 「2-(1)-⑥ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな）【区受託】」関係
 別表6 「2-(2)-② 地域・地区における交流・啓発 ア サロンリーダー交流会等の開催」関係
 別表7 「2-(5)-① 地区サポーター」関係

別表1「1-(1)-①理事会、評議員会等」関係

(1) 理事会の開催

開催	内容
第1回 4月12日(火) ※決議の省略	【決議事項】 1 役職者の欠員補充に伴う役職者の選定 2 社会福祉法人指導監査の結果に対する改善
第2回 6月7日(火)	【決議事項】 1 令和3年度事業報告・決算（計算書類・財産目録）の承認 2 令和4年度補正予算（第一次）（案） 3 関係諸規程の一部改正 4 役員等賠償責任保険契約の決定 5 令和4年度第1回評議員会の招集事項の決定 【報告事項】 1 予算の流用について 2 社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定について 3 第20回地域福祉推進大会について 4 令和3年度世田谷区社会福祉協議会会員会費の実績について 5 令和3年度応急貸付金等の償還免除について 6 令和4年度事業計画・予算書の資料訂正について 【その他】 1 令和4年度理事会・評議員会等スケジュールについて 2 令和4年度事業計画・予算書（冊子）の配布について
第3回 11月4日(金)	【決議事項】 1 令和4年度補正予算（第二次）（案） 2 関係諸規程の一部改正 3 令和4年度第2回評議員会の招集事項の決定 【報告事項】 1 予算の流用について 2 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告（令和4年度事業中間報告） 3 令和4年度社会福祉協議会会員会費の中間報告について 4 令和4年度歳末たすけあい・地域支えあい募金における職員街頭募金の実

	<p>施について</p> <p>5 令和3年度事業報告・決算書の資料訂正について</p> <p>6 「成年後見センター次期運営計画」素案</p> <p>7 せたがやはいかい SOS ネットワーク事業の名称等の変更について</p> <p>8 生活福祉資金（特例貸付）終了報告</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和4年度理事会・評議員会等スケジュールについて</p> <p>2 第20回地域福祉推進大会について</p> <p>3 えみいレポート 世田谷区成年後見センター活動報告書</p>
第4回 3月13日(月)	<p>【決議事項】</p> <p>1 令和4年度補正予算（第三次）（案）</p> <p>2 令和5年度事業計画・予算（案）</p> <p>3 令和4年度第3回評議員会の招集事項の決定</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 社協経営改革計画総括</p> <p>①財政健全化計画総括</p> <p>②人材育成計画総括</p> <p>③中期事業計画総括</p> <p>2 成年後見センター次期運営計画（案）</p> <p>3 職員給与の見直し</p> <p>4 第20回地域福祉推進大会報告</p> <p>5 予算の流用</p> <p>【その他】</p> <p>1 食の支援事業 寄付募集チラシ</p> <p>2 令和5年度世田谷区社会福祉協議会年間スケジュール（予定）</p>

（2）評議員会の開催

開催	内容
第1回 6月29日(水)	<p>【決議事項】</p> <p>1 令和3年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認</p> <p>2 令和4年度補正予算（第一次）</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 令和3年度事業報告について</p> <p>2 予算の流用について</p> <p>3 社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定について</p> <p>4 関係諸規程の一部改正について</p> <p>5 第20回地域福祉推進大会について</p> <p>6 役員等賠償責任保険契約の決定について</p> <p>7 令和3年度社会福祉協議会会員会費の実績について</p> <p>8 令和3年度応急貸付金等の償還免除について</p> <p>9 令和4年度事業計画・予算書の資料訂正について</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和4年度理事会・評議員会等スケジュールについて</p> <p>2 令和4年度事業計画・予算書（冊子）の配布について</p>

<p>第2回 11月24日(木)</p>	<p>【決議事項】 1 令和4年度補正予算(第二次)</p> <p>【報告事項】 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正 2 予算の流用について 3 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告(令和4年度事業中間報告) 4 令和4年度社会福祉協議会会員会費の中間報告について</p>
	<p>5 令和4年度歳末たすけあい・地域支えあい募金における職員街頭募金の実施について 6 令和3年度事業報告・決算書の資料訂正について 7 「成年後見センター次期運営計画」素案 8 せたがやはいかい SOS ネットワーク事業の名称等の変更について 9 生活福祉資金(特例貸付)終了報告</p> <p>【その他】 1 令和4年度理事会・評議員会等スケジュールについて 2 第20回地域福祉推進大会について 3 えみいレポート 世田谷区成年後見センター活動報告書</p>
<p>第3回 3月28日(火)</p>	<p>【決議事項】 1 令和4年度補正予算(第三次) 2 令和5年度事業計画・予算</p> <p>【報告事項】 1 社協経営改革計画総括 ①財政健全化計画総括 ②人材育成計画総括 ③中期事業計画総括 2 成年後見センター次期運営計画(案) 3 職員給与の見直し 4 第20回地域福祉推進大会報告 5 予算の流用</p> <p>【その他】 1 食の支援事業 寄付募集チラシ 2 令和5年度世田谷区社会福祉協議会年間スケジュール(予定)</p>

別表2 「1-(1)-⑤世田谷区社会福祉協議会会員会費募集」関係

実績内訳

会員数

実績	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
会員数	23,389名	14,745名	6,597名
一般会員	21,686名	13,134名	5,029名
特別会員	1,184名	1,112名	1,109名
法人会員	519名	499名	459名

会費額

実績	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績
会費額	27,908,812円	23,209,782円	17,648,750円
一般会員	13,563,232円	9,584,387円	3,809,057円
特別会員	10,587,330円	9,951,065円	10,301,393円
法人会員	3,758,250円	3,674,330円	3,538,300円

別表3「2-(1)-①地区社会福祉協議会の運営支援」関係

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した場合、成果欄に【中止】と表記する。

(1) 世田谷地域

①池尻地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 845,201円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(4月) 運営委員会(3回)
町会敬老事業賛助	町会主催の敬老事業に賛助し、地区内の高齢者福祉の増進を図った。	池尻地区内8町会(10月)
地域福祉推進員研修	推進員及び地区内の住民が交流する機会として企画した。	地域福祉推進大会 日程:11月27日 会場:成城学園澤柳記念講堂
ふれあい交流会 (三宿・池尻音楽交流会)	一緒に歌を歌い、身体を動かすことで、地区の高齢者の閉じこもり防止と交流を図る事を目的として企画した。(池尻あんしんすこやかセンターとの共催事業)	“小さく歌う音楽交流会”として6回開催 ※当番で振り返り会を実施
①小動物ふれあい交流会→廃止 ②子育てに関する交流会(子育て支援ネットワーク)	①会費減少に伴い事業の見直しを行い、②の事業を新たに立ち上げた。 ②子育てに関する情報共有・課題解決に向け、池尻児童館の協力を得て、会議体を立ち上げた。子育て支援マップの作成に向け、協議を進めた。	①小動物ふれあい交流会【廃止】 ②子育て支援ネットワーク3回実施 (ネットワーク参加団体) 池尻地区内の子ども関係団体児童館、保育園、幼稚園、おでかけひろば、子育てサロン等
広報事業	①オンライン上で必要な情報を受け取れる環境を構築するため、毎月、個別相談対応ができる体制を整備した。 ②地区社協だよりをVol.1,2と発行し、町会回覧を通じて広報した。また、町会の役員会にて、社協に関する説明を実施した。	①楽笑スマホ困りごと相談室 年9回実施 ②広報紙発行 地区社協だよりVol.1,2
住民学習会	地区住民と一緒に学習会を行い、福祉に対する意識を高める機会を提供した。	日程:2月24日 会場:池尻団地集会所 参加者:34名
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協周知のため、通年で会費募集を実施。各町会の募集形態は異なるが、可能な範囲でご協力いただいた。	通年実施 会員数:85名 会費額:477,500円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	コロナ禍の影響を鑑みて、各町会で募集形態を検討し実施した。	11・12月 募金額 694,150円

②太子堂地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 799,523円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(2回) 役員会(1回)
地区社協PR事業	町会回覧板や区掲示板、メールマガジンを活用し、地区社協活動の事業や地域での取り組み	随時実施 メールマガジン35件配信

	みについて積極的に発信し、地区社協活動の周知・啓発活動を行った。	
地域福祉推進員研修	児童館や関係機関とともに見守りネットワーク会議を開催し、子どもに関する地区の課題を共有し、理解を深めた。 内容：子供の見守りについて	日程：2月13日 参加者：30名 うち推進員13名
地区活動団体事業賛助	地区内の地域事業や団体に対し、賛助を行った。	町会敬老事業（6町会） 太子堂ふれあいまつり 太子堂マラソン大会
音楽交流会	感染症対策を講じ開催。懐かしい歌や音楽にあわせて体を動かし参加者の交流を図った。	① 5月17日 参加者15名 ② 6月24日 参加者27名 ③ 7月28日 参加者38名 ④ 10月27日 参加者28名 ⑤ 12月2日 参加者32名 ⑥ 3月2日 参加者41名
ふれあい芋煮会 （多世代交流事業）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。	11月3日【中止】
命のバトン事業	管内在住者を対象とし、日常生活上の不安軽減を図り、地域住民同士の顔なじみの関係の構築に向けて、広報周知を行った。	通年実施 310名（228世帯）登録
ICTを通じたつながりづくり	暮らしに役立つスマホの使い方を学び、情報を得る力、発信する力を育てると共に、困ったときに支え合える新しいコミュニティづくりの機会とした。 ①スマホ講座 ②フォロー講座 ③スマホを楽しむ会	①日程：9月20日 参加者：11名 ボランティア：5名 日程：10月4日 参加者：7名 ボランティア：4名 ②日程：10月18日 参加者：8名 ボランティア4名 ③日程：12月16日 参加者：8名 ボランティア：4名
地域課題解決事業	コロナ禍での生活困窮世帯増加の状況からフードドライブを実施し、地区内で活動する子ども食堂や「ぶらっとホーム世田谷」を通じ、支援を必要とする方々へお届けした。	日程：10月24日・25日実施 計1,300点
地域連携事業	関係機関と連携して事業に協力した。	①太子堂あんしんフェア 2022 ②太子堂ふれあいまつり ③太子堂青空カフェ
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協周知のため、会費募集を実施。可能な範囲で個別訪問による募集を行うとともに、特別会員・法人会員へ向けて振込用紙で協力を依頼した。	通年実施 会員数：95名 会費額：353,800円

歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	地域福祉の推進を図ることを目的とし、関係 団体の協力を得て世田谷区社会福祉協議会 が実施する募金活動を行った。	11・12月 募金額：925,768円
------------------------	---	------------------------

③若林地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,126,050円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を開催し、適切な維持・運営に努 めた。	総会(1回) 運営委員会(3回) 役員会(1回)
広報PR事業	若林地区社協リーフレット作成、PR物品の 配布を通し、地域住民に地区社協活動を周知 した。 地域行事に参加し、事業チラシの配布等で地 区社協のPRを行った。 町会回覧板や掲示板を活用し、地区社協活動 や事業のPRを行った。 メールマガジンを活用し、地区社協事業の情 報を積極的に発信した。	若林地区社協リーフレット、 PR物品の配布 日程：11月5日 若林・三茶2丁目フェスタ メールマガジン：24件配信
見守り支援協働事業	様々な地域課題に対し、地域でのゆるやかな 見守りの必要性や、地域活動の意義等を共有 し、各団体の日頃の活動に活かすことを目的 として計画したが、新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止した。	【中止】 (若林・三茶2丁目フェスタ に出展)
地域福祉推進員研修 事業	地域福祉推進員の知識向上のため、視察研修 を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため中止した。	【中止】
命のバトン事業	在宅時の緊急時に備え、命のバトンの普及に 取り組んだ。啓発のためメールマガジン、地 区ホームページでの周知や、地区イベントや 窓口等でチラシ配布を行った。	448世帯675名
地域交流事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 芋煮会は中止した。 ②多世代交流の場を途絶えさせないためにも、 芋煮会に代わり若林・三茶2丁目フェスタ を開催した。 ③自宅に閉じこもりがちな方や既存のサロ ンへの参加が難しい方でも気軽に参加でき るゆるやかな居場所を実施。	①中止 ②日程：11月5日 参加者：130名 会場：若林複合施設 ③第2・4月曜日開催 会場：若林複合施設、 若林ふれあいルーム
住民学習事業	若林・三茶2丁目フェスタにて、地域住民を 対象に、体成分測定を実施した。	日程：11月5日 参加者：50名
子育て支援事業	①子育て中の親子の集いの場として、三軒茶 屋小学校多目的室にて、毎月第2金曜日に、 うさちゃんぽっぽを実施した。	うさちゃんぽっぽ 9回開催(4月、8月休止) 参加者数：親子延58組 スタッフ：延57名

	②事業を通し、地区社協と子育て世代とのつながりづくりのために、広報紙等の配布を行った。	
地区活動団体事業賛助事業	地区内活動団体の事業へ賛助を行った。支えあい活動団体は対象団体が休止中のため実施なし。	地区活動団体 4 団体 4 事業
福祉学習推進事業	福祉に対する理解と関心を深め、福祉の心を育てることを目的とし、福祉学習を行った。 内容：ブラインドウォーク体験	若林小学校 4 年生 日程：11 月 30 日 参加者数：93 名
地区課題解決事業	コロナ禍のためフードドライブを実施し、受付等で課題把握に努めた。	日程：11 月 5 日 若林・三茶 2 丁目フェスタ 日程：3 月 18 日 古着・古布回収と同時開催
社協会費募集事業	組織基盤の強化と地区社協事業の充実・周知のため、関係団体の協力を得て会費募集を行った。今年度は募集時期を 10 月～11 月に変更し、戸別訪問とあわせて振込用紙による会費納入もできるよう対応した。	通年実施 会員数：338 名 会費額：644,400 円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	地域福祉の推進を目的として、区社協が実施する募金活動を行った。	11 月～12 月 募金額：1,200,330 円

④上町地区社会福祉協議会(令和 4 年度収入決算額 1,028,784 円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会、総務会を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 4 月 22 日 役員会 7 月 27 日、3 月 10 日 総務会 5 月 27 日、6 月 17 日
地域福祉人材育成	関係者の集まる会議体（定例民協）にて、地域福祉推進大会への参加を促し、実際に参加してもらうことで人材育成を図った。	地域福祉推進大会 11 月 27 日 会場 成城学園澤柳記念講堂
広報 PR 事業	広報紙「上町地区社協だより」発行のほか、「ココロンほっと通信」を発行し、コロナ禍における社協の取組などの周知に努めた。また児童館まつりにおいて子育て世代への広報 PR を図った。	上町地区社協だより 1 回発行 ココロンほっと通信 2 回発行
地区啓発活動団体事業賛助	各校の PTA を賛助し、地域交流活動の推進を図った。また各校のイベント内において、社協の PR に取り組んだ。	(賛助) 7 月 桜小学校 PTA 7 月 松丘小学校 PTA 8 月 弦巻小学校 PTA 9 月 桜木中学校 PTA 9 月 弦巻中学校 PTA
上町社協見守り事業	新しい生活様式での繋がりづくり、見守り機能の一環としてスマートフォンの活用の推進を図った。地区サポーターによるデジタルボランティア（通称デジボラ）の活動機会を創出し、育成を図った。	スマホ体験会 「シニアのためのスマホで調べもの体験会」 日程：2 月 24 日 参加者数：17 名

		協力:デジボラ(デジタルボランティア) デジボラ親睦会 全2回
地域交流事業	3年ぶりのふれあいカフェを開催した。ふれあい作品展は展示のみ開催し、感染拡大防止のため手づくり講習会の実施は見合わせた。	ふれあい作品展 11月29日～12月1日 (3日間) 参加団体:21団体
社協会費募集事業	コロナ禍により戸別訪問による募金活動は自粛。関係団体や住民が集まる会議体での会費募集の呼びかけの他、法人会員へ振込用紙を送付し協力を呼びかけた。	通年実施 会費額 362,797円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	戸別訪問による募金活動を実施。その他ふれあい作品展、社協サロン、町会、各種会議体等への募金の呼びかけを通して募金活動を行った。	11・12月実施 募金額 1,885,240円

⑤経堂地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,987,092円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会1回(5月) 運営委員会3回
地区活動団体事業賛助 <協賛>	敬老・青少年事業、地区活動団体事業に支援を行い、地区内の福祉増進を図った。	9月 町会敬老事業 3月 青少年地区事業
地域福祉推進員研修 学習会	①研修会 引きこもりの理解を深め、地域の繋がりについて考える機会となった。 内容:引きこもりの現状と地域でできること 講師:池上 正樹氏 ②学習会 見守りネットワーク推進会議を学習会に位置づけ、災害の備え・地域の助けあいについて検討を行った。	①日程:10月28日 参加者:21名 会場:桜丘区民センター 別館「桜丘ホール」 ②日程:3月1日 参加者:30名 会場:桜丘区民センター 別館「桜丘ホール」
見守り活動	日常的な見守り活動を行い、困った時に声をかけあえる地域づくりを行った。 相談機能を備えた地域の居場所を継続開催し、見守り体制づくりの拡充に取り組んだ。	見守り 通年 きょうD0への賛助
広報	地区社協リーフレットと広報紙「きょうどう地区社協だより(26号)」を発行し、地区社協の周知を行った。さらに、各事業開催時にリーフレット配布し周知した。	広報紙発行(2回)

子育て交流会	コロナ禍で交流できる機会が減少したことや子育て世帯の孤立が課題であったため、子育て交流会を開催した。 内容：紙芝居を通じた参加者交流 アンガーマネジメントの講座 講師：三上 道代氏	日程：10月15日 会場：桜丘区民センター 参加者：35名
地域課題解決事業	①フードドライブで実施するよろず相談の拡充に向けた検討や、地区社協に困りごとをご相談いただくためのPRチラシを作成し配布した。 ②子ども食堂について検討を進めた。	フードドライブ ★宮坂1・2 6月18日 10月22日 ★宮坂3 4月23日 11月19日 ★桜丘 4月21日 11月19日
イキイキ演奏会	気軽に楽しく参加できる事業を行うことで、閉じこもり防止・多世代交流のきっかけづくりとして演奏会を実施した。 内容：音楽演奏 演奏者：東京農業大学農友会マンドリン部	日程：12月4日 会場：鷗友学園 ホール 参加者：109名
地域環境美化清掃活動 参加〈共催〉	地区内で行われている清掃活動に参加し、他団体とのネットワーク作りを行った。	日程：6月12日、12月4日
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため関係団体の協力を得て社協会費募集を行った。	通年募集 会員数：3,429件 会費額：2,080,070円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額 2,027,673円

⑥野沢地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,092,748円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 書面開催 運営委員会：2回(7、3月)
子育て応援事業 (新規)	①親と子の音楽交流会(音楽であそぼ!) 親子で参加できるリトミックを通じ、コロナ禍で減少していた地域の親子同士の交流の場をつくり、地域資源紹介や社協活動のPRを実施。 ②子育て応援フェスタ子育て関係団体ネットワークとの共催にて、子育て中の親が気分転換となる時間を過ごしながら地域住民や地域資源とつながるきっかけとなる事業を実施した。	①日程：8月4日 参加者：4組 会場：下馬ふれあいルーム ②日程：11月25日 参加者：大人25名 子ども17名 会場：下馬ふれあいルーム 下馬区民集会所 3階会議室
音楽交流会	国立音楽院の協力で、音楽を通して、地区内の高齢者の閉じこもり予防と交流を図った。	日程：6月9日 参加者：15名 会場：アライブ世田谷下馬

		日程：10月31日 参加者：25名（親子2組） 会場：下馬区民集会所
地域見守り事業	デイホームのぞわの協力で、サロン活動を通じて高齢者の閉じこもり予防と交流を図った。	毎月開催（8月、1月除く）
地域福祉人材育成	①居場所交流会 地区内の活動者同士のネットワークの強化を図った。 ②住民学習会 地域住民の福祉に関する理解を深めると共に、新たな地域福祉人材の発掘、育成に取り組んだ。 内容：認知症アクション講座 ③福祉学習 中丸小学校にて実施した車いす体験や高齢者向け健康体操づくりを通じ、福祉に関心を持つきっかけづくりを行った。 内容：車椅子体験	①日程：9月30日 参加者：33名 会場：区民集会所 ②日程：1月17日 会場：区民集会所 参加者：22名 ③中丸小学校福祉学習 日程：6月15日 参加者：4年生60名
広報PR事業	広報PR事業 広報紙を発行し、事業・会費募集の際に配布し、地域住民に活動を理解してもらえるよう努めた。	○広報誌発行 ○地区社協リーフレット発行
地区活動団体助成	地区内の地域福祉活動団体へ助成を行い、福祉増進を図った。	民生・児童委員補助 ミニデスタッフ支援金
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協への周知のため、関係団体の協力を得ながら社協会費募集をおこなった。世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動をおこなった。	通年募集 会員：611名 会費額：786,000円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額 737,955円

⑦下馬地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,281,798円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会：4月25日 運営委員会：2回（7月・3月）
PR事業	・地区内の行事に参加し、地区社協の活動を広く周知するリーフレットを配布しPRを行った。 ・境フェスタ参加 ・適宜、区掲示板やメールマガジン、地区ホームページを活用し、地区社協や地域社協の取り組みについて広報を行った。	日程：5月7日、8日 内容：輪投げコーナー、地区社協PR 地区社協リーフレット配布

地域ボランティア活動	活動を再開実施。新しい生活様式の中で継続的な見守り活動、高齢者の居場所づくりを行った。 ①サロン下馬和楽 ②ガレージでカフェ	①毎月第4月曜日 ②ガレージでカフェ 不定期開催
地区活動団体助成	地区内の地域福祉活動団体へ助成を行い、地域福祉の増進を図った。	2月 民生児童委員協議会 地区活動団体
地域福祉人材育成	①地域福祉推進員研修兼住民学習会 地域住民の「福祉」に関する理解を深めると共に、新たな地域福祉人材の発掘、育成に取り組んだ。 内容：デジタル活用 ②住民学習会 内容：認知症アクション講座 ③居場所交流会 地区内の活動者同士のネットワークの強化を図った。	①日程：12月2日 会場：区民集会所 参加者：24名 ②日程：1月17日 会場：区民集会所 参加者：22名 ③日程：9月30日 会場：区民集会所 参加者：33名
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、社協会費募集を実施。 戸別訪問は実施せず、地区事務局での窓口受領及び特別・法人会員への振込用紙での協力依頼を行った。	通年実施 会員数：104件 会費額：946,523円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額 789,700円

⑧上馬地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,511,482円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	・総会：5月2日 書面開催 ・運営委員会：3回
地区課題解決事業	会費の使途について地域住民の理解が広がるよう、令和2年度のアンケート調査から見えてきた地区の課題を整理し、住民のニーズに対応した地区課題の解決につながる2つの行事を実施した。 ①多世代交流型スマホ講座 内容：「シニアのためのスマホ講座」 講師：せたがやすまほ研究会 協力：駒澤大学 ・NPO法人や駒澤大学の協力のもと、高齢者のデジタルデバインド解消のための事業を企画、多世代交流型のスマホ講座を実施。	①日程：10月12日 午前の部 10:00～ 午後の部 14:00～ 参加者：23名 学生ボランティア：21名 全世代対象「上馬わくわくDay」

	②多くの地域住民へ向けた社協のPRを目的に、子どもから高齢者、障害のある方も楽しめる全世代・全対象型交流事業の企画・実施。 内容：ポッチャ、的当てゲーム、防災教室、スマホ講座	②日程：12月10日 参加者：85名 学生ボランティア：4名 会場：上馬地区会館
地域福祉推進員研修	①座学研修（研修会） 地域福祉推進員改選期にあたり、社協に関する基本知識や歴史を学ぶ機会とした。 ②バス研修会 盲導犬や視覚障害の普及啓発を推進している施設を訪問。視覚障害者の当事者理解と盲導犬の育成に関して学ぶ機会を設けた。	①【中止】 ②日程：11月24日 参加者：20名 内容：日本盲導犬総合センター「富上ハーネス」（静岡県）
住民学習会	核家族化と少子高齢化が進み、老後を家族に頼れず不安という地域の方々の困りごとに対し「終活したいが何から始めたらよいかわからない」という方々に向けて、専門家から話を聞き課題を整理し行動に移すきっかけとなる講座を企画した。 内容：「おひとり様の老い支度講座」 講師：飯田真司氏（司法書士）	日程：2月10日 参加者：14名
ふれあい交流事業	多世代の地域住民が交流できる機会をつくり、事業を通して学生ボランティアや関係機関とも平時から顔の見える関係づくりのほか、若い世代への防災や防犯に関する普及啓発の場の提供を企画した。	雨天中止
広報事業	広報紙を発行して地区社協のPRや事業報告を行うとともに、住民から協力を得た社協会費の使途を報告した。	上馬地区社協リーフレット 増刷1000部 上馬地区社協だより第13号 (3月発行)
見守り活動事業	地区内の高齢者や子どもを見守る活動の実施に加え、安心した在宅生活が送れるように命のバトンの普及活動の継続実施。	・見守り活動：通年 ・命のバトン 登録者数：293名 212世帯
社協会費募集活動	組織基盤強化と地区社協への周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数：75件 会費額：719,300円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月、12月 件数：1,029件 募金額：1,424,589円

(2) 北沢地域

①梅丘地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,492,304円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会等の開催を通じて、地区社協の円滑な運営を行った。	総会 役員会(6回) 運営委員会(6回)

広報・PR事業	区社協事業のPRのために梅丘地区社協だより「みちしるべ」を作成した。新型コロナウイルスの感染症拡大防止を図りつつ活動している様子を紹介した。	第27号3月20日発行
エリア別交流事業 ・高齢者交流会	地区を5つのエリアに分けた交流会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1エリア開催、4エリア中止した。	1エリア開催(3月9日 エリア別交流会(代田エリア))
世代・地域交流支援	①見守りネットワーク事業支援として、梅丘地区見守りネットの会と協力して見守りあんしんシートを作成した。 ②新型コロナウイルスの感染拡大による生活支援及びフードロス削減の取り組みとして、フードドライブ事業を継続して行った(7回開催)	①見守りあんしんシート作成 6-9月 ②フードドライブ (梅丘①)9月14日、28日 (豪徳寺)10月10日 (代田)11月17日、18日 (梅丘②)1月23日、27日
地区活動団体との協働事業	①例年は地区内の小学校のなつまつりに助成し、PRを兼ねて出展していたが、今年度はなつまつり中止に伴い、助成・出展も中止。 ②花見堂小学校跡地に新設されたさくら花見堂では、施設利用団体が集まる「さくら花見堂まつり」が開催され、運営費を助成した。	①【中止】 ②日程：10月23日 会場：さくら花見堂
福祉学習支援	①城山小学校、山崎小学校の授業・地区イベントでの福祉体験は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止した。 ②地区社協点字講座の為、運営委員を主な対象に点字体験会を実施した。	①中止 ②日程：11月9日 参加者：15名 会場：梅丘まちづくりセンター活動フロアー
地域福祉推進員 研修会	地区社協の活動の充実を図るため研修会を開催した。 ①推進員を対象に、権利擁護事業をテーマとして講座を実施した。 内容：あんしん事業と成年後見制度 講師：後見センター及び地域事務所あんしん事業担当職員 ②推進員を含む地区住民を対象に、遺品整理士を招いた講座を実施した。 内容：今すぐ始める生前整理と収納術 講師：あんしんネット 石見良教氏	①日程：2月22日 参加者：35名 会場：梅丘まちづくりセンター活動フロアー ②日程：2月24日 参加者：70名 会場：梅丘パークホール
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体の協力を得ながら会費募集活動を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、強化期間を設けず通年の募集とした。	通年実施 会員数：1,965件 会費額：1,373,150円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を実施した。また、関係団体の協力のもと、戸別訪問による募金活動を再開した。	11・12月 件数：3,231件 募金額：1,904,973円

②代沢地区社会福祉協議会 (令和4年度収入決算額 1,242,054円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会の開催等を通じて、地区社協の円滑な運営を行った。	総会：4月19日 役員会：7回 運営委員会：7回
広報事業	地区社協事業のPRのために、広報紙を作成した。また、PR物品を町会事業・夏期ラジオ体操などで配布した。 町会回覧で周知するとともに、小中学校にもメールを通じて配布、PRを行った。	年2回発行 第33号 9月25日 800部 第34号 3月25日 800部
地区交流事業	①高齢者交流事業 コロナ禍であっても、高齢者が楽しめる事業を検討し開催した。 内容「地域でつどいましょう」(落語) ②多世代交流事業(全3回) 多世代で交流できる機会として、誰でも参加できる事業を企画し開催した。 <input type="checkbox"/> 「サロンだいざわ」 内容：バイオリン・ピアノ演奏 <input type="checkbox"/> 「わなげ交流大会」 輪投げを通じて多世代交流を進めた。 <input type="checkbox"/> 「新春たこあげ会」 凧あげにより親子や多世代の絆づくりに取り組んだ。	①日程：6月28日 会場：代沢まちづくりセンター活動フロアー 参加者48名 日程：7月5日 会場：代沢東地区会館 参加者38名 ② <input type="checkbox"/> サロンだいざわ 日程：11月18日 会場：代沢まちづくりセンター活動フロアー 参加者：52名 <input type="checkbox"/> わなげ交流大会 日程：12月4日 会場：代沢小学校体育館 参加者：68名 <input type="checkbox"/> 新春たこあげ会 日程：1月7日 会場：富士中学校校庭 参加者：154名
地域活動支援事業	地域で必要な活動支援について、見守りや福祉学習のサポートに取り組んだ。 ①見守りあんしんカード・見守りカードの配付 ②福祉学習のサポート	①通年 ②日程：2月28日 会場：代沢小学校体育館 対象：5年生 73名 地域福祉推進員：5名
助成事業	7町会で行う子ども向けの企画に対し助成を行った。代沢地区で再開した地域カフェに対し助成を行った。	地域カフェ3か所 「居場所カフェ@しもきた」 「みどりのつどい」 「下代田東カフェ」
推進員研修会	地域活動に活かせるよう、認知症について学ぶ機会として、推進員研修を実施した。	日程：2月21日 参加者：30名 会場：代沢まちづくり

	内容：認知症とともに生きる希望条例について 講師：大熊由紀子氏 中澤まゆみ氏	センター活動フロアー
社協会費募集活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特に強化月間は設けず、社協会費の募集を行った。	通年実施 会員数：1,341名 会費額：935,400円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力した。	11・12月 件数：810件 募金額：930,200円

③新代田地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 646,828円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会を適宜開催し地区社協の適切な運営に努めた。	総会：1回 運営委員会：6回 (内 拡大版を4回開催)
広報活動 ・NEW☆DAITAの 発行	コロナ禍であっても、工夫をしながら開催した令和4年度事業の実施報告及び、参加者の感想等を中心とした広報紙を発行した。	1回発行 第31号 3月15日発行 町会回覧を始め、美まもりやまカフェ等で広く配布。
地域交流事業	①文化芸術ふれあい会 地域住民が同じ空間で落語や音楽の楽しみを共有することで絆を深めた。 第1部 内容：相続・防犯落語 講師：参遊亭 英遊氏 税理士落語家 第2部 内容：音楽鑑賞 奏者：苫米地義久氏(サクソ) ②バス交流会 速出が困難な高齢者や親子をお連れし、さつまいも掘りや買い物などを楽しみ、世代を超えた参加者同士の交流を図った。 ③音楽秋彩(あきいろ)交流会 地域住民が同じ空間で音楽の楽しみを共有することで絆を深めた。 内容：音楽演奏会 演奏者：ピアノ：伊藤順一氏 ヴァイオリン：田中李々氏 ウクレレ&フラダンス：レレーズ	①日程：6月27日 参加者：59名 会場：新代田まちづくりセンター地下体育室 ②日程：10月23日 参加者：62名 大人52名 子ども10名 行先：荒幡農園&小江戸川越他 ③日程：12月2日 参加者：58名 会場：東京都民教会
子育て支援事業	羽根木プレーパーク内の「そらまめハウス」にて、手芸等を通じて育児の悩みを聞いたり、経験談を伝えたりすることを通して、地域と子育て世代の自然な交流を図った。 ※コロナ感染拡大防止を考慮、そらまめハウススタッフの要望もあり、参加者は5組	①日程：7月1日 参加者：6名 内容：七夕飾り ②日程：10月28日 参加者：8名 内容：ハロウィンのボード作り ③クリスマス飾り(スワード)

	を上限とした。	づくり 日程：12月9日 参加者：8名 ④バルーンアート 日程：3月17日 参加者：11名 会場：羽根木公園 そらまめハウス
地域福祉推進員 研修会	地域住民からの相談受付時や会話時に伝えられるよう、基礎知識としての勉強会を行った。 内容：備えあれば憂いなし ～ 高齢者の入退院に関する現状とその支援等について～ 第1部 講師：福長暖奈氏・古島悠喜氏 東京医療センター医療福祉相談室 内容：LIFE～これからのこと～ 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング） 第2部 講師：保健師 福田真奈美氏 社会福祉士 村田春香氏 新代田あんしんすこやかセンター	日程：1月31日 参加者：30名 会場：世田谷区立保健医療福祉総合プラザ
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体の協力を得ながら、会費募集を行った。	会員数：42件 会費額 556,100円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する活動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額 579,465円

④北沢地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 796,250円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会の開催等を通じて、地区社協の円滑な運営を行った	総会5月 役員会(6回) 運営委員会(6回)
多世代交流事業	多世代が一堂に会して、世代交流を深める。池之上小学校でお楽しみ会(和紙作り、ストラックアウト等)を検討したが中止。	日程：中止
高齢者交流茶話会	参加する高齢者の方々が地域とのつながりを深めることができる企画を検討、実施した。 内容：草笛演奏・歌・体操他	日程：7月28日 参加者：24名 会場：昭和信用金庫
歩こう会	令和3年度中止の内容で再度検討し実施した。参加者が一緒に歩きながら交流し、地域でのつながりを深めることができた。	日程：2月25日 参加者：21名 目的地：羽根木公園

高齢者バス交流会	遠出することが困難な高齢者を中心に、参加者同士での交流を深めた。	日程：11月29日 参加者：79名 行先：千葉県南房総
地域福祉推進員研修会	社会福祉協議会の活動や役割について参加者の資質向上を図ることを目的に開催した。研修内で、地域の助け合いについて検討した。 ※昨年度の延期分を含めて実施した。 ①内容：社会福祉協議会の活動と地域福祉推進員の役割 講師：区社協 地域社協課長 金安博明 ②内容：成年後見制度について 講師：区社協 権利擁護支援課長 若林一夫	①日程：5月20日 参加者：30名 会場：昭和信用金庫本店 会議室(下北沢ホール) ②日程：3月2日 参加者：25名 会場：昭和信用金庫本店 会議室(下北沢ホール)
広報事業	「北沢地区社協だより」を発行し、地区社協による福祉活動の周知を図った。	発行日：3月31日 発行数：1,500部
地区活動団体事業賛助	①青少年北沢地区委員会主催事業 ②ミニコミ紙きたざわ編集委員会	団体に活動状況を確認して賛助を実施した。
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を実施した。	通年実施 会員数：965名 会費額：796,250円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額：227,000円

⑤松原地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,525,699円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、推進委員会を開催し、地区社協の円滑な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会(5回) 推進委員会(1回)
広報・啓発活動	①広報紙の発行 《年2回発行》 特別・法人会員への会費振込用紙送付に合わせ、8月に社協会費募集記事、松原地区に新しくできた子ども食堂の紹介等を掲載した8月号を発行した。3月は令和4年度特集号として、令和4年度新しく取り組んだ事業等を掲載した3月号を発行した。 ②松原あんしんカード作成 ココロンマグネットと一緒に配布し、困ったときに社協へ相談いただけるよう普及啓発に努めた。 ③メールマガジン、地区HP、毎月発行の事務局だよりを通し、社協のPR、周知に努めた。	①松原地区社協だより カラー、A4両面 8月号1,500部発行 3月号1,500部発行 ②松原あんしんカード 随時配布 地区事務局だより 「松原ポスト」毎月発行
だれでもベンチ	外出途中で高齢者、障害のある方等、誰もが気軽に休息できる「だれでもベンチ」の、既存ベンチの保存に努めた。	令和4年度末 設置状況 11台

地域福祉推進員研修	<p>これからの地区社協の役割や活動視点の共有化に向けた研修を実施。第 2 回は災害弱者支援講座と同時開催</p> <p>内容：地域における社会福祉協議会の役割 災害弱者支援講座と合同開催</p>	<p>①日程：4月22日 参加者：29名</p> <p>②日程：11月24日 参加者：26名</p> <p>会場：両日共に松原まちづくりセンター活動フロアー</p>
地域交流事業	<p>①ふれあい小動物ひろば</p> <p>子どもから高齢者までの多世代交流及び地区内の障害者施設との連携と交流を目的に開催。⇒コロナウイルス感染予防のため中止</p> <p>②災害弱者支援講座</p> <p>4月に地区内へ移転してきたNPO法人わんぱくクラブ育成会「幼児グループわんぱく」より講師を招聘し、通所児童の普段の様子を写真・動画等により紹介していただき、障害児理解の促進と今後の連携を強化した。</p> <p>内容：障害児の理解と対応について～新しく松原地区の仲間になった「わんぱくクラブを知ろう～」</p> <p>③地域交流バスツアー</p> <p>単身高齢者や引きこもりがちな高齢者、障害者やその家族と、島忠ホームズ仙川店までふれんどバスで行き、買い物や交流を楽しむことを目的に開催を予定。コロナウイルス感染予防のため中止。</p> <p>④松原交流会【新規事業】</p> <p>松原にゆかりのある方々へ出演を依頼し、地域住民相互の交流や地区社協への理解を深めた。</p> <p>出演：菅原天神お囃子保存会 阿部一真氏（アコーディオン） 日本学園吹奏楽部</p> <p>⑤歩こう会</p> <p>身近なまちづくり推進協議会・健康づくり部会と地区社協が主催で歩こう会を実施し、区民の健康増進に努めた。</p> <p>4月「吉祥寺発祥の寺町から井の頭公園へ」 11月「駒場公園から代々木公園・明治神宮巡りへ」</p> <p>⑥まつばらデイキャンプ（協力）</p> <p>松原小学校にて開催のデイキャンプに昔あそびで協力。コマ、けん玉を子どもたちとおこない多世代交流を図った。</p>	<p>①中止</p> <p>②日程：11月24日（木） 会場：松原まちづくりセンター活動フロアー 参加者：34名</p> <p>③中止</p> <p>④1月28日（土） 会場：世田谷区立保健医療福祉総合プラザカフェスペース 参加者 50名</p> <p>⑤日程：4月23日（土） 参加者：48名 日程：11月19日（土） 参加者：45名</p> <p>⑥日程：10月15日（土） 参加者・従事者：530名</p> <p>⑦中止</p> <p>⑧毎月1回金曜日</p>

	<p>⑦松原小学校 昔あそび（協力） 2年生の授業にて折り紙、あやとり、お手玉、けん玉、コマの昔あそびを通し、地域の方と多世代交流をおこなっているが、コロナウイルス感染予防のため、中止</p> <p>⑧多世代交流活動 おでかけひろば@あみーごの参加者と昔あそび、音楽演奏などを通して交流を図った。</p>	
地区活動支援	<p>地区内の各種活動に助成し、多様な福祉活動を支援</p> <p>①夏季ラジオ体操 ②子ども食堂 ③おとこ塾 ④子ども福祉講座</p>	<p>①松原1丁目、2丁目のみ助成（他2町会中止） ②世田谷こども食堂・まつばらキッチン ③3回（1月、2月）実施 ④【中止】</p>
生活困窮者 緊急サポート	<p>①民生委員の協力のもと、行政サービスが利用できるまでの間、必要な食料品等を提供する。</p> <p>②長引くコロナ禍で生活に困っている方を支援するため、松原地区にてフードドライブを実施した。</p>	<p>①利用者：なし ②松原地区フードドライブ（食の支援）預かり 日程：12月7日 23名お渡し 日程：12月12日 6名お渡し 会場：両日共に松原まちづくりセンター活動フロア</p>
社協会費募集活動	<p>組織基盤強化と地区社協活動の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行う。推進員への名簿を配布しての戸別訪問はおこなわず、特別会員、法人会員へ振込用紙を送付し協力を依頼した。</p>	<p>通年実施 強化月間、戸別訪問の実施なし 会員数：155名 会費額：562,450円</p>
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	<p>区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。</p>	<p>2町会戸別訪問 2町会個別訪問実施なし 件数：710件 募金額：776,377円</p>

⑥松沢地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,800,150円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	<p>まちの福祉課題等を協議し、課題緩和・解決に向けて検討した。</p>	<p>総会 4月11日 運営委員会 7回 役員会 7回※臨時含む</p>
地域交流主催事業	<p>おしゃべり★カフェ ①第1拠点：喫茶 You・遊 地区内の高齢者・障害者問わず、だれでも気軽に集まることができる居場所だが、コロナ感染拡大の影響を鑑み、令和2年度より休</p>	<p>①〈喫茶 You・遊〉休止 ②毎月第1火曜日 9回 参加者：延べ69名 ③日程：4月11日</p>

	<p>止中。</p> <p>参加者あてに三者連携で手紙を作成し、様子を伺う。</p> <p>②第2拠点：カフェ アンキミカ</p> <p>赤堤1丁目周辺にお住まいの方々が気軽におしゃべりしたり、ちょっとしたお困りごとを相談したりする身近な場所として機能した。</p>	<p>参加人数：31名</p> <p>会場：松沢まちづくりセンター 体育室</p> <p>④日程：6月18日</p> <p>参加者：述べ167名</p>
	<p>③地域福祉推進員等懇談会</p> <p>地域福祉推進員や地域の関係者の方々と共に、地区社会福祉協議会のなりたちと地域福祉推進員の機能および松沢地区社協の事業について、理解を深めた。</p> <p>内容：地区社会福祉協議会と地域福祉推進員の機能、松沢地区社協の事業</p> <p>④地区社協ひろば</p> <p>今年度より名称を変更し、コロナウイルス感染拡大防止に留意して内容も見直し、3年ぶりに実施した。</p> <p>スタッフを含め幅広い層の方が参加され、多世代の方の交流機会とすることができた。</p> <p>また地域の各福祉団体からも協力を得ることができ、地域の方々にも各福祉団体をPRするきっかけとなった。</p> <p>内容：フードドライブ、地区社協PR、福祉関係団体出店、体力測定、あんすこPR、サロン紹介、作品展示、福祉関係団体紹介、手工芸サロン、民協PR、子育て支援講座、音楽療法</p> <p>⑤子育て支援講座</p> <p>3年ぶりに実施。地域で生活する子育て世代の方々が交流する機会となった。</p> <p>内容：わらべうたde遊ぼう</p> <p>講師：唐沢 智恵子氏</p> <p>⑥高齢者バス交流会</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら3年ぶりに実施し、地域で生活する高齢者の方々同士交流を深めることができた。</p> <p>内容：東京都内観光（隅田川水上バス～浜離宮</p>	<p>※福祉団体7団体協力</p> <p>⑤日程：6月18日</p> <p>※地区社協ひろばと同時開催</p> <p>開催数：2回</p> <p>参加者：11家族、26名</p> <p>⑥日程：9月21日</p> <p>参加者：71名</p> <p>⑦全4回</p> <p>第1回 日程：10月13日</p> <p>会場：むつみ会館</p> <p>参加者：23名</p> <p>講師：石川 智恵 氏</p> <p>内容：高齢者のための音楽療法</p> <p>第2回 日程：11月23日</p> <p>場所：赤堤小学校多目的室</p> <p>参加者：19名</p> <p>講師：石川 智恵 氏</p> <p>内容：高齢者のための音楽療法</p> <p>第3回 日程：12月9日</p> <p>場所：松沢まちづくりセンター 体育室</p> <p>参加者：36名</p> <p>講師：小林 雅一 氏</p> <p>内容：シニアのための脳トレ教室</p> <p>第4回 日程：2月3日</p> <p>場所：桜上水南地区会館</p> <p>参加者：21名</p> <p>講師：小林雅一 氏</p> <p>内容：シニアのための脳トレ教室</p> <p>⑧全2回</p> <p>第1回 日程：10月30日</p> <p>参加者：88名</p>

	<p>庭園～皇居～とげぬき地蔵通り商店街)</p> <p>⑦お楽しみ会（講演会） 全4回 これまでの地区全体で年1回の開催から、今年度はエリア別を実施し、エリアごとに参加していただくことで、多くの参加者に楽しんでもらうことができた。運営についてもエリアの運営委員や推進員が担当となり、準備から進めることができ、身近なエリアでの顔の見える関係づくりが強化できた。</p> <p>⑧映画のつどい 全2回 日大文理学部の協力を得て実施し、高齢者の方が身近な場所で映画を鑑賞できる機会を創出した。</p> <p>⑨生活応援広場（新規） 全2回 地域内の生活にお困りの世帯を応援することを目的に、各関係者や各関係団体と連携をとりながら食料の配付を実施した。昨年度から対象を拡大したことにより、より多様な相談が寄せられるようになり、必要に応じて各部署や各関係機関へつないだ。</p>	<p>場所：日大センターホール 上映作品：「オズの魔法使」 第2回 日程：2月25日 参加者：68名 会場：日大センターホール 上映作品：「幸福の黄色いハンカチ」</p> <p>⑨全2回 第1回 日程：7月23日 申込世帯数：27世帯、 配付世帯数：20世帯 第2回 日程：12月3日 申込世帯数：23世帯、 配付世帯数：22世帯</p>
<p>中高生ボランティア活動賛助事業</p>	<p>①中学生の老人ホーム訪問支援 青少年地区委員会を通じて、中高生ボランティア活動に対して賛助を行い、地区内における青少年の健全育成に寄与した。</p> <p>②中学生の普通救命救急講習会</p>	<p>①全6回開催 10月1日、11月5日 11月19日、12月3日 12月17日、3月4日</p> <p>②【中止】</p>
<p>地域福祉活動賛助事業</p>	<p>①介護者のつどい(5回) 松沢あんしんすこやかセンターが主催となり、実施した。在宅で介護している方や過去に介護をしていた方などが話し合い、交流する機会を提供することができた。</p> <p>②小エリア交流会 賛助通年 各地域の住民同士の交流の活性化を図る「交流会」を助成した。</p> <p>③松沢中学校外側道路花壇整美活動 松沢中学校角の花壇の整備と管理のため、土の補充や雑草の除去等を継続的に実施した。</p> <p>④松沢地区交流会</p> <p>⑤福祉学習 全2回実施</p>	<p>①5月25日、8月31日 11月22日、1月25日 3月29日</p> <p>②全3エリア実施 ★松沢さくら会 日程：1月10日 ★桜上水5丁目談話室さくら 日程：3月2日 ★桜上水四丁目町会さくら んぼサロン 日程：3月16日</p> <p>③全8回開催 5月17日、6月21日 7月19日、9月21日 10月22日、11月16日</p>

	地域の小中学校を対象に、福祉に対する理解や関心を高めることを目的に実施した。	2月21日、3月14日 ④日程：1月14日 会場：日大カフェテリア 参加者：約120名 ⑤赤堤小学校 車いす体験 日程：10月13日 白杖アイマスク体験 日程：10月25日 ★松沢小学校 福祉講話 日程：1月13日 車いす体験 日程：1月19日
広報活動	①ふれあいサンデー参加 ②「まつざわ」発行 年3回 地区社協の事業紹介や地区内の福祉情報などを掲載した広報紙を作成し、町会・自治会の協力のもと、回覧板・掲示板にて啓発を図った。 ③見守りあんしんカード 緊急時に必要な情報（住所・氏名・緊急連絡先・持病・薬など）を正確に伝えるツールの一つとして作成し、希望する世帯に配布した。	①中止 ②年3回発行 (1) 第39号8月発行 1,500部回覧・配布 (2) 第40号12月発行 1,500部回覧・配布 (3) 第41号3月発行 1,500部回覧・配布 ③地区社協事業時にPRし配付した
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を行った。	募集期間：通年 会員数：571件 金額：1,228,600円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募集期間 11月～12月 件数：862件 金額：1,536,590円

(3) 玉川地域

①奥沢地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,586,752円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	○総会、運営小委員会、運営委員会、各事業担当者会議を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。 ○夜間意見交換会：コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度開催とした。	総会：1回 運営小委員会：5回 運営委員会：4回
広報事業	地区内の福祉情報や地区社協事業のPRのために「おくざわココロン」第45～47号をカラー印刷で作成、配布した。	年3回発行(カラー印刷) リーフレット各2,000部 広報編集会議(9回)

	配布用として、リーフレットを刷新し、作成した。	
福祉啓発・健康増進事業	<p>①奥沢駅前音楽祭への出展</p> <p>②奥沢地区祭礼への出展</p> <p>③インボディ測定会 内容：2部制で測定する</p> <p>④新春奥沢地区まつり 出展 ・地区社協 PR・パネル展示 ・食で応援プロジェクトコーナーを設け、寄付食品の募集・啓発活動を行なった。</p> <p>⑤ココロン椅子の設置（通年）</p>	<p>①②【中止】</p> <p>③日程：11月6日 参加者数：90名 会場：奥沢区民センター ※会議1回</p> <p>④日程：1月22日 啓発チラシ100部配布</p> <p>⑤47脚設置(24ヶ所) R5.3.31現在</p>
福祉学習推進事業	<p>①福祉学習の実施(ブラインドウォーク体験・点字器体験・車椅子体験) 右記2校の4年生を対象に車いす、白杖使用者への介助や配慮することについて説明と点字学習を行った。</p> <p>②小学生福祉体験見学会</p>	<p>①奥沢小学校 日程：10月15日 東玉川小学校 日程：12月1日</p> <p>②【中止】</p>
福祉活動団体賛助事業	福祉活動団体賛助 既存の福祉団体や地域活動団体等への賛助による支援を行った。	<p>・小学校・中学校PTA(3校)</p> <p>・ふれあいすこやか会</p> <p>・青少年奥沢地区委員会</p> <p>・奥沢新春地区まつり</p>
研修事業	<p>地域福祉推進員研修会を開催した。</p> <p>①座学研修 内容「地域の防災について」 講師：染野 和夫氏</p> <p>②バス研修：コロナウイルス感染拡大防止のため、中止</p>	<p>①日程：11月2日(水) 参加者：27名 会場：奥沢まちづくりセンター活動フロア</p> <p>②中止</p>
子育て支援事業	<p>①子どもの居場所「なかよし子どもスペース」を開催した。 (5月より計11回開催)</p> <p>②小委員会を適宜開催し、事業内容の検討・振り返りを行った。</p> <p>③南奥沢保育園を訪問し、地域開放スペースを見学した。</p> <p>④「ポッチャで遊ぼう！in 東玉川ふれあいルーム」を開催し、小学生や保護者へ子育て支援事業の取り組みのPRを行った。</p>	<p>①毎月第4木曜(祝日は別日) 延182名参加</p> <p>②小委員会12回</p> <p>③日程：2月14日・3月7日 見学者：5名</p> <p>④日程：3月26日</p>
地区課題支援事業	<p>食で応援プロジェクト</p> <p>①奥沢交和会・東玉川町会・奥沢地区ごみ減量リサイクル推進委員会と共催で、地区の方より食品の寄付を募った。</p>	<p>①食品募集 日程：7月10日、11日 食品寄付件数：67件 日程：12月10日、12日 募集件数：85件</p>

	②寄付いただいた食品は奥沢地区内の必要な方へ配付をした。 ③食で応援プロジェクト（食品配布）PR強化とSDGsに向けた食品ロスの削減を目指し、まちづくりセンター駐輪場前スペースで「ご自由にどうぞ」コーナーを設け配布した。	日程：1月22日 募集件数：4件 ②食品配付：通年 配付者数：延68名 ③日程：2月15日 配付者数：15名
社協会費募集・	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数：267名 会費額：1,087,800円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募集：12月 募金額：566,000円

②九品仏地区社会福祉協議会（令和4年度収入決算額 981,536円）

事業名	内容	成果
地区社協運営	各種会議体等での議論を通じて、地区社協の適正な運営に努めた。	総会：5月18日（水） 全体会：3回
広報事業	「地区社協だより」の発行	年12回発行 各回約1,100部発行 町会回覧及び事業所へ配付 広報担当者会議を適宜実施
ふれあい事業	①お楽しみ交流会 ②高齢者日帰りバス交流会 ③ふれあい交流会 ④食で応援プロジェクト	①、②中止 ③「傾聴講座」 日程：12月3日 参加者：15名 ④日程：5月21日、8月20日 10月15日、12月17日 2月18日
学びあい事業	①地域福祉推進員研修 ②福祉学習	①コロナ禍のため実施無し。 ②★八幡小学校 日程：12月16日 内容：白杖体験、車椅子体験 ★九品仏小学校 日程：11月8日 内容：白杖体験、高齢者疑似体験 ★玉川聖学院 高等部 実施：10月26、27日 内容：白杖体験、高齢者疑似体験 玉川聖学院 中等部 実施：11月24、25、28、29日 内容：白杖体験、高齢者疑似

		体験
支えあい・助けあい事業	①赤ちゃん・子どもの救命講習 ②新春もちつき大会、盆踊り ③小動物ふれあい交流会 ④青少年地区委員会との連携・支援事業 ⑤地域との連携事業 ⑥福祉施設関係(障害者施設)への支援事業	①～③ 中止 ④八幡中 立青式、C組支援 ⑤地区の防災活動支援 ⑥中止
福祉マップ事業	安全安心【防災】マップ(表)・お出かけ支援マップ(裏)作成(改訂は隔年)・検討・配布	青少年地区委員会で活用。
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	通年実施 会員数:381件 会費額:1,011,450円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	12月 募金額:1,135,634円

③等々力地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,696,658円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会等を開催し、地区社協の円滑な運営を行った。	総会(書面開催) 広報・企画委員会(5回) 運営委員会(実施無し)
高齢者交流事業	お茶会を開催し、身近な場所で高齢者相互の交流を図った。	日程:11月18日 参加者:17名 会場:等々力不動尊 客殿
広報事業	広報紙(地区社協だより)の発行や、PRグッズ等を配布し、地区社協活動のPRに努めた。	地区社協だより年3回発行 PRグッズ配付
青少年事業	①青少年地区委員会事業に協力し、児童・青少年の健全育成を支援した。 ②子育て課題の解決のため、子育てネットワークを強化した。	①映画会、バスハイクに協力 ②ネットワーク会議の開催 日程:12月13日 参加者16名
福祉啓発事業	①地区内の小中学校で、福祉学習を実施し、福祉への理解の醸成に努めた。 ②等々力児童館こどもまつり「あそべ村」運営手伝い、 内容:折り紙配付、地区社協PR	①玉堤小学校 日時:9月29日 内容:白杖、車椅子体験 折り紙配付 ★等々力小学校 日程:6月9日 内容:物品のみ貸し出し、 折り紙配付 ②日程:10月30日
研修事業	地区社協活動の充実を図るため、研修会を実施した。	玉川地域子育て交流会への参加 日時:7月7日 参加者:37名
まちづくり支援事業	地域イベントへの参加・協力をを行い、住民と交流を図り、社協のPRに努めた。	①身近なまちづくり推進事業 等々力溪谷保存会

	①地域事業への賛助による支援 ②歩こう会 ③等々力溪谷たけのこ掘り ④等々力農振会 朝市 (6月・12月) ⑤等々力溪谷七夕かざり作り ⑥等々力溪谷みかん狩り	②日程：4月2日 内容：PR物品配付 ③日程：4月9日 内容：PR物品配付 ④日程：6月25日、12月3日 内容：PR物品配付 ⑤日程：7月2日 内容：PR物品配付 ⑥日程：11月27日 内容：PR物品配付
福祉推進事業	地区内の福祉推進を図るため講座を開催した。 ①高齢者いきいき講座 ②高齢者お楽しみ交流会 ③地区で開催されるイベントなどに参加し、福祉推進を図るため、地区社協のPR物品を配布し周知活動を行った。 ④生活困窮世帯の支援を目的とした、食で応援プロジェクトの開催。 ⑤地域のゆるやかな見守りの促進	①実施無し ②大正琴の演奏 日程：10月3日 参加者：17名 ★映画会 日程：2月10日 ※積雪予報のため中止 ③日程：10月15日 会場：尾山台フェスティバル ④日程：8月23日 参加者：22名 会場：デイホーム等々力横 ⑤見守りパンフレットの作成 部数：3,000部
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	会員数：2,642件 金額1,765,059円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数：2,661件 募金額：1,752,423円

④上野毛地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,115,781円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	①総会、役員会を開催し、適切な地区社協運営に努めた。 ②地域福祉推進員研修会の開催	①総会(書面開催) 役員会・運営委員会(4回) ②10月7日(金)
広報に関する事業	①「地区社協だより」の発行 ②上野毛おでかけマップ「わくわく」改訂版の発行 ③広報紙・チラシ等設置協力店の拡大 ④地区内イベントにて広報紙・PRグッズの配布	①年2回発行(12月・3月) ②地域活動団体51グループ掲載 ③20ヶ所 ④日程：11月25日 会場：野毛町公園オープンパーク ★新春マラソン大会 日程：1月8日

<p>福祉推進に関する事業</p>	<p>①ふれあいサービス協会員説明会の開催</p> <p>②あんしんカード（高齢者）の配布・更新・困りごとアンケートの実施</p> <p>③福祉学習支援活動</p> <p>④人材発掘・育成支援 ★男のスマホ交流会の開催（全10回） ★どなたでもスマホ交流会の開催</p> <p>⑤区民向け講座の開催</p>	<p>★玉川小フリーマーケット 日程：3月21日</p> <p>①日程：10月28日 登録者：2名 ※産前産後に特化し、用賀地区・二子玉川地区と共催 ★日程：3月14日 登録者：3名</p> <p>②155世帯194名利用中</p> <p>③中町小学校 日程：10月18日 参加者：4年生77名 内容：福祉講話、白杖・アイマスク体験</p> <p>④★5月27日、7月22日 8月26日、9月22日 10月28日、11月25日 12月23日、1月27日 2月24日、3月24日 ★12月9日、2月16日</p> <p>⑤日程：2月6日 参加者：16名</p>
<p>ネットワーク支援に関する事業</p>	<p>①ご近所見守りネットワークの運営支援</p> <p>②青少年健全育成事業への助成</p> <p>③上野毛地区支えあい事業 ★子育て関係団体ネットワーク会議の開催 ★農作業を通じた居場所づくりの開催</p> <p>④生活困窮世帯の支援を目的とした、食で応援プロジェクトの開催</p>	<p>①地域活動団体を紹介する通信「地域をつなぐネット輪一杯」発行</p> <p>②賛助金の交付</p> <p>③★子育てネットワーク会議 日程：3月1日 参加者16名 ★ジャガイモ成長見学会 日程5月16日、30日 参加者：1名 ★ジャガイモ掘り 日程：6月24日 参加者：2名 ★サツマイモ掘り 日程：10月31日 参加者：7名 ★ジャガイモ苗植え 日程3月2日 参加者：2名</p> <p>④日程：12月8日 参加者：39名</p>

社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	会員数：69件 金額：638,500円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数：519件 募金額：1,485,400円

⑤用賀地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,687,332円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、事業打合せ等を開催し、適正な地区社協運営に努めた。	総会（書面開催） 4月22日、役員会（1回） 運営委員会（3回：対面開催 2回、書面開催1回）
広報・PR啓発活動 事業	①「地区社協だより」を発行し、地区社協活動のPRに努めた。 ②啓発物品の配布	①年3回発行 5・11・3月 各1,000部 ②【中止】
地域福祉推進事業	1. 子ども関係事業 (1) 赤ちゃんこどもの講習会 (2) 服・おもちゃの交換会 (3) 子育てママのリフレッシュデイ 子育て世帯と地域のつながり、相談ができる機会を設けた。 (4) 福祉学習 小学校へグッズの貸出を行なった。 (5) 地域イベント(桜町なつまつり等)	(1) 【中止】 (2) 【中止】 (3) 日程：12月1日 参加者：30組65名 (4) 桜町小学校 日程：9月16日 内容：白杖の貸出 日程：10月18日 内容：車いすの貸出 日程：11月11日 内容：高齢者疑似体験グッズ貸出 (5) 【中止】
	2. 高齢者関係事業 ①砧公園ウォークラリーを開催し、独居高齢者等の交流を図った。 ②スマホ講座を開催し、スマホの基本操作、生活に役立ったアプリの紹介と地域活動の紹介を行った。 ③終活講座 長く地域で暮らしていけるよう必要な情報を発信するために相続・遺言について、不動産相続についての講座を行った。 第1回 内容：相続・遺言について 講師：公益財団法人成年後見センター リーガルサポート会員（司法書士） 第2回 内容：不動産相続について	①日程：11月16日 参加者数：17名 ②日程：9月2、21、28日 参加者数：10名 ③ 第1回 日程：10月12日 参加者：19名 会場：用賀まちづくりセンター活動フロアー 第2回 日程：2月27日 参加者：14名

	講師：不動産鑑定士中村京事務所 中村 京氏	会場：用賀まちづくり センター活動フロアー
	3. 障害者関係事業 スペース 2020 を月 1 回開催し、心に悩みを抱えた方が気軽に集まれる居場所づくりを行った。	第 3 木曜日開催 (令和 4 年 7、8 月は休止) 参加者：8 名 会場：さわやかはーと あーす世田谷
	4. 地域連携事業 (1) 食で応援プロジェクトの開催 生活困窮者世帯への支援 (2) 出張相談会 三者（まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社協地区事務局）で連携を図り、福祉の相談窓口の周知として、相談会を行った。 (3) 健康貯金スタンプラリー 外出、交流機会の創設	(1) 概ね第 4 日曜日に開催 日程：4 月 17 日、5 月 29 日、6 月 26 日、7 月 24 日、8 月 28 日、9 月 25 日、10 月 16 日、11 月 6 日、12 月 18 日、1 月 9 日、2 月 26 日、3 月 26 日 (2) 日程：偶数月に開催 会場：デイサービス ふきのとう ★日程：11 月 6 日 会場：上用賀 5 丁目 A パート 内容：防災まつりにてスタンプラリーを開催 ★日程：3 月 10 日 会場：パシフィック馬事公苑前 (3) 随時開催 毎参加者 40 名前後
地域見守り事業	①あんしんカードの配布 ②ネットワークづくり見守りネットワーク 見守りネットワーク勉強会や座談会は中止となった。 ③子育てネットワーク検討会 用賀地区子育てネットワーク検討会を立ち上げ、子育て関係団体と情報共有、意見交換の場を作った。	①あんしんカード 利用者：475 名 ②見守りネットワーク 【中止】 ③日程：5 月 25 日、 10 月 13 日、2 月 17 日
人材育成事業	1. 各種講座 (1) 地区サポーター懇談会 (2) 認知症サポーター養成講座 (3) ふれあいサービス協会員登録会 産前産後サービスについての協会員登録説明会を二子玉川地区、上野毛地区と合同で実施 2. 研修 地域福祉推進員研修	(1) 【中止】 (2) 【中止】 (3) 日程：10 月 28 日 参加者：4 名うち 2 名協会員登録 2. 【中止】
地区活動助成	地区内活動団体への助成	【中止】

社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	通年実施 会員数:143名 会費額:899,500円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額:348,802円

⑥二子玉川地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,479,449円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会、運営委員会等を開催し、地区社協の適正な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会(3回)
地域見守り事業 「あんしんカード」	地区内在住の一人暮らし及び高齢者世帯の方等を対象に「あんしんカード」の配付を行った。	あんしんカード 新規配付者6名 合計257名
地域見守り事業 「食で応援プロジェクト」	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い生活に困窮している方等の支援を目的に、食で応援プロジェクトを実施した。	日程:9月20日、11月15日 1月17日 会場:叫叫介護入居相談室 日程:11月22日、3月28日 会場:天理教玉瀬分教会 日程:1月21日、1月22日 会場:天理教玉瀬分教会
地域見守り事業 「みまもり応援隊プロジェクト」	見守り体制づくりを目的に周知活動と、登録事業所を対象に現状分析と活動の充実を図る目的にアンケート調査を行った。	みまもり応援隊プロジェクト (ガイドブック、シール配付) 新規登録15件(合計29件) ～周知PR～ ・お買い物マップ作成時の周知 (二子玉川商店街) ・ペット同行避難について考えよう
シニア関係事業 「シニアの居場所づくり」	スマイルひろば(公営住宅の居場所支援) ①困りごとアンケート調査 ②ポッチャ交流会 ③ラジオ体操 ④音読・朗読会 ⑤緑化活動 ⑥ぬりえ&ペットボトルけん玉づくり(多世代交流) ⑦スマイルひろば検討会 ⑧移動販売	区営玉川3丁目アパート支援 ①日程:8月16日 回答:33世帯 ②日程:5月19日 参加者:14人 日程:6月16日 参加者:10人 日程:7月21日 参加者:8人 日程:9月15日 参加者:7人 日程:10月20日 参加者:8人 日程:11月17日

		<p>参加者：8人 日程：12月15日 参加者：8人 日程：1月19日 参加者：8人 日程：2月16日 参加者：9人 ③日程：4月21日 参加者：10人 日程：5月19日 参加者：14人 日程：6月16日 参加者：10人 日程：7月21日 参加者：8人 9月以降、毎週月・木で実施 (全47回) ④日程：10月27日 参加者：12人 ボランティア協力：寺田理恵子氏 ⑤日程：6月2日 参加者：8人 日程：11月25日 参加者：8人 ⑥日程：8月18日 参加者：子ども3人 ⑦日程：6月10日 参加者：15人 日程：3月7日 参加者：13人 ⑧住民説明・検討会 日程：10月14日 参加者：13人 ★移動販売開始 日程：12月8日 参加者：14人 以降、毎週月・木曜日</p>
シニア関係事業 「シニアのコロナ 禍フレイル予防」	シニアの食支援プログラム 瀬田エリア	<p>日程：10月21日 参加者：20人 日程：11月18日 参加者：25人 日程：12月16日 参加者：18人 日程：3月17日 参加者：22人</p>

		講師：機能強化型栄養 ケアステーション eatcoco 代表 米山久美子氏 共催：こぶしの花 協力：ふきのとう 元せたがや元気体操リーダー
シニア関係事業 「おやつカフェ」	シニアを中心とする食を通じた交流の場の設置に向けて支援を行った。	★打ち合わせ 日程：4月9日 参加者：6人 ★実施日 日程：5月14日 参加者：5人 日程：6月11日 参加者：5人 7月以降、自主運営
子ども関係事業 「みんなで作る福祉学習プログラム」	コロナ禍により例年実施する学校での福祉学習の取組みを行うことができなかったため、昨年度作成したガイドブックの配布や物品の貸出しを実施し、福祉理解の醸成に努めた。	【福祉学習支援】 ・二子玉川小学校 9月：点字学習 11月：車いす体験 (4年生：3クラス 93人)
子ども関係事業 「子育て関係事業検討会」	①子育て関係団体ネットワーク会議 関係団体等と連携を図り、コロナ禍における地区状況の共有と、課題解決に向けた事業の検討を行った。 ②おでかけマップ作成配布 配布先：町会回覧、保育園、子育て関係団体、健康づくり課、子ども家庭支援課、企業、その他、中学校、瀬田小学校、二子玉川小学校全校生徒へ配付	①日程：4月20日 参加者：9人 日程：6月16日 参加者：17人 日程：9月22日 参加者：12人 日程：3月2日 参加者：19人 ②おでかけマップ作成配布 (約3,000部)
子ども関係事業 「子育て応援講座」	子育て応援講座（全9回） 講師：中澤裕美子先生 会場参加、ZOOM開催	★日程：4月22日 参加者：19人 内容：こどもの運動発達を促す楽しい遊び ★日程：5月26日 参加者：6名 内容：赤ちゃんによくある病気とおうちケア ★日程：6月23日 参加者：5名 内容：夏場のスキンケアと虫刺され日焼け対策 ★日程：7月28日 参加者：13名 内容：イヤイヤ期を楽しく

		<p>乗り越えるコツ</p> <p>★日程 9月22日 参加者：9名 内容：子どもを守る、災害への備えと災害時対策</p> <p>★日程：10月27日 参加者：7名 内容：冬場の乾燥に負けない親子で楽しむスキンケア</p> <p>★日程：11月24日 参加者：12名 内容：赤ちゃんの夜泣きとねんね</p> <p>★日程：1月26日 参加者：7名 内容：子どもの運動発達を促す楽しい遊び</p> <p>★日程：3月23日 参加者：7名 内容：赤ちゃんの感染対策とワクチン接種 入園前の健康管理も</p>
子ども関係事業 「子育てママのりフレッシュ Day」	<p>関係団体等と連携を図り、コロナ禍で孤独に出生、育児をしている親子の孤立予防等を目的に開催した。（全2回）</p> <p>当日協力：玉川台児童館、おでかけひろばまーぶる、民生委員・児童委員、主任児童委員、児童館サポーター、地区サポーター、ファミサポ援助会員、ファミサポ等</p>	<p>第1回 日程：7月14日 参加者：94名、 スタッフ：22名</p> <p>第2回 日程：12月15日 参加者：40名 スタッフ：27名 会場：両日共に玉川台児童館</p>
人材育成事業 各種講座	シニアの社会参加プロジェクト (ふれあいサービス協力会員説明会)	日程：10月18日 参加者：3人
	成年後見センターとの連携事業 ①あんしん事業、私のノート講座 ②成年後見制度相談会	①日程：1月13日 参加者：6人 ②日程：11月21日 参加者：3組
	地域福祉推進員研修 地域福祉推進員を対象に、子どもに関する地域福祉活動の理解を促した。	日程：7月7日 参加者：36人 会場：せせらぎホール 内容：玉川地域子育て交流会
広報活動	地区社協の活動を広く周知するために広報紙等の発行や地区で開催される事業等に参加した。	①広報紙 ・地区社協だより 年1回 ・地区社協ニュース 年17回

		<p>・12月25号 区のおしらせ「せたがや」</p> <p>②イベントでの広報</p> <p>日程：10月22日</p> <p>会場：大山みちフェスティバル</p> <p>日程：1月21日、22日</p> <p>会場：たまがわフードドライブ</p>
		<p>日程：3月12日</p> <p>会場：二子玉川ライズ</p>
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	<p>通年実施</p> <p>会員数：151名</p> <p>会費額：488,300円</p>
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額：120,000円

⑦深沢地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 3,005,089円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	<p>総会・運営委員会・役員会等を適宜開催し、深沢地区社会福祉協議会の適切な運営を行った。</p> <p>4部会が事業の運営を担い、企画・実施・検証を行うことにより、円滑な運営に努めた。</p>	<p>①総会1回</p> <p>②運営委員会4回</p> <p>③役員会3回</p> <p>④部会23回</p>
青少年健全育成事業	<p>青少年健全育成を目的に交流事業を開催</p> <p>①クリスマス会の実施・後援 桜町高校による寸劇・クイズ、サンタクロースからお菓子のプレゼント</p> <p>②赤ちゃん・こどもの救命講習会</p> <p>③青少年地区委員会事業協力(子どもシアター、中学生の主張大会)</p> <p>④スポーツ大会(ポッチャ)</p>	<p>①日程：12月17日 参加者：98名、 会場：東京工科大学自動車 大学校</p> <p>②中止</p> <p>③要請時</p> <p>④日程：2月26日 参加者：小学生4名、 中学生2名、 会場：深沢小学校</p>
高齢者見守り事業	<p>高齢者対象の交流事業の開催や、高齢者を訪問し“深沢地区社協”を個別に配付、また安心カードのチラシ等を周知し見守りを実施</p> <p>①カードの配布と見守り 安心カードの配布、安心カードを渡している高齢者を訪問し“深沢地区社協だより”を個別に配付することにより見守りを行った。</p> <p>②ふれあい落語会 参加者：86名、会場：深沢区民センター</p> <p>③深沢かいわい・お出かけマップ『わくわく』の配</p>	<p>①安心カード随時、地区社協だより年3回発行</p> <p>②日程：10月18日</p> <p>③合同会議2回</p>

	布※広報事業と合同	
研修事業	<p>①地域福祉推進員研修</p> <p>★バス研修会</p> <p>★座学研修</p> <p>社会福祉協議会と地域福祉推進員の役割 講師：金安 博明氏（区社協地域社協課長） 内容：深沢地区社会福祉協議会の活動について</p> <p>②地域住民向け講座 上級救命講習会</p> <p>③住民向けのスポーツレクリエーションを通じた交流事業 内容：スポ・レクネットと協議 (協力・共催事業：世田谷スポ・レクネット)</p>	<p>①</p> <p>★バス研修会 日程：6月10日 参加者：27名 見学先：藤沢市辻堂 ロボテラス見学</p> <p>★座学研修 日程：2月24日 参加者：37名 会場：深沢区民センター</p> <p>②日程：9月3日 参加者：30名 会場：深沢区民センター</p> <p>③日程：7月3日、 9月4日、11月6日 1月8日、3月12日</p>
広報事業	<p>①“深沢地区社協だより”の発行（※カラー印刷）</p> <p>②深沢かいわい・お出かけマップ『わくわく』の配布※高齢者見守り事業と合同</p>	<p>①6・10・2月発行</p> <p>②年3月発行</p>
地域活動連携・支援事業	<p>①東深沢スポーツ文化フェスティバル支援</p> <p>②深沢小学校ぎんなんまつり支援</p> <p>③児童安全見守り・あいさつ運動支援 広報</p> <p>④「こども見守りたい」との連携・支援</p> <p>⑤小・中学校で実施する福祉学習の支援 実施校：深沢小学校、東深沢小学校 内容：車いす体験 講師：パナソニックエイジフリーショップ世田谷</p> <p>⑥花壇美化活動支援 i) さくらまち花の小径 ii) 深沢まちづくりセンター花壇</p> <p>⑦世田谷スポ・レクネット事業協力</p>	<p>①日程：11月6日</p> <p>②日程：11月27日</p> <p>③通年</p> <p>④通年</p> <p>⑤深沢小 日程：7月12日 東深沢小 日程：10月6日</p> <p>⑥i) 日程：6月27日 10月31日 ii) 日程：11月1日</p> <p>⑦実施</p>
諸事業	<p>①世田谷スポ・レクネット賛助</p> <p>②必要物品購入</p>	
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	<p>会員数：1,253名</p> <p>会費額：2,393,913円</p>
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額：2,321,796円

(4) 砧地域

①祖師谷地区社会福祉協議会 (令和4年度収入決算額 1,698,481円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 5月 役員会、運営委員会 (8回)
高齢者バス交流会	外出機会の少ない高齢者に対し日帰りバス旅行を実施。	日程：11月16日 参加者：73名 行先：伊豆のミカン狩りと芦ノ湖の箱根園水族館
すこやか講座	在宅で介護をしている方々向けに講演会を開催。 テーマ：「祖師谷で元気に長生きできるコツ！」	日程：3月11日 参加者：32名 講師：あんどろファミリークリニック 院長 安藤 秀彦氏
夏休みファミリーの集い	親子、家族に対し、コロナ対策をしっかりと行いつつ、映画上映会を実施。 内容：「ドラえもん のび太の恐竜 2006」	日程：8月26日 参加者：5家族 13名
子ども用品交換会	不要になった子ども用品を持ち寄り必要な用品と交換する。	日程：11月11日、12日 参加者：73名
推進員研修会	地域福祉推進員に必要な知識・技能の研修を開催。 テーマ：認知症とともに生きるアクション講座	日程：2月3日 参加者：31名
推進員、サロン・ミニデイ交流会	祖師谷地区のサロン・ミニデイスタッフと地域福祉推進員の交流会を実施。	日程：10月29日 参加者：42名
視察研修	日頃の活動に役立つように、区内の活動を見学	日程：12月23日 視察先：北沢地区 “ココロンさくら” 参加者：5名
いす・ベンチ設置事業	地区内に設置したいす・ベンチの維持管理・修繕を実施。 砧図書館、わくわく祖師谷に設置しているベンチが破損した為、新しいベンチと交換。	日程：12月20日 内容：ベンチのペンキ塗り替え作業実施。
広報活動	広報紙にてコロナ禍での活動取り組みや会費募集等について発行や配布し、地区社協活動のPRに努めた。	広報紙発行：9月・3月 年 2,000部発行
ふるさとフェスティバル参加	ふるさとフェスティバルに参加し地区社協のPR予定だったが中止となり参加せず。	同フェスティバル中止により不参加
地域敬老事業	過去3年間の会費納入実績に基づき11団体(敬老事業)に賛助した。	9月 地区内11団体に賛助
社協会費募集活動	戸別訪問するかどうかも含め、各町会・自治会の判断及び方法で募集活動を行った。	通年実施 会員数：532名 会費額：854,270円

歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	戸別訪問するかどうかも含め、各町会・自治 会の判断及び方法で募金活動を行った。	11月・12月 募金額:670,527円
------------------------	--	-------------------------

②成城地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,144,670円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	定期総会(1回/年)や運営会議(基本:1回/ 月)等の開催を通じて、地区社協の適正な運 営に努めた。	総会(書面開催)4月25日 役員会・運営委員会(11回)
広報活動	地区内の福祉情報や地区社協事業のPRの ために広報紙「よりそい」を作成、配布した。	年2回発行 発行日:8月15日、3月1日
高齢者交流会	地区内の65歳以上の高齢者を対象とした 日帰りバス交流会を実施した。	日程:5月16日 参加者:56名 行き先:谷津バラ園、成田山新 勝寺
推進員研修会	地域福祉推進員を対象とし、地区社協のこ れからの活動や取り組みに役立つ学習会を 開催した。 内容:認知症とともに生きるアクション講 座 講師:成城あんしんすこやかセンター	日程:7月8日 参加者:24名 会場:成城まちづくりセンター 活動フロア
地域敬老 「長寿の集い」	長寿の集い(地区内の70歳以上の方を対象 とするお祝い会)は、中止となったが、長寿 のお祝い訪問(80歳以上の独居・高齢者 のみの世帯(申込者)へ、推進員が訪問しお祝 いの品を届ける)を実施した。	【お祝い訪問】 実施期間:9月8日(木) ~随時訪問 申込者:43名
社協活動参加者 交流会	成城地区内で活動しているサロン・ミニデ イスタッフ、地域福祉推進員、ふれあいサー ビス協力会員、子育て援助会員、区民後見人 等社協事業に参加されている方の交流会を 開催した。 内容:健康長寿のための食生活について 講師:料理研究家 堀江ひろ子氏	日程:2月2日 参加人数:45名 会場:区社協本部3階研修室
懐かしの 映画鑑賞会	懐かしの映画を上映した。	日程:毎月第4金曜 (8・9・12月お休み) 会場:成城まちづくり センター活動フロアー
地域支えあい事業 成城スポット「よりそ い」	外出が難しくなった高齢者等を対象に、外 出の機会増を目的として茶話会を行った。	★日程:6月14日 参加者19名 内容:国勢調査バグリメイク ★日程:12月13日 参加者:19名 内容:折り紙を使った Xmasリース・箸入れ作り

		★日程：3月8日 参加者：18名 内容：カードゲーム ※9月13日は、中止
バザー事業	令和4年度はさくらフェスティバルが中止となったが、令和5年度実施に向けて、バザー出店の準備をした。	【中止】入籍
健康推進事業	健康推進と地域交流を目的とした事業を行った。 講師：株式会社りっびい 鹿島雄志氏	日程：12月8日 参加者：20名 内容：取り戻そう！コロナ禍のこころと身体の健康
訪問ボランティア事業	外出が難しくなった高齢者を対象に、登録した囲碁将棋ボランティアが訪問する予定だったが、施設等の受入状況が困難なため、令和4年度は中止となった。	【中止】
子育て支援事業	子育て中の保護者や関係者に向けたリフレッシュ事業や交流を目的とした事業もしくは、地域住民向けの子育て理解を深めるための事業を開催する予定だったが、令和4年度は中止となった。	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を実施した。	通年実施 会員数：2,469名 会費額：1,144,670円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額：1,202,681円 協力世帯：2,426世帯

③船橋地区社会福祉協議会 (令和4年度収入決算額 1,501,145円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 4月26日 役員会 1回・運営委員会 6回
地域敬老事業助成	船橋地区町会・自治会連合会に加盟する団体が実施する敬老事業へ賛助した。	9月 6団体に賛助
地域福祉推進員研修会	地域福祉推進員の知識の醸成に努め、地域へ情報還元する一助とした。 内容：地域福祉における地域福祉推進員の役割	日程：6月23日 参加者：34名 講師：砧地域社協事務所所長
船橋ふれあいまつり参加	ふれあいまつりに参加し、地区社協活動のPRおよび啓発を実施。	【中止】
高齢者交流会	地区内の高齢者を対象としたバスツアーによる交流会を開催。 顔見知りの関係づくりの重要性を伝え、見守り活動やサロン・ミニデイへの参加を促進した。	日程：11月29日 参加者：58名(スタッフ14名) 行先：箱根・大涌谷、真鶴

地区支えあい世代交流	<p>①夏の交流会 参加人数を制限したうえで参加者同士の交流は最小限とした。</p> <p>②地区支えあい世代交流 With 子どもぶんか村 子どもぶんか村との共催事業。フラワーアレンジメントを通じて、多世代が交流し、相互理解を深めた。自宅からのリモート参加も実施した。</p> <p>③昔あそび 地区内の小学校にて開催された行事に参加し、昔遊びで小学生親子との交流を図った。</p>	<p>①日程：8月16日 会場：船橋地区会館 参加者：37名 内容：雑巾作り 寄贈先5施設</p> <p>②日程：11月20日 会場：船橋まちづくりセンター活動フロア 参加者：36名</p> <p>③日程：12月4日 会場：千歳台小学校 「めばえまつり」</p> <p>日程：3月5日 会場：希望丘小学校 「あそびばフェス」</p>
船橋地区交流会	深沢組と永鼓の共同による和太鼓の演奏・体験会を実施。演奏を通して、近隣の幼児から高齢者までの多世代が交流した。	<p>日程：1月29日 参加者：105名 会場：希望丘小学校体育館</p>
広報啓発	<p>①地区社協だよりの発行 会費の使途と地区社協の活動意義についての理解促進と協力者増加に努めた。</p> <p>②地区社協だよりの配布により広報啓発活動及び地区活動費の取得を図った。</p>	<p>①年2回発行（6月、3月） ②日程：10月16日 会場：ノミの市</p>
船橋住みよいまちへの探建	事業の目的確認や今後の展開を協議した。 内容：椅子の設置や状態確認、表示プレートの取付け、駅前椅子の椅子交換、今後の設置の必要性を合わせて検討した。	随時実施
地域福祉団体助成	青少年地区委員主催で活動している子ども支援「おやつステーション」へ賛助。	8月
健康推進事業	認知症講座の開催に向けて、推進員へハガキで調査アンケートを実施。	3月
社協会費募集活動	戸別訪問での募集活動は実施せず、各町会・自治会の判断・方法で募集活動を行った。	<p>通年実施 会員数：1,556名 会費額：1,341,725円</p>
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	戸別訪問での募金活動は実施せず、各町会・自治会の状況に応じた協力を得て、募金活動に取り組んだ。	<p>11月・12月 募金額：1,166,090円</p>

④喜多見地区社会福祉協議会 (令和4年度収入決算額 1,471,404円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 5月10日 運営委員会 (7回)

高齢者懇親会(お楽しみ会)	地区内の高齢者が、演芸等を共に楽しむことにより、閉じこもりの予防と交流を深めた。	日程：10月4日 参加者：32名 内容：大正琴演奏、ハワイアンバンド演奏
高齢者交流会	外出機会の少ない地区内の高齢者に、相互の交流や閉じこもり予防のため実施した。	日程：11月30日 参加者：49名 行先：千葉県富津市ほか
地区活動団体と協働して行う事業	地区内の活動団体が行っている事業に賛助 ①地域敬老事業 対象者：70歳以上※一部75歳以上 ②砧高協第4ブロック文化祭	① 敬老のお祝い 9町会・自治会：約2,751名 ②【中止】
喜多見地区区民まつり参加	地区のお祭りに参加し、地区社協の活動を住民への理解促進を目的に、PR活動を実施した。	【中止】
サロン・ミニデイ、高齢者クラブ交流会	繋がる機会の少ないサロン・ミニデイ、高齢者クラブ同士の交流を深めるため実施。 内容：「地域の絆から始まる防犯対策」	日程：3月13日 参加者：14団体16名 内容：喜多見地区見守りネットワーク会議
広報・啓発活動	①地域福祉推進員活動の向上を目的に研修会の実施 ②事業の実施報告や広報活動を通じ、地域福祉活動の推進に関わる啓発活動として実施した。	①【中止】 ②広報紙 年3回発行 (7、9、3月)
ふれあい交流会	地区内の3会場において映画会と茶話会を実施し、地区社協のPR活動と住民同士の交流を図るために計画をした。	【中止】
地区内福祉施設交流事業	地区内の福祉施設の事業等に協力し、施設と地区社協の相互連携を深める。	【中止】
見守り講座	見守りしやすいまちづくりと地区内の見守り力の向上を目指し、幅広い視点から学習機会を設定し、地域福祉推進を図った。	日程：11月10日 参加者：10名 内容：認知症アクション講座
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数：3,415名 会費額：1,581,535円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	11月・12月 募金額：1,361,606円

⑤きぬた地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,283,937円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 5月11日 運営委員会(4回)
元気なうちに考えておきたい「老い支度」	住み慣れた地区でいきいきと生活を継続することを目的とした講座を実施した。 内容：ポッチャで体を動かそう	日程：11月25日 参加者20名 会場：砧まちづくりセンター 活動フロア

子育て支援事業	赤ちゃんとその両親を対象に下記の事業を実施した。 ①親子体操でエクササイズ ②ベビーマッサージ ③子ども服・用品のリサイクル交換会	①【中止】 ②ベビーマッサージ 日程：12月1日 会場：山野区民集会所 参加者：24名 ③子ども服リサイクルマーケット 日程：2月24日・25日 参加者：105名 会場：砧まちづくりセンター 活動フロアー
地域敬老事業助成	各町会で実施する敬老事業の一部を助成した。	9月 7町会
地域福祉推進員交流会	地域福祉推進員を対象に、日頃の福祉活動に役立つ情報提供と地域福祉推進員同士の交流を目的に実施した。 講演会 講師：石井由美子氏 一般社団法人重い病気を持つ子どもと家族を支える財団	日程：2月7日 参加者：22名 会場：山野区民集会所 内容：医療的ケアを必要とする子どもについて
ひとり暮らし高齢者交流会	地区内の普段外出の機会の少ない一人暮らしの高齢者を対象に、参加者同士の交流を深めることを目的に実施した。	11月14日 行先：千葉県小江戸・佐原 参加者：31名
高齢者地域交流会 「70歳からの交流会」	70歳以上の高齢者を対象に、3ヵ所にわけた交流会を開催し、参加者同士の交流を深めた。	★砧 日程：3月5日 参加者：51名 会場：山野区民集会所 内容：おしゃべり、歌、フラダンス ★岡本 日程：3月11日 参加者：38名 会場：岡本地区区会館 内容：おしゃべり、歌 ★大蔵 日程：3月26日 参加者：62名 会場：妙法寺 内容：おしゃべり、歌
「地区社協だより」発行	広報紙「きぬた地区社協だより」を発行し、広報・啓発活動を行った。	3月発行
地区内事業参加協力	地区内イベントに参加し福祉を啓発する。	【中止】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、地域福祉推進員の協力を得ながら、社協会費募集活動を行った。	通年実施 会員数：333名 会費額：719,800円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数：662件 募金額：665,800円

(5) 烏山地域

①上北沢地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,016,913円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会:5回
地区懇談会	地区内で活動する団体の活動報告の他、テーマごとに分かれての意見交換を実施した。	日程:2月22日 参加者:33名 会場:上北沢区民センター
お楽しみ会	高齢者を対象に民生・児童委員を通して、サロン・ミニデー覧や、防犯・防災の啓発チラシ、上北沢近辺のウォーキングマップにお手紙とウエットティッシュを添えて、配付した。	配布期間:10月末~11月末 ※新型コロナウイルスの影響により対面での交流会は中止
ふれあいのつどい	上北沢・八幡山にお住まいの方々の交流を目的にお楽しみ会を開催する。	【中止】
地域福祉推進員研修会	認知症希望条例についての理解や認知症とともに暮らせる地域づくりについて検討した。 内容:認知症と共に生きるアクション講座 ※上北沢あんしんすこやかセンター共催	日程:9月28日 参加人数:12名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロアー
上北沢縁側プロジェクト「えんがわカフェ」	障害の有無に関わらない居場所づくりを目的として、会議を通じた事業展開を行った。 ①企画会議 コロナ禍での活動を検討するため、企画会議を開催した。 ②実行委員会(2回) ・「プチえんがわカフェ」従事者と内容の検討 ・当日の振り返りと次年度の検討 ③プチえんがわカフェの開催 精神障害のある方を対象に開催した。 ④喫茶室パインの矢印設置 住民への認知度向上を目的に矢印を設置した。 ⑤えんがわ通信の発行 通信を発行し、ホームページ等で広く事業を周知したとともに、コロナ禍以前に開催した際の参加者(令和元年度。以降中止)えんがわカフェ参加者へ送付した。	①日程:8月8日 参加者:10名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロアー ②日程:10月17日 参加者:8名 会場:喫茶室パイン 日程:1月27日 参加者:8名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロアー ③日程:11月11日 参加者:茶話会:18名 ポッチャ:19名 会場:松沢病院 中央体育館 喫茶室パイン ④日程:3月16日 参加者:8名 松沢病院デイケア 検討会:3名 まちセン、あんすこ、児童館 ⑤えんがわ通信の発行 発行日:2月
お茶べり会	出張型の交流会兼相談会を実施する。	【中止】

ココロンといっしょ	子ども関係施設と連携しながら、未就学児とその親向けの事業を開催する。	【中止】
未就学児との交流事業	いずみの園保育園児と地域住民との交流に資する事業を行う。	【中止】
広報・啓発活動	区民に地区社協の周知を図るため、初のカラー印刷で「地区社協だより」を発行した。	《地区社協だより》 発行日：令和5年3月
見守り推進事業	支援カードの配布を行った。	令和4年度：15世帯 上北沢地区合計：45世帯
社協会費募集活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、戸別訪問は原則中止とし、特別・法人会員のみ協力依頼を行った。	通年実施 会員数：55件 会費額：323,450円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、戸別訪問は原則中止とし、サロンやミニデイ等に協力依頼を行った。	11月・12月 募金額：26,450円

②上祖師谷地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,225,221円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会（書面開催）5月13日 運営委員会4回
地域福祉推進員研修会交流会	地域福祉に関する研修会 認知症希望条例についての理解や認知症とともに暮らせる地域づくりについて検討した。 内容：認知症とともに生きるアクション講座	日程：9月26日 参加者：18名 会場：上祖師谷1丁目 区民集会所
「ココロンの会」事業	地域住民の交流と外出機会確保を目的として、以下の事業を実施した。 ①会議 ②ココロンのつどい 高齢者の外出の機会と参加者同士の絆作りを目的とした、音楽イベントを実施。至誠会看護専門学校と共催で行うことで、看護学生と地域住民の交流の機会となった。 ③秋晴れコンサート 都立芦花高等学校による演奏会を企画・実施する。	①日程：8月1日、9月22日 会場：上祖師谷まちづくりセンター活動フロア ②日程：10月13日 参加者：31名 会場：至誠会看護専門学校 ③中止
「おひさまひろば」への協力	祖師谷保育園で開催する乳幼児親子が気軽に立ち寄り、一緒に遊び情報交換をする「おひさまひろば」にて、地域福祉推進員が中心となり遊び相手や見守りを行なった。地域の乳幼児親子と多世代の交流の場として、読みきかせ等を行なった。	第3月曜日「ほのぼのタイム」 回数：3回 参加：延3名 ※感染症対策として、推進員は1名のみ参加で、1月より実施。

		日程：1月16日、2月13日、 3月13日
「はびねすの会」	祖師谷保育園の園児と地域の高齢者の方々との交流の場を実施する。	【中止】
エリア別懇親会・交流促進事業	社協会員に社協事業への理解を深めていただくため、地域福祉推進員の協力のもとエリア別懇親会・交流会を開催する。 町会・自治会が行なう地域福祉に関するイベントへ助成した。	成城通りパークウエスト自治会「介護体操」 日程：第2・4金曜日 参加者：116名 会場：パークウエスト集会室 その他、各自治会に助成した
上祖師谷地区社協懇談会	地区内の福祉団体との懇談会を開催する。	【中止】
地区での見守り事業	関係団体等と協力し、いのちのバトンの広報を行うとともに、地区のゆるやかな見守り意識を進めた。	いのちのバトン 3月現在 利用世帯：487世帯 利用者数：550名
広報・啓発事業	地区社協の広報周知のため、地区社協だよりを発行した。 ※コロナ禍で飲食禁止・規模を縮小したイベントが多かったため、地区の各種イベントへは出店を中止した。	地区社協だより 2月発行
ボランティア育成事業	地区での活動を通じてボランティア意識と地区への関心・愛着を深めることを目的に、地区内の小・中学生を中心に、広くボランティアの募集を行った。 年間を通じてイベント参加の機会を創出した。	新規ボランティア人数：10名 至誠会看護専門学校の学生の活躍の場を提供した。 参加者：30名
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、社協会費募集活動を行った。戸別訪問は原則実施せず、町会一括・特別・法人会員・サロンを中心に募集活動を行った。	通年実施 43件 687,000円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。戸別訪問は原則実施せず、各町会・自治会の判断で集金活動を行った。	実績 28件 806,108円

③烏山地区社会福祉協議会(令和4年度収入決算額 1,148,063円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(書面開催) 運営委員会5回
ココロンの演奏会 【ココロンの会】	地区内の高齢者を対象とした演奏会を企画、実施した。 内容：消防庁音楽隊による演奏会	日程：10月6日 参加者：146名 会場：烏山区民会館ホール

ココロンの研修会 【ココロンの会】	ココロンの会が行う事業や運営を円滑に行うため、講座を開催した。 内容：里親制度と里親家庭支援について 講師：社会福祉法人 東京育成園 フォスターサポートセンターともがき 岩田 祐一郎氏	日程：12月7日 参加者：30名 会場：昭和信用金庫烏山支店 3階しあわせプラザ
買い物支援マップ【ココロンの会】	①買い物をはじめ外出しやすい地域づくりに向け、食料品・日用品等の宅配を行う商店の情報を掲載した「買物支援マップ」を配布。 ②改訂版の発行 ③対象者へ活用してもらえよう広くPRを行った。	①協力店舗への配布 会費募集時に会員へ配布 関係機関（出張所、保健福祉課、あんすこ、地域障害者相談支援センター、子育てコーディネーター等）への周知 ②9月発行 2,000部 ③11月 区報への掲載 1月 エフエム世田谷取材
ベンチ設置に向けた事業【ココロンの会】	高齢者や障害のある方が買物や通院等の移動中に、一息つける場所へのベンチ設置を検討し、設置を行った。 ①ココロンの会班長会（年5回） ②南烏山6丁目マンション前 1台 南烏山6丁目個人宅敷地内 1台	①日程：6月21日、7月20日 9月16日、10月28日 1月31日 会場：烏山まちづくり センター活動フロアー ②2月 2台設置 （うち1台試行設置）
地区社協講座	住民に役立つ福祉等の講座を実施し、地区内の福祉力向上を図った。 内容：認知症とともに生きる希望条例懇話会 講師：国際医療福祉大学大学院 教授 大熊 由紀子氏 ジャーナリスト 中澤 まゆみ氏	日程：7月26日 参加者：31名 場所：昭和信用金庫烏山支店 3階 しあわせプラザ
社協のつどい	地区内の各種関係機関のつながりの構築と地域への理解促進を目指して懇談会を開催する。	【中止】
日赤・社協研修会	先駆的な実践を見学するとともに日赤奉仕団と地域福祉推進員の連携、地区社協の強化を図った。	日程：12月1日 参加人数：28名 行先：フードバンク神奈川
PR活動	地区のイベントに参加し地区社協PR及び社協会費増強に努めた。	★烏山区民センター文化祭 日程：10月15日 参加人数：450名 会場：烏山区民センター前 広場 ★からすやま新年子ども まつり 日程：2月11日 参加人数：912名

		会場：烏山区民センター
広報啓発	会費募集に合わせ「烏山地区社協だより」を発行し、地区社協 PR を行った。	発行日：3月 1500 部発行
安心カード事業	「安心カード」の普及啓発に努めた。烏山地域で様式の共通化を進め、地域で統一し PR を行った。	利用総数：1345 世帯
安心して外出できるまちづくり事業	認知症の方が安心して外出できるまちづくりを目指し、認知症等について普及啓発を行った。 ①地区社協だより 内容：安心カード、せたがや一人歩き SOS ネットワーク、高齢者見守りステッカー等の事業内容を掲載 設置場所：烏山地域社協事務所、烏山まちづくりセンター、烏山あんしんすこやかセンター、社協協力店 ②認知症への理解を深める啓発講座(再掲) 内容：認知症とともに生きる希望条例懇話会 講師：国際医療福祉大学大学院 教授 大熊 由紀子氏 ジャーナリスト 中澤 まゆみ氏	②日程：7月 26 日 参加者：31 名 会場：昭和信用金庫烏山支店 3 階しあわせプラザ
社協会費募集	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、社協会費募集活動を行った。積極的な戸別訪問は実施せず、地域福祉推進員、特別・法人会員・サロンを中心に募集活動を行った。	通年実施 会員数：125 件 会費額：635,400 円
歳末たすけあい・地域支えあい募金	新型コロナウイルス感染予防の為、戸別募集は行わず、歳末たすけあい運動に協力し募金活動を行った。	募金額：309,300 円

別表4 「2-(1)-② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】」
関係

(1) 福祉相談の受付（相談件数と相談内容内訳）

身近な福祉の相談窓口等にて、まちづくりセンター・あんしんすこやかセンターとの三者連携により、住民からの相談を受け止め、解決に向けて対応した。

地域	地区	人口	相談内容内訳（重複有り）				相談件数合計
			高齢	障害	子ども	その他	
世田谷	池尻	24,115	29	10	2	35	48
	太子堂	23,629	84	7	9	38	133
	若林	27,195	42	11	5	25	73
	上町	53,868	77	14	36	24	135
	経堂	51,504	44	7	11	49	105
	野沢・下馬	42,789	49	1	10	21	74
	上馬	28,919	83	12	18	32	141
北沢	梅丘	28,400	41	5	3	26	68
	代沢	17,416	85	3	7	60	142
	新代田	25,618	39	2	1	34	74
	北沢	18,399	41	46	4	58	143
	松原	29,581	82	12	8	108	182
	松沢	33,899	43	8	8	62	105
玉川	奥沢	21,941	97	19	5	62	179
	九品仏	16,983	30	5	9	14	56
	等々力	39,691	39	3	9	28	72
	上野毛	33,625	79	5	12	29	121
	用賀	36,773	30	4	6	22	59
	二子玉川	27,635	43	2	10	19	72
	深沢	49,099	79	2	9	55	143
砧	祖師谷	26,590	107	4	20	13	141
	成城	23,296	122	5	24	32	177
	船橋	38,595	62	8	8	37	114
	喜多見	33,157	64	12	4	17	93
	砧	42,606	52	9	17	19	96
烏山	上北沢	24,459	66	7	16	22	108
	上祖師谷	32,433	146	14	17	38	211
	烏山	62,742	87	19	20	58	179
合計		914,957	1,842	256	308	1,037	3,244

※人口：令和5年3月1日現在。区ホームページより抜粋転載

(2) 地区内地域資源への訪問調査と把握件数

地域の活動団体が抱える活動人材の不足等といった課題の把握に努めるとともに、地域活動の拡充に向けて、機関や団体等とのネットワークづくりに取り組んだ。また、法人や団体等が保有する建物等の資源を地域福祉活動の新たな「場」として活用すべく協力要請を行った。

地域	地区	訪問調査件数				資源把握 件数	活用できる 場の件数	場の活用 実績件数
		サロン ミニデイ等	学校・施設 保育園等	事業者 NPO等	調査 総数			
世田谷	池尻	71	67	35	173	183	15	4
	太子堂	61	9	14	84	228	20	8
	若林	55	33	49	137	145	10	6
	上町	55	65	52	172	180	22	9
	経堂	141	71	101	313	188	20	11
	野沢・下馬	62	31	40	133	144	15	11
	上馬	116	67	94	277	106	23	12
北沢	梅丘	72	42	30	144	104	23	25
	代沢	102	42	19	163	109	8	7
	新代田	33	34	17	84	71	12	6
	北沢	61	9	22	92	69	11	5
	松原	219	19	29	267	124	15	16
	松沢	36	42	26	104	106	16	11
玉川	奥沢	194	60	28	282	220	19	9
	九品仏	101	57	60	218	148	15	6
	等々力	53	36	32	121	155	16	4
	上野毛	131	117	81	329	149	15	13
	用賀	71	74	62	207	120	17	15
	二子玉川	130	72	69	271	130	11	13
	深沢	174	124	37	335	207	32	14
砧	祖師谷	33	38	24	95	164	12	2
	成城	24	38	57	119	154	18	25
	船橋	56	10	8	74	138	19	10
	喜多見	86	31	39	156	130	15	5
	砧	95	40	33	168	144	15	12
烏山	上北沢	116	69	20	205	126	20	6
	上祖師谷	103	103	61	267	138	15	20
	烏山	45	11	43	99	180	7	3
合計		2,496	1,411	1,182	5,089	4,060	456	288
()は前年度実績		(2,409)	(1,283)	(1,172)	(4,864)	(4,006)	(412)	(252)

(3) 広報・啓発の取り組み

地域の活動団体の紹介や行事・イベント等について、メールでの配信やホームページへの掲載を通して、情報提供を行った。あわせて団体からのボランティア募集の情報を掲載し、地域活動への参加を促進した。

また、地区の福祉活動やイベント、事務局の取り組み等を盛り込んだ地区事務局ニュース等を作成・配布し、情報の提供と共に、取り組みの“見える化”を進めた。

地域	地区	地区メールマガジン		地区ホームページ
		配信件数	登録者数	団体紹介
世田谷	池尻	64	189	41
	太子堂	74	192	29
	若林	64	180	31
	上町	63	200	43
	経堂	81	226	44
	野沢・下馬	72	377	54
	上馬	71	192	41
北沢	梅丘	71	166	33
	代沢	75	154	23
	新代田	69	139	20
	北沢	63	149	34
	松原	73	145	41
	松沢	89	143	34
玉川	奥沢	105	284	48
	九品仏	79	275	33
	等々力	92	287	38
	上野毛	102	266	34
	用賀	80	302	33
	三子玉川	84	177	44
	深沢	72	296	74
砧	祖師谷	62	245	43
	成城	65	244	23
	船橋	69	244	39
	喜多見	61	194	50
	砧	67	275	57
烏山	上北沢	75	185	56
	上祖師谷	67	176	33
	烏山	87	201	68

(4) 地区の課題解決に向けたネットワークの取り組み (第2層協議体)

住民や地域の活動団体等の参画を得て、地区アセスメントやアウトリーチにより把握した地区の課題を中心にテーマを設定し、その解決に向けた検討を行うとともに、必要とされる生活支援サービス等の創出に取り組んだ。

池 尻	<p>地区社協の事業の見直しに伴い、池尻児童館協力のもと、子育て支援ネットワークを立ち上げた。地区内における子ども関係団体の連携強化、地区課題の解決に向けてネットワークとして取り組みを進めている。地区内の子育て関係の資源可視化のため、子育て支援マップを作成、またネットワークとしておでかけひろば三宿の出張ひろばの支援ができないか検討を進めた。</p> <p>団地集会所における買い物弱者支援のため、買い物サポートを長年続けている団体と連携して、移動販売誘致と食を通じてコミュニティ活性化につなげられるよう打ち合わせを重ねた。様々な団体と連携しながら進められるよう調整、検討を進めていく。</p>
太子堂	<p>地区内の子育て支援関係者の地域課題の共有と解決へ向けた連携の場として子育て支援者ネットワーク会議を開催。今年度は「太子堂地区支援マップ」作成に取り組み、活用方法について検討した。</p> <p>「ICTの活用を通じた孤立のない地域づくり」を目指してスマホ講座のほかデジタルボランティアの協力を得て「フォロー講座」「スマホを楽しむ会」を開催、スマホを通じた居場所づくりに向けて取り組んだ。3者で太子堂スマホHELPチームを構成、青空カフェへの協力や、定期的な情報共有を通じ、太子堂地区として孤立のない地域づくりを目指している。</p>
若 林	<p>「若林複合施設にいらっしゃいませんか」は、誰でも参加できる地域のゆるやかな居場所として、ラジオ体操や二者による相談コーナーを実施。あんしんすこやかセンターや民生委員が近隣の気になる高齢者に参加を促し、ゆるやかな見守りと交流の場となっている。地区内が環七で分断されていることで、距離的・体力的に参加困難な方がいるという課題があったが、今年度より2つの会場で開催することで、より参加しやすい体制を作ることが出来た。</p> <p>障害者の理解や啓発を行うとともに、地域の担い手の育成も視野に入れた「地域の受け皿づくり」を行うため、ポッチャ交流会を今年度2回開催した。</p>
上 町	<p>コロナ禍における子ども食堂や子育てサロンの取組の共有、活動団体間の横のつながりの構築、また今後の事業連携について協議する場として、「子育てサポートコア会議」を開催した。</p> <p>「上町ふれあいカフェアドシュガー」について、令和4年度は開催を見合わせたが、令和5年度の開催に向けて協議した。今後はコロナの状況をみながら開催できる時期を検討していく。</p> <p>「スマホ体験会」や「デジボラ親睦会」を実施し、デジボラの育成や高齢者のデジタルデバイドの解消の一翼を担った。</p>
経 堂	<p>有料老人ホームでの情報発信・よろず相談機能を備えた居場所「きょうDO」の活動が、定期開催を再開した。また新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯への支援活動であるとともに、地域で気になる“ちょっとした”困りごと相談の機能も持った、フードドライブ・フードパントリーを、町会や子ども食堂と連携し実施した。さらに子育て支援者ネットワークを立ち上げ、情報交換を中心に子育てマップを作成した。加えて、活動団体を知る・相談ができる・地域とつながることを目的とした「こども天国」を経堂コルティにて開催した。</p>
下 馬	<p>地域福祉推進員と関係団体・機関との協力により、サロンのざわ、ガレージでカフェ、サロン下馬和楽、音楽交流会の再開、定期実施を通じ住民の閉じこもり防止、つながりづく</p>

	<p>り、ゆるやかな見守り活動に努めた。またコロナ禍で孤立しがちな親子を地域や地域資源と繋げる事を目的に子育て関係団体ネットワーク協力の下、子育て応援フェスタを開催。子育て世帯と地域とを繋げる機会を設けた。</p>
上馬	<p>支えあいの地域づくりのための「上馬困りごと検討会」において、地域住民の「困りごと＝地域課題」に対して困りごとワーキングを開催し、地区サポーターを中心に各町会の協力を得ながら「上馬まちなかクリーン作戦」を引き続き計画・実施した。認知症高齢者の社会参加のために「お気軽お掃除ウォーキング」を立ち上げた。また、高齢者と子育て世代のコロナ禍における新たなつながりづくりとして取り組んでいる「上馬こころでつながるプロジェクト（ここ☆つな）」の緊急企画として、ワクチン接種会場の活用を通して「医療従事者向け」のメッセージ交換を実施。さらに、地域課題の把握から男性高齢者の家事デビューを応援する「男の家事入門講座」にも取り組んだ。これらの活動に取り組むなかで、福祉人材の育成として地区サポーターを中心とした「なんじゃもんじゃの会」の組織化を支援した。</p>
梅丘	<p>地区社協での検討を中心に進めている地区フードドライブについて、9・10・11・1月に開催し、累計74件 約200kgの協力をいただき、延べ26件のお渡しができた。1月の募集ではこれまでで最多となる41件 約110.9kgの協力をいただき、配付には9名が来場した。物価高騰などで協力の減少が心配されていたが、取り組みが地区で着実に浸透している様子が窺える。また、集まった食材を活用して、個別支援ケースの相談訪問で渡すこともできるようになった。サービス利用や訪問相談に抵抗を感じる方なども、困窮状況などから食材をお持ちすると態度が軟化することがあり、食の提供を通じてほかの必要なサービス等につなげる支援が展開できている。</p>
代沢	<p>高齢者を中心とする居場所づくりを目的に、身近な相談・交流の場である4ヶ所の地域カフェ（「みどりのつどい」「代沢ガーデンカフェ」「居場所カフェ@しもきた」「下代田東カフェ」）が、コロナ禍で休止状態となっていたが、3ヶ所が再開し、地域とのつながりがない高齢者をつなげることができるようになった。また、1ヶ所は休止中であるが、そのエリアで地区社協が交流事業を開催することにより、交流の機会を提供することができた。</p> <p>以前から希望の声があがっていた、こどもの学習支援の取組みについて、地区サポーターミーティングを中心に、取組みについて検討を進め、3回試行できた。次年度より、学びの居場所「代沢ほっこりんルーム」として定期開催予定となった。</p>
新代田	<p>「孤立を防ぎ助け合いのあるまち」「課題を抱える世帯を早期に適切な機関に繋げることのできるまち」を目指し、「美まもりやまカフェ」を1回/月から2回/月へと増やし継続的に開催した。</p> <p>コロナ禍で止まっていた買い物（外出）支援の再開を検討するため、住民アンケートを実施、今後についての話し合いを進めた。</p>
北沢	<p>地区高齢者見守りの観点で実施しているココロンさくらを月1回実施した。さらに、地域住民の高齢者への見守り意識を高めるため、地域福祉推進員研修会として、成年後見制度と地区社協について研修を行った。また、令和4年度より四者連携で「きらり☆きたざわ通信」を発行し、各サロン等に配布し相談機能の周知と見守り強化の啓発を図るとともに、日々の団体活動に対して状況確認した。</p>
松原	<p>誰もが気軽に立ち寄れる居場所である「茶話やか松原」は、開催場所となっている東京リハビリテーションセンター世田谷がコロナの感染拡大防止のため会場貸し出しの制限が解除されないため、隣接地にある「世田谷区立保健医療福祉総合プラザ」で開催できるよう調整し、開催することができた。また、地域でのちょっとした困りごとを、住民同士の方で解決するシステムとして地区サポーターが中心となって企画運営する「松原ちょこ</p>

	<p>っとサービス」を5月より開始した。男性の居場所づくりで展開している「おとこ塾」の講座を地区内の高齢者団体や関係機関と連携をしながら3回実施し、事業のPRとともに男性の地域活動人材発掘等に努めた。</p>
松 沢	<p>民間カフェの店舗を活用した、月1回実施する「おしゃべり★カフェ第2拠点」について、感染症拡大防止に留意しながら開催し、赤堤一丁目を中心に身近な居場所として機能した。また、エリアごとに地区サポーター講座やミーティングを開催し、身近な困りごとの解決の1つとして、地区サポーターが中心となって、新たに3エリアで居場所づくりを展開することができた。</p> <p>コロナ禍による生活困窮の課題解決に向けて、地区社協事業として「生活応援広場」を実施した。対象者を「生活にお困りのひとり親家庭および学生」から「生活にお困りの世帯」に拡大し、希望世帯に食糧品、日用品を準備し配付するほか、来場者に対しその場で相談支援を実施し、必要に応じて各専門機関へとつなげた。</p>
奥 沢	<p>地域住民・三者をはじめとする関係機関と連携を図り、食で応援プロジェクトを実施し、地区内の食を必要とする方へ食品配付を行なった。生活課題や困りごとを把握し、地域住民・地区内の団体と連携して必要な支援へ繋げている。</p> <p>子どもの居場所づくり、地域福祉推進員・地区サポーター等のボランティアや児童館と共に、子どもの居場所「なかよし子どもスペース」を立ち上げた。毎月定期開催し、居場所を必要とする地域の児童と交流を図っている。</p>
九品仏	<p>子どもが安心して過ごせる場所が少ないという地区課題の解決に向けて、子育て関係団体との連携強化に努めた。前年度に引き続き、奥沢子育て児童ひろばと連携して、デリバリーひろば@九品仏の開催及び支援を継続することで、子どもの居場所提供の取り組みを行った。</p>
等々力	<p>高齢者の居場所づくりの取り組みとして「高齢者お楽しみ交流会」を2回開催予定したが、うち1回は積雪予報のため中止となった。また近隣の方同士の見守りにつながることを目的とした見守りパンフレットを作成し、住民や関係団体に配付することで見守り体制の強化を図った。</p> <p>等々力地区子育て関係団体交流会を開催し、子育てサロンや子ども食堂、子育て支援団体と地区内の子育て世代の状況や困りごとの共有を行い、親子の孤立予防などの地区内の課題の共有と解決に向け、連携を図り、取り組みを行っている。</p>
上野毛	<p>生きづらさを抱えた方への居場所支援として、地区内の農園を活用した「さわやか農園」プロジェクトを継続して開催している。地域住民と協働で季節の農作物の栽培や収穫を通して土に触れることにより継続的な参加者もいる等居場所としての機能を果たしている。</p> <p>上野毛地区子育てネットワーク会議を開催し、「地域で子育て」というテーマのもと東京育成園の講話を聞き、団体や住民同士意見交換の場を開催した。</p>
用 賀	<p>引きこもりがちの方のように心に悩みを抱えた方の生活支援としての居場所「スペース2020」を月に1回開催している。どなたでも気軽に参加できる居場所として専門職も関わり、多職種で連携を図りながら、相談できる場としての機能も果たしている。</p> <p>用賀地区子育てネットワーク検討会を立ち上げ、子育て支援団体と地区内の子育て世代の状況や困りごとの共有を行い、親子の孤立予防などの地区内の課題の共有と解決に向け、連携を図り、取り組みを行っている。</p>
二子玉川	<p>二子玉川地区社協として地域の課題解決に向けて、地域生活課題の共有と解決に向けた取り組みを行っている。</p>

	<p>・子育て関係団体ネットワークでは会議体の他、子育て支援事業（子育てママのリフレッシュ Day、小児科医による子育て応援講座、おでかけマップ作成・配布）を行った。</p> <p>・公営住宅のコミュニティ再生を目的とした、スマイルひろば検討会では会議体の他、地域交流事業（花壇づくり、ラジオ体操等）を行った。また、お困りごとアンケート調査結果から、買い物支援として移動スーパーを開始した。</p>
深 沢	<p>住民の子育ての地区課題について、地区内の子育て支援活動団体が集まり共有する子育てネットワーク会議を開催。子育てサロンや子ども食堂、地区内子育て支援活動団体、地域住民が参加協力し、孤立や子育ての不安を少しでも解消できるよう、子育てママのリフレッシュDAYを開催した。</p> <p>昨年地区サポーターが中心に運営を担っていた認知症であっても通える居場所が、自主グループとしてサロン化。運営の継続支援に取り組んだ。</p>
祖師谷	<p>協議体「公社けやきの会」で、コロナ対策を取りながら公社けやき運動サロンを定期開催し、住民の健康促進と外出の機会の提供に努めた。また、3月によろず相談会+ポッチャを開催し、気軽に困りごとを相談できる場や、相談事がなくても立ち寄ってポッチャを通して体を動かしながら楽しく交流する機会を提供した。買い物不便に対しては、安全に配慮して不定期（今年度は3回）に買い物ツアーを実施すると共に、商店街と協力した高齢者買い物支援マップの更新作業を進めた。また買い物後の荷物運びが大変という声から、荷物持ち支援についての協議を重ねている。</p> <p>公社住宅での高齢者のごみ出し課題や建て替えに伴う引っ越しのための片付けの課題がある中、春と秋にある世田谷区の古着・古布回収時に地区サポーターの協力を得ながら古着を集積所まで運ぶ支援を実施した。</p> <p>コロナ禍で停滞していた祖師谷北部ふくし検討会を再開し、祖師谷北部の生活課題把握や集いの場づくりについて話し合いを行った。11月には古着・古布回収に合わせてお試しとして高齢者向け回収支援を実施し、直接住民の声を聞き取った。また春の古着古布回収支援に向けて改めて支援の必要性を把握した。</p>
成 城	<p>「8989 ネットワーク」</p> <p>①松沢病院の看護師による個別相談「ふらりと相談会」を2回開催。あんしんすこやかセンターとあんしん事業の相談ブースも併設し、介護保険や金銭管理、書類整理の相談に対応し、計15名参加した。</p> <p>②8、9丁目の住民を対象とした、電球交換等ちょっとした困りごとに対応するプチサポを2回実施。3件依頼があり、担い手である特別養護老人ホームの職員が対応した。</p> <p>③地域との関わりが少ない高齢者へのアプローチとして「ほっこりカード」を団地敬老事業で173世帯へ配布し、ゆるやかな見守りを促した。</p>
船 橋	<p>「高齢者を支えあう会」について、課題別の分科会を開催し生活課題を抽出し、今後の方向性について共有した。</p> <p>希望ヶ丘団地自治会で新たに始まった活動（ポッチャアミーゴなど）について動向を把握すると共に、広報協力も行い参加者の募集や周知に努めた。</p> <p>「4丁目住宅自治会協議体」では、名称が正式決定するなど今後も確立した活動となるように調整すると共に、こちらも生活課題を抽出し方向性について共有した。</p> <p>地域で作成した「お出かけマップ」や社協資源を広めるために、ファミサポ担当と協力しながら地区内の保育・子育て施設へ訪問して説明、マップを配布した。また、児童館、子育て支援コーディネーターらと定期的な会議を開催することで地区内の子ども、子育てについての課題を確認した。</p>
喜多見	<p>買い物不便・交通不便エリアに対する支援策として「お買い物ツアー」と「移動販売会」</p>

	<p>を継続実施した。「お買い物ツアー」では、対象外のエリアでも自宅周辺まで送迎し、地区サポーター等による買い物中の付き添いや見守り等、安心して参加できるよう配慮を行った。「移動販売会」では、実際に商品を目で見て選ぶことと店主とのやりとりが好評で若い子育て世代から高齢者にも活用された。</p> <p>喜多見 2 丁目団地の自治会や民生委員より、団地の集まりに参加せず孤立している住民の相談があったことから、誰もが参加できる居場所と気軽に相談ができる出張型相談窓口を四者で連携して、実施している（だんだんの会、月 1 回）。</p>
砧	<p>「きぬた★手をつなごう会」では、「みんなの子育て広場」を開催し、子育てに関する情報の提供、おしゃべりや情報交換を通じた孤立防止の場を提供した。感染を防ぎ悪天候や体調不良でも参加できる場を提供するためハイブリッド形式で開催した。</p> <p>大蔵住宅建て替え後のカーメスト大蔵の杜コミュニティサロン和みにおいてお茶会を開催し、高齢者の悩みや困りごとを聞き取った。</p> <p>高齢者のスマホ利用支援のため座談会を開催し、地域住民や地域活動団体、三者で支援について話し合った。砧スマホの日を開催し、高齢者のスマホの困りごとに個別で相談に応じた。</p>
上北沢	<p><上北沢縁側プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもつながりが維持できるよう、松沢病院と連携し、対象を限定した「上北沢ぶちえんがわカフェ」を開催すると共に、喫茶室パインの看板及び道標となる矢印を作成し、松沢病院内の 10 か所に設置することで、障害の有無に関わらず地域住民の誰もが利用しやすい居場所作りを目指した。 ・「えんがわ通信」を発行し、令和元年度の「上北沢えんがわカフェ」の参加者へ送ると共に、町会回覧や広報板、SNS 等を活用して周知した。
上祖師谷	<p><粕谷 2 丁目アパート団地での居場所づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・団地自治会が住民の居場所・ゆるやかな見守り意識の醸成のため立ち上げた「ゲームの会」の後方支援を行うとともに、団地の抱える課題を共有した。 ・認知力低下に伴う周辺症状のある住民が多いとの相談を受け、団地住民やその家族を対象に認知症の勉強会を開催した。 <p><認知症とともに生きる希望条例の広報周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン等既存の団体を対象に、アクション講座を開催し、地域住民に希望条例の意図が広がっていくよう支援を行った。 ・地域住民が誰でも気軽に集える場のひとつとして、三者で祖師谷公園を会場としたラジオ体操の会を立ち上げた。福祉情報を発信・ニーズ把握の場となるよう継続的に関わった。
烏山	<p><買物支援マップ></p> <p>買物困難者に対し、宅配店舗や公衆電話の位置等を紹介した『買物支援マップ』の改訂版を発行。地区内の買物代行サービス等ニーズに合わせた支援ができるよう連携を強化し各所に配布を行った。</p> <p><デジタル活用に対する課題解決に向けた協議体></p> <p>地区内で活動するデジタルサポーターや町会自治会、地域活動団体を中心に高齢者のスマホ活用に向けた定期的な相談会の実施に向けた意見交換会を開催した。</p>

(5) 地域福祉コーディネート推進事業のスキルアップ

コミュニティソーシャルワークの専門性を高めるための専門研修を実施するとともに、都・区等が開講する研修に積極的に参加した。また、本部職員が地域事務所を訪問し、個別支援や地域づくりの取り組み、協議体の運営に関する進捗確認や助言指導等を適宜実施した。

研修	開催日等	人数	主な内容と講師
コミュニティソーシャルワーク研修 【全課常勤職員対象】	第1回 10月7日 第2回 1月24日	56名 55名	内容：コミュニティソーシャルワークの視点と事例検討方法 講師：菱沼 幹男氏（日本社会事業大学社会福祉学部准教授）
コミュニティソーシャルワーク研修 【地域社協課常勤職員対象】	第1回 8月24日 9月2日 9月8日 第2回 3月9日	12名	内容：事例検討におけるアドバイスの視点 講師：菱沼 幹男氏（日本社会事業大学社会福祉学部准教授）
地区担当新任職員研修	5月27日	9名	内容：地域資源開発事業概要・関連業務について
地域福祉支援員研修	6月21日 6月24日 7月1日	42名	内容：地域福祉支援員の業務について ○ワークショップ 「業務を通じて感じる悩みや課題」
実務研修	第1回 7月26日 第2回 1月17日 18日 第3回 11月22日	14名 34名 25名	内容：地域支えあい活動について 内容：地区事務局のスマートフォンの活用について 内容：地区社協経理事務について
各地区個別研修 (本部職員による訪問指導)	43回 延 82 地区	計 160名	内容：各地区における課題解決に向けた第2層協議体の運営に関する助言 ○指導や他地区の取り組み情報の共有
生活支援コーディネーター初任者研修 (実施主体：東京都福祉保健局高齢社会対策部)	A 6月17、24日 B 7月15、29日 【オンライン】	5名	内容：住民主体の地域づくりの意義と考え方、理念と実践 ○地域づくりの全体像について ○生活支援コーディネーターの動き方・視点
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ (全6回) (実施主体：同上)	8月26日 9月15日 10月19日 12月2日 1月20日 2月15日 【オンライン】	5名	内容：地域づくりの基本理念と全体像 ○協議の場づくりとネットワーキング ○協議の場の運営とファシリテーション 他
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ (実施主体：同上)	11月15日、 12月8日・13日	5名	○視察研修 多摩川住宅、楠木ダイヤモンドクラブ、桐ヶ丘地区「朝活」

別表5 「高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな」）【区受託】」関係
令和4年度 なごみの広場ちとふな 実績報告

	日付	内容	参加者
1	4月15日	やわらぎマッサージ NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者3名	13名
2	4月15日	スマホ講座 基本講座① 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	7名
3	4月19日	楽しく健活セミナー 講師：株式会社明治コミュニケーション課 吉田 栄子氏	21名
4	5月6日	スマホ講座 基本講座② 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	8名
5	5月17日	囲碁講座 講師：株式会社方円企画 白江 治彦氏	17名
6	5月20日	やわらぎマッサージ NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	16名
7	5月20日	スマホ講座 基本講座③ 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	9名
8	5月31日	裂き布ぞうりづくり講座 講師：NPO法人えこひろば	5名
9	6月3日	スマホ講座 動画・ラジオ操作講座 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	11名
10	6月17日	やわらぎマッサージ NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	14名
11	6月17日	スマホ講座 動画・ラジオ操作講座 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	14名
12	6月21日	生前整理アドバイザーによる片づけ講座 講師：特技ボランティア 城ノ下 恭博氏	17名
13	7月1日	スマホ講座 写真・暑中見舞作成講座 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	11名
14	7月15日	やわらぎマッサージ NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	15名
15	7月15日	スマホ講座 写真・暑中見舞作成講座 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	14名
16	7月19日	囲碁講座 講師：株式会社方円企画 矢野 瑞希氏	16名
17	8月5日	スマホ講座 地図・乗換検索講座 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	14名
18	8月19日	やわらぎマッサージ NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	14名
19	8月19日	スマホ講座 地図・乗換検索講座 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	14名
20	8月30日	裂き布ぞうりづくり講座 講師：NPO法人えこひろば	5名
21	9月2日	スマホ講座 基礎講座① 講師：NPO法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	9名
22	9月19日	やわらぎマッサージ ※敬老事業とのタイアップ NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者6名	47名
23	9月20日	囲碁講座 講師：株式会社方円企画 矢野 瑞希氏	11名

24	10月4日	ツボ押し体験講座 講師：フレアス在宅マッサージ 横塚 雅仁氏	13名
25	10月7日	スマホ講座 基礎講座② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	8名
26	10月8日	将棋講座 講師：日本将棋連盟 普及指導員六段 神谷 崇氏	10名
27	10月21日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	13名
28	10月21日	スマホ講座 基礎講座③ 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	8名
29	11月1日	癒しのセルフハンドマッサージ 講師：チーム美楽（みらく）	9名
30	11月15日	囲碁講座 講師：株式会社方円企画 矢野 瑞希氏	12名
31	11月18日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	16名
32	11月18日	スマホ年賀状作成講座① 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	11名
33	12月2日	スマホ年賀状作成講座② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	10名
34	12月6日	健康長寿のための食生活講座 講師：料理研究家 成城地区 地区サポーター 堀江 ひろ子氏	16名
35	12月16日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会	12名
36	12月16日	スマホ講座（動画・ラジオ） 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	12名
37	12月21日	ヒートショック防止講座 講師：特技ボランティア看護師 波田野 淑恵氏	13名
38	1月17日	囲碁講座 講師：株式会社方円企画 矢野 瑞希氏	15名
39	1月20日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	16名
40	1月20日	スマホ講座 動画・ラジオ操作講座 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	16名
41	2月3日	スマホ講座 地図・乗換検索講座 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	14名
42	2月7日	終活講座 講師：JA 東京中央セレモニーセンター 原島 章氏 区社協 成年後見センター 遠藤 由紀	24名
43	2月17日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	16名
44	2月17日	スマホ講座 地図・乗換検索講座 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	18名
45	3月3日	スマホ講座 防災講座① 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	14名
46	3月7日	囲碁講座 講師：株式会社方円企画 白江 治彦氏	12名
47	3月17日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	16名
48	3月17日	スマホ講座 防災講座② 講師：NPO 法人シニアSOHO世田谷 生田 美子氏	13名

【福祉コンシェルジュ Day】

1	6月15日	介護保険や日々の生活での困りごと 講師：船橋あんしんすこやかセンター江黒奏子氏	3名
2	9月16日	LINE や簡単なスマホの操作方法 講師：地区サポ（デジサポ）	6名
3	12月21日	毎日の生活の中での健康や栄養についての困りごと 講師：特技ボランティア 看護師：波田野淑恵氏	5名
4	1月31日	菜との上手な付き合い方 講師：東京調剤センター 伊藤理恵氏	11名
5	3月22日	筋力測定、ロコモ測定と健康相談 講師：特技ボランティア看護師 波田野淑恵氏 日本水泳振興会 伴藤正道氏	6名

別表6 「2-(2)-② 地域・地区における交流・啓発
ア サロンリーダー交流会等の開催」関係

地域	内容
世田谷	<p>【世田谷地域】</p> <p>○上町地区</p> <p>★上町地区ふれあいカフェ（全2回）</p> <p>日程：9月10日</p> <p>会場：デイホーム世田谷</p> <p>共催：サロン悠遊会</p> <p>内容：マジックショー鑑賞と手芸体験</p> <p>参加者：述べ40名</p> <p>日程：3月11日</p> <p>会場：デイホーム世田谷</p> <p>共催：サロンどんぐり会</p> <p>内容：ふれあいボリスの講話と漫談などの演芸鑑賞</p> <p>参加者：述べ60名</p> <p>○下馬野沢地区</p> <p>★サロン・ミニデイ交流会</p> <p>日程：11月23日 コロナ禍での各団体の活動状況、困りごとについて</p> <p>参加者：13団体（サロン・ミニデイ代表）</p> <p>○上馬地区</p> <p>★サロン・ミニデイ等意見交換会[上馬地区]</p> <p>日程：8月29日、8月31日</p> <p>内容：活動の情報共有など</p> <p>参加者：12団体（サロン・ミニデイ、子ども食堂）</p>

北 沢	<p>【北沢地域】 ○北沢地域 みんなのうたごえサロン 2022 日程:7月7日 会場:北沢タウンホール 参加者:90名 (コロナ禍のため、人数制限を行った) ※北沢地域内のサロンリーダーが中心となって実行委員会形式で開催。</p>
	<p>○代沢地区 ★スマホ活用講座 日程:7月26日 会場:代沢まちづくりセンター活動フロア 参加者:5名(サロン・ミニデイ参加者等) ★初心者スマホ教室(代沢地区) 日程:11月5日 会場:池之上青少年交流センター 参加者:5名(高齢者クラブ) ★スマホ練習会 日程:10月29日・12月22日 会場:代沢東地区会館 参加者:各5名(高齢者クラブ・ミニデイ参加者等)</p> <p>○新代田地区 ★サロン・ミニデイ連絡会 日程:7月25日 会場:新代田まちづくりセンター活動フロア 参加団体:10名(サロン・ミニデイ代表者等) 日程:12月19日 会場:新代田まちづくりセンター 参加団体:9名(サロン・ミニデイ代表者等) ★サロン・ミニデイ文化祭 日程:2月27日 会場:新代田地区会館 参加団体:14団体(新代田地区内サロン・ミニデイ)</p> <p>○松原地区 ★松原ふれあいルーム拠点連絡会: 日程:10月31日 3月30日 参加団体:17団体 内容:コロナ禍での各団体の活動状況、困りごと、拠点利用について</p> <p>○松沢地区 ★小エリア交流会3エリア実施 (松沢さくら会) 日程:1月10日 参加者:21名 (桜上水5丁目談話室さくら) 日程:3月2日 参加者:90名</p>

	<p>(桜上水四丁目町会さくらんぼサロン)</p> <p>日程：3月16日</p> <p>参加者：21名</p>
玉川	<p>【玉川地域】</p> <p>区民向け講座の開催（区民、サロン・ミニデイスタッフ及び参加者等を対象）</p> <p>○深沢地区・上野毛地区</p> <p>★今すぐ始める生前整理</p> <p>日程：9月15日</p> <p>参加者：20名、</p> <p>日程2月6日</p> <p>参加者：16名</p> <p>○用賀地区・奥沢地区</p> <p>★相続・遺言～成年後見制度の観点から</p> <p>日程：10月12日</p> <p>参加者：18名</p> <p>日程：12月2日</p> <p>参加者：8名</p> <p>○等々力地区・二子玉川地区・九品仏地区</p> <p>★あんしん事業・私のノートとは？</p> <p>日程：11月10日</p> <p>参加者：9名</p> <p>日程：1月13日</p> <p>参加者：7名</p> <p>日程：3月1日</p> <p>参加者：3名</p> <p>★二子玉川地区サロン、ミニデイ交流会</p> <p>日程：2月20日</p> <p>参加者：17名（10団体）</p> <p>内容：活動紹介・情報交換</p>

碓	<p>【碓地域】</p> <p>★碓地域支えあいフェスタ 2022 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>○祖師谷地区</p> <p>★祖師谷支えあいルーム拠点運営会議 年2回（うち1回書面開催）</p> <p>日程：1月31日</p> <p>参加者19名</p> <p>書面開催：6月</p>
	<p>○成城地区</p> <p>★社協事業参加者交流会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。</p> <p>○船橋地区</p> <p>★千歳ふれあいルーム拠点運営会議 年1回</p> <p>日程：2月3日</p> <p>参加者：6名</p> <p>○喜多見地区</p> <p>★サロン・ミニデイ・高齢者クラブ交流会※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○碓地区</p> <p>★碓くちなしふれあいの家拠点会議 2回（うち1回はアンケート調査による書面開催）</p> <p>日程：4月25日</p> <p>参加者：30名</p> <p>★もみじまつり ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>
鳥山	<p>○鳥山地区</p> <p>★南鳥山ふれあいの家 拠点運営会議</p> <p>日程：1月17日</p> <p>参加者：16団体</p> <p>内容：拠点利用について 清掃</p>

別表7 「2-(5)-① 地区サポーター」関係

【世田谷地域】

○上町地区

①スマホ体験会

日程：2月24日

参加者：17名

会場：上町まちづくりセンター 活動フロアー

内容：シニアのためのスマホで調べもの体験会

成果：デジボラによる参加者サポートを行いながら、講座の講師役の機会につなげた

②デジボラ親睦会回数 全2回

日程：11月21日

参加者：デジボラ6名

日程：1月31日

参加者：デジボラ7名

会場：両日ともに上町まちづくりセンター 活動フロアー

内容：スマホ等を活用した交流

成果：開催を通してデジボラ同士の横のつながりを構築し、活動機会の提供を図った

○経堂地区

地区サポーター懇談会（あんすこ見守りボランティア交流会と共催）

日程：1月30日

参加者：9名

会場：宮坂区民センター 大会議室

○上馬地区

①地区サポーター定例会「なんじゃもんじゃの会」

日程：毎月第3火曜日

参加者：延べ96名

会場：ホスピア上馬

②「車椅子・白杖体験会」～ボランティア体験ツアー～

日程：5月7日

参加者：7名

会場：上馬地区会館

【北沢地域】

地区サポーター講座&ミーティング（地区ごとに展開）

講座&交流会：地区サポーターになることのきっかけづくりとして

ミーティング：居住地区ごとに開催し、エリア内でどんな活動ができるか、新たな取り組みについて話し合った。

○梅丘地区（講座&ミーティング同時開催）【全5回】

日程：7月25日 10月28日 11月29日 1月31日 2月20日

会場：梅丘まちづくりセンター活動フロアー、花見堂複合施設

参加：延70名

内容：NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会の協力による疑似体験及び講話

世田谷区手をつなぐ親の会/セータとガーヤ気持ち伝え隊による講座

地域内福祉施設の協力による講話 ほか

○代沢地区

《講座》 全3回

日程：7月25日、3月15日、3月24日

会場：代沢まちづくりセンター活動フロアー

参加：延29名

内容：障害者理解（NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会の協力による疑似体験及び講話）

協力会員登録説明会ほか

《ミーティング》全8回

日程：6月27日、7月4日、8月8日、8月24日、11月30日、1月18日、2月15日、3月13日

参加者：延31名

○新代田地区

美まもりやまカフェ開催前後、必要に応じて連絡会開催

○北沢地区

《ミーティング》 全3回

日程：7月29日、12月13日、2月1日

会場：北沢まちづくりセンター活動フロアー

内容：スマホ練習会、スマホを通しての居場所づくりの検討（R5年度からサロン化）

○松原地区

①ミーティング 【全11回】

日程：毎月1回、第4木曜

会場：ギャラリーオーク

参加者：延120名 ※ちょこっとサービス派遣実績 延べ 16件

②講座

★日程：9月14日

参加：5名

会場：松原まちづくりセンター活動フロアー

内容：ミニ講座 点字体験

★日程：11月17日

参加者：10名

会場：松原まちづくりセンター活動フロアー

内容：地区サポ交流会 点字講習、車いす講習他

○松沢地区

①地区サポミニ講座「災害について考えよう！」～在宅避難ってなあーに？

日程：5月24日

参加者：11名

会場：松沢まちづくりセンター 活動フロアー

講師：世田谷区ボランティア協会

内容：地区サポーターをはじめとする社協関係者が、災害について在宅避難をテーマに理解を深め、今後の活動のきっかけとする。

②地区サポーター交流会「自分たちのまちを知ろう！ポールウォーキングでまち探検」全2回

日程：7月28日、9月27日

参加者：延べ12名

会場：SAKURAJYOUSUI キッチンパン屋さん2階

内容：ポールウォーキングをしながら地域内を散策し、自分たちの生活する地域の良いところや、あったらいいものなどを話し合う。

③ミーティング：3エリアで実施

★赤堤1・2丁目エリア 回数：6回

参加者：延べ30名

会場：世田谷エクステリアルーム（新規協力事業所）

内容：多世代交流の居場所づくりについて

★桜上水1・2丁目エリア 回数：5回

参加者：延べ25名

会場：土と農の交流園（区施設）

内容：周辺住民や活動機関と連携した防災の取り組みについて

★桜上水4・5丁目エリア 回数：5回

会場：むつみ会館（町会会館）

内容：都営住宅の高齢者の外出機会の創出、孤立防止について

参加者：30名

④地区サポによるイベント開催

日時：3月16日

参加者：44名

会場：むつみ会館

内容：「YOROZU サポート CAFE」を開催

【玉川地域】

○地区サポーター（オンライン）

内容：毎月、地区サポーターと自主勉強会を開催。サロンを対象に地区サポーターが出張して参加者を対象としたスマホ相談を実施した。

○地区サポーター（認知症・体操）

★合同活動報告会

日程：7月14日

会場：等々力まちづくりセンター活動フロア

参加者：13名

内容：サロンや体操地区サポ派遣活動が始動してからのグループ・メンバー同士の交流

【烏山地域】

○災害福祉サポーター安否確認訓練（全2回）

★日程：7月5日

参加者：15名

★日程：2月22日

参加者：16名

○災害福祉サポーター研修・ミーティング

★日程：3月2日

参加者：6名

資料

1 役員名簿

任期：令和3年定時評議員会終結時から令和5年定時評議員会の終結時まで

(定数：理事 23～25 名、監事 3 名)

※令和5年3月31日現在

(順不同)

役職	氏名	選任区分
会長	吉村俊雄	玉川地域社協福祉推進協議会 会長
副会長	鈴木賢治	世田谷地域社協福祉推進協議会 会長
副会長	岡崎克美	北沢地域社協福祉推進協議会 会長
副会長	西崎守	砧地域社協福祉推進協議会 会長
副会長	水野貞	烏山地域社協福祉推進協議会 会長
副会長	三羽和彦	世田谷区町会総連合会 会長
副会長	坂本雅則	世田谷区民生委員・児童委員協議会 会長
常務理事	長岡光春	世田谷区社会福祉協議会事務局長
理事	川崎恵美子	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理事	森田昇	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理事	田嶋宏	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理事	湯澤武史	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理事	田中京子	北沢地域社協福祉推進協議会 委員
理事	手篤きみ子	北沢地域社協福祉推進協議会 委員
理事	川上アサ子	北沢地域社協福祉推進協議会 委員
理事	小林喜美江	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理事	江藤真理子	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理事	玉川稔	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理事	本田隆志	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理事	日高淑子	砧地域社協福祉推進協議会 委員
理事	長島日出男	砧地域社協福祉推進協議会 委員
理事	新井貞次	烏山地域社協福祉推進協議会 委員
理事	下山鐵夫	烏山地域社協福祉推進協議会 委員
理事	横山康博	ボランティア団体代表者
理事	酒井健治	社会福祉事業を営む団体の役職員
監事	安藤芳彦	地域の福祉関係者
監事	板谷雅光	社会福祉事業の知識経験等を有する者
監事	丹羽克裕	財務及び会計、経理の経験を有する者

2 評議員名簿

任期：令和3年定時評議員会終結時から令和7年定時評議員会の終結時まで

(定数 60～65名)

※令和5年3月31日現在 順不同

(世田谷地域)

地 区	氏 名
池 尻	富 澤 美智代
	北 野 康 子
太 子 堂	大久保 梢
	山 崎 和 則
若 林	安 土 美智子
	芳 澤 容 子
上 町	村 上 知恵子
	西 垣 禮 子
経 堂	岡 庭 茂 行 子
	香 西 裕 子
野 沢	山 口 美恵子
	滝 嶋 秀 夫
下 馬	須 藤 和 代 子
	高 木 照 子
上 馬	吉 岡 榮 子
	谷 崎 茂 保
福祉施設 活動団体	渡 辺 俊 彦

(北沢地域)

地 区	氏 名
梅 丘	重 田 朗 子
	滝 澤 葉 子
代 沢	都 崎 裕 子
	須 藤 啓 子
新 代 田	河 野 清
	狩 野 千賀子
北 沢	藤 原 成 義
	増 山 晶 一
松 原	大 塚 紀 子
	池 田 紀 明
松 沢	上 田 啓 子
	中 村 佳壽子
福祉施設 活動団体	杉 山 真生子

(玉川地域)

地 区	氏 名
奥 沢	増 田 幸三子
	染 野 和 夫
九 品 仏	清 水 益 子
	矢 嶋 禮 子
等々力	前 田 美智子
	野 村 君 子
上 野 毛	粕 谷 孝 一
	豊 田 和 江
用 賀	小 島 和 子
	鎌 田 嘉 次 子
二子玉川	高 橋 聰 子
	高 橋 節 子
深 沢	熊 谷 安 子
	榎 本 善 子
福祉施設 活動団体	杉 田 春 義

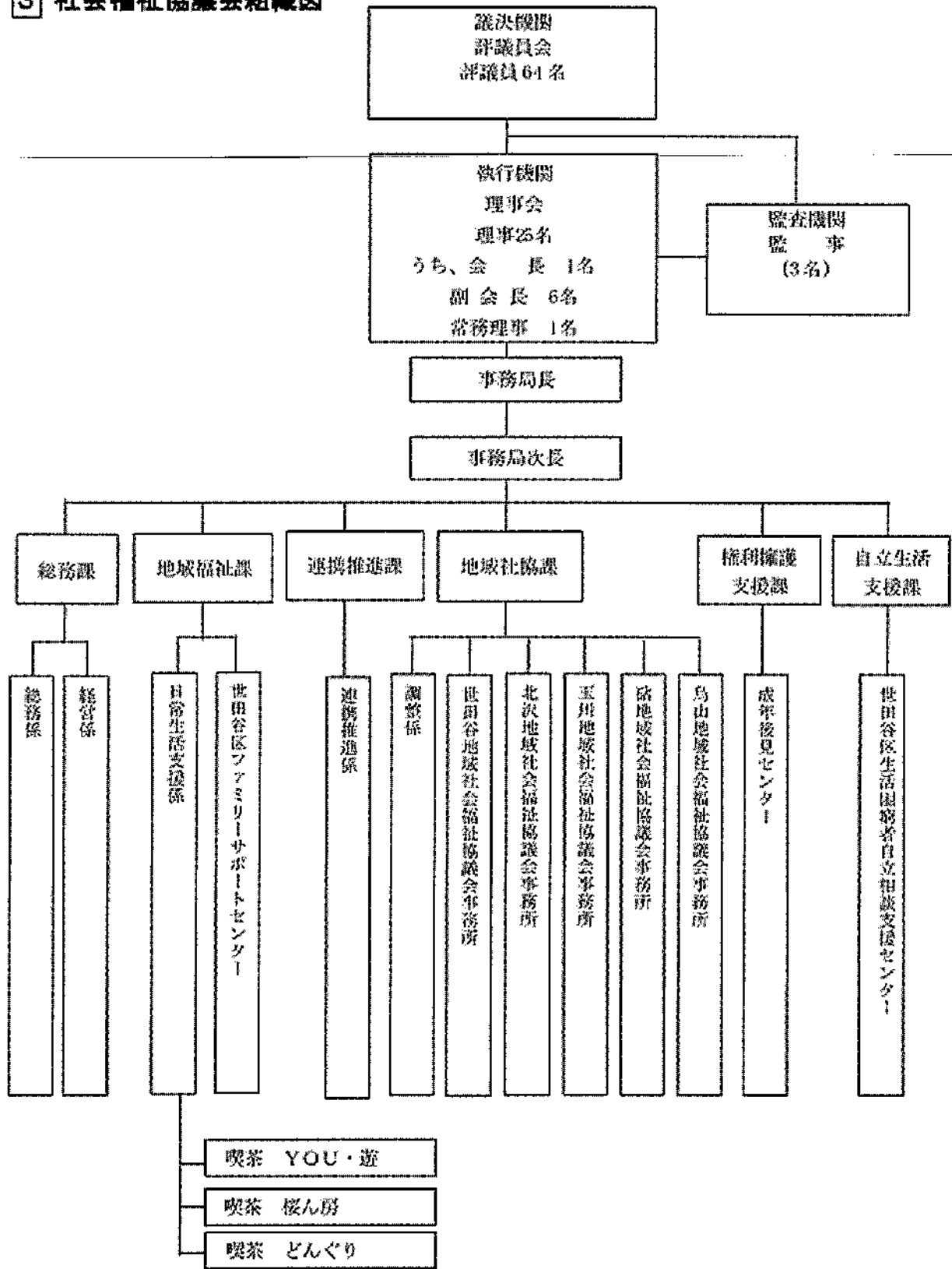
(砧地域)

地 区	氏 名
祖 師 谷	吉 岡 靖 之
	丸 山 晴 男
成 城	高 橋 千壽子
	石 井 優 子
船 橋	妹 尾 廣 子
	原 島 二三代
喜 多 見	荒 川 和 茂 子
	岡 幸 子
砧	安 藤 久 信
	石 井 敏 春
福祉施設 活動団体	福 田 公 英

(烏山地域)

地 区	氏 名
上 北 沢	島 田 益 吉
	宮 坂 公 子
上祖師谷	原 島 十 一
	安 藤 正 一
烏 山	藤 原 和 子
	山 本 伸 子
福祉施設 活動団体	杉 田 紀 子
	飯 田 政 人

3 社会福祉協議会組織図



(令和 5 年 3 月 31 日現在)

4 職員配置図

		事務局長	事務局次長 課長	センター長	所長 係長	事務職	計
総務課	常勤	1	1		2	8	12
	非常勤					3	3
総務係	常勤	1	1		1	3	6
	非常勤					1	1
経営係	常勤				1	5	6
	非常勤					2	2
地域福祉課	常勤		1	課長が兼務	2	4	7
	非常勤					9	9
日常生活支援係	常勤		1		1	2	4
	非常勤					5	5
世田谷区ファミリーサポートセンター	常勤			課長が兼務	1	2	3
	非常勤					4	4
連携推進課 連携推進係	常勤		1		2	4	7
	非常勤					2	2
地域社協課	常勤		1		6	32	39
	非常勤					46	46
調整係	常勤		1		1	3	5
	非常勤					5	5
世田谷地域社協事務所	常勤				1	7	8
	非常勤					9	9
北沢地域社協事務所	常勤				1	6	7
	非常勤					8	8
玉川地域社協事務所	常勤				1	7	8
	非常勤					10	10
砧地域社協事務所	常勤				1	6	7
	非常勤					8	8
烏山地域社協事務所	常勤				1	3	4
	非常勤					6	6
権利擁護支援課 成年後見センター	常勤		1(事務局次 長が兼務)		2	4	7
	非常勤			1		13	14
自立生活支援課 世田谷区生活困窮者自立相談支援センター	常勤		1		2	9	12
	非常勤					15	15
合計	常勤	1	6		16	61	84
	非常勤			1		88	89

職種	固有職員	区派遣職員	計
事務局長(常勤)	1		1
事務局次長・課長・課長補佐(常勤)	6		6
ファミリーサポートセンター長(常勤)		(兼務)	-
成年後見センター長(非常勤)	1		1
所長・係長・主査(常勤)	16		16
主任(常勤)	19		19
主事(常勤)	39		39
高年齢者雇用(常勤)	1		1
再雇用	2		2
専門員(非常勤)	25		25
地域福祉支援員(非常勤)	54		54
特別専門職高年齢者(非常勤)	9		9

(令和5年3月31日現在)
